

履修心得

STUDY INFORMATION 2020

(2013年度以降入学生用)

総合政策学部

SCHOOL OF POLICY STUDIES

総合政策学部 教育課程表（2013年度以降入学生用）

2020年4月

学 年 区 分		1 年 次 ^{※1}		2 年 次 ^{※1}		3 年 次 ^{※1}		4 年 次 ^{※1}		卒業必要単位数：128単位		
キリスト教科目		100キリスト教Ⅰ	2	100キリスト教Ⅱ	2					4		
専 門 基 礎 科 目	言語教育科目	100英語コミュニケーションⅠ	4	100英語コミュニケーションⅡ	4	150英語コミュニケーションⅢ	4	200英語コミュニケーションⅣ	4	250英語アドバンストピックス	1	
		100フランス語Ⅰ	2	100フランス語Ⅱ	2	100ドイツ語Ⅰ	2	150フランス語Ⅲ	2	150ドイツ語Ⅳ	2	
	留学生科目	<外国大学科目：在学中に交換留学等で単位を修得した場合に単位認定する>										
		100日本語Ⅰ（留学生）	2	100日本語Ⅱ（留学生）	2	150日本語Ⅲ（留学生）	2	150日本語Ⅳ（留学生）	2	200日本語Ⅴ（留学生）	2	
	方法科目	言語・文化・表現	100英語文化論	2	100日本語文章表現	2						
		数理・統計・調査	100総合政策のための数学Ⅰ	2	100数理科学の基礎	2	100統計学Ⅰ	2	200統計学Ⅱ	2	200統計学Ⅲ	2
		情 報	100コンピュータ演習Ⅰ	1	100コンピュータ演習Ⅱ	1	150コンピュータ演習Ⅲ	1	200プログラミング演習（C）	1	200プログラミング演習（JAVA）	1
	入門科目	共通必修	100総合政策Ⅰ	2	100総合政策Ⅱ	2	100総合政策Ⅲ	2	100総合政策Ⅳ	2	200総合政策Ⅴ	2
		共通選択	100自然環境論	2	100コミュニケーション概論	2	100システム論	2				
	専 門 教 育 科 目	専 攻 科 目 基 礎	環境・自然科学系	100生命の科学	2	100自然人類学	2	100自然科学史	2			
公共政策・社会科学系			100環境倫理	2	100科学倫理	2	100科学と社会	2				
言語・文化系			100法学概論	2	100市民法概論	2	100政治学概論	2				
メディア情報系			100日本国憲法	2	100経済学概論	2	100日本経済論	2				
都市政策系			100社会学概論	2	100差別と人権	2	100社会学論	2				
学 科 共 通 科 目		共通	100社会学論	2	100ヨーロッパ思想史	2	100アジア思想史	2				
		国際政策系	100心理学概論	2	100言語学概論	2	100文化人類学	2				
		共 通	100民族と文化	2	100日本史概説	2	100東洋史概説	2				
		国際政策系	100西洋史概説	2	100論理学	2						
		共 通	100サイバー社会論	2	100情報と職業	2	100情報化社会と人間	2				
学 科 共 通 科 目	共通	100情報と法	2	100アート&テクノロジー	2	100メディア社会論	2					
	国際政策系	100社会学論	2	100地誌学	2	100建築数理の基礎	2					
	共 通	100現代建築デザイン論	2	100歴史の建造物論	2	100設計製図演習Ⅰ	1					
	国際政策系	100戦後国際政治史	2	100現代東アジア	2	100グローバルキャリアデザイン	2					
	共 通	100総合政策トピックスA	2	100総合政策トピックスB	2	100総合政策トピックスC	2					
学 科 共 通 科 目	<外国大学科目：在学中に交換留学等で単位を修得した場合に単位認定する>											
	200会計学	2	200経営学	2	200ミクロ経済学	2	300地域開発論	2	300リスクコミュニケーション論	2	300プロジェクト評価論	2
	200マクロ経済学	2	200政治過程論	2	200人口問題論	2	300非政府組織論	2	400ジェンダー論	2	300企業法論	2
	200社会保険論	2	200比較宗教学思想論	2	200戦略的思考と合意形成	2	300プロジェクト管理論	2	300経営戦略論	2	300経営組織論	2
	200マーケティング論	2	200労働法	2			300平和学	2	300企業行動論	2	400総合政策課題研究A	2
環 境 政 策 学 科 目	<外国大学科目：在学中に交換留学等で単位を修得した場合に単位認定する>											
	200環境政策論	2	200環境社会学	2	200環境経済学	2	400エコロジー政策課題研究A	2	400エコロジー政策課題研究B	2	300環境倫理論	2
	200環境法	2	200エコロジー政策	2			400自然保護政策論	2	300資源循環型社会論	2	300環境経済論	2
							300国際環境政策	2	300公害政策論	2	300環境測定実習	2
							300地球環境政策	2	300野生動物共生論	2	300里山実習	2
公 共 政 策 学 科 目	200公共社会学	2	200公共政策学	2	200公共政策論	2	400公共政策課題研究A	2	400公共政策課題研究B	2	400哲学思想課題研究A	2
	200財政学	2	200行政学	2	200国際関係論	2	400哲学思想課題研究B	2	300行政法	2	300比較社会論	2
	200国際政治学	2	200国際貿易論	2			300現代社会学	2	300経済憲法論	2	300憲法論	2
							300現代社会学A	2	300現代社会学B	2	300市民参加・NPO/NGO論	2
							300高齢者福祉論	2	300保健医療政策論	2	300家族福祉論	2
語 言 文 化 政 策 学 科 目	200言語文化論	2	200英語コミュニケーションⅡ	2	200文化政策論	2	300国際金融論	2	300国際金融論	2	300国際金融論	2
	200日本語文化論	2	200英語学	2	200比較文化論	2	400コミュニケーション政策課題研究A	2	400コミュニケーション政策課題研究B	2	300国際文化論	2
	200英米文学A	2	200英米文学B	2			400比較言語文化研究Ⅰ	2	400比較言語文化研究Ⅱ	2	400比較言語文化研究Ⅲ	2
							300英語学	2	300英語学Ⅱ	2	300英語学Ⅲ	2
							300英語学Ⅳ	2	300英語学Ⅴ	2	300英語学Ⅵ	2
メ デ ィ ア 情 報 学 科 目	200情報学概論	2	200メディア・リテラシー	2	200データベース	2	400メディア情報課題研究A	2	400メディア情報課題研究B	2	300感性情報	2
	200メディア文化政策	2	200ウェブと社会	2	200コミュニティ・ネットワーク	2	400メディア情報課題研究C	2	300人眼と機械のインタラクション	2	300認知科学論	2
	200（バーチャル）ネットワーク	2	200（バーチャル）システムデザイン	2	200地域開発と ICT	2	300ネットワーク社会学	2	300知識情報処理	2	300ユーザー・デザイン	2
	200情報メディアとエンタテインメント	2	200クロスメディア設計論	2			300意思決定科学	2	300情報情報戦略論	2	300国際政策連関論	2
							300（バーチャル）ネットワークと倫理	2	300情報セキュリティ	2	300財務情報戦略論	2
都 市 政 策 学 科 目	200都市政策論	2	200都市環境論	2	200行政学	2	400都市政策課題研究A	2	400都市政策課題研究B	2	300市民参加・NPO/NGO論	2
	200都市・農村計画	2	200建築計画A	2	200建築計画B	2	400都市政策課題研究C	2	300都市防災論	2	300ランドスケープ・デザイン	2
	200西洋建築史	2	200日本建築史	2	200CAD/CG演習	1	300高齢者福祉論	2	300都市防災論	2	300建築法論	2
	200空間デザイン論	2	200比較都市論	2	200都市社会学	2	300家族福祉論	2	300都市防災論	2	300建築法規	2
	200財政学	2	200居住環境論	2	200都市社会学	2	300建築計画C	2	300福祉住環境計画	2	300都市再生論	2
国 際 政 策 学 科 目	200国際政策論	2	200国際関係論	2	200国際貿易と通関	2	300都市社会学	2	300国際政策連関論	2	300都市社会学	2
	200国際貿易論	2	200国際関係論	2	200国際関係史	2	300都市社会学	2	300国際政策連関論	2	300都市社会学	2
							300国際関係論	2	300国際関係論	2	300国際関係論	2
							300国際関係論	2	300国際関係論	2	300国際関係論	2
							300国際関係論	2	300国際関係論	2	300国際関係論	2
演 習 科 目	100基礎演習	4	100オファキャンパス実習Ⅰ又はⅡ				300研究演習Ⅰ	4	300メディア工房Ⅰ	4	300研究演習Ⅱ	4
							300合同演習D	1又は2	300メディア工房Ⅱ	4	300研究演習Ⅲ	4
建 築 学 プ ロ グ ラ ム 科 目 (建築学プログラム登録者のみ履修可)	200建築力学Ⅰ	2	200建築力学Ⅱ	2	200建築一般構造Ⅰ	2	300建築設計演習Ⅰ	2	300建築設計演習Ⅱ	2	300建築設計演習Ⅲ	2
	200建築一般構造Ⅱ	2	200建築材料学	2	200建築工学実務Ⅰ	1	300建築設計演習Ⅳ	2	300建築環境工学	2	300建築環境工学	2
教 職 等 資 格 科 目	100教職概論	2	100教育原論	2	100発達・学習過程論	2	200教育課程論	2	200進徳教育論	2	200教育方法基礎論	2
	100学校教育論	2				200特別活動論	2	200特別活動論	2	200特別活動論	2	
2018年度以前入学生	100教職概論	2	100教育原論	2	100発達・学習過程論	2	200教育課程論	2	200進徳教育論	2	200教育方法基礎論	2
	100学校教育論	2				200特別活動論	2	200特別活動論	2	200特別活動論	2	
2019年度以降入学生	100教職概論	2	100教育原論	2	100発達・学習過程論	2	200教育課程論	2	200進徳教育論	2	200教育方法基礎論	2
	100学校教育論	2				200特別活動論	2	200特別活動論	2	200特別活動論	2	

※1 履修できる最低学年を指す。なお、休学等を行った場合でも学年は上がる。
 ※2 自由選択科目16単位（留学生22単位）は、各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した科目、他学部開講科目、全科目目を算入することができる。一部、算入できない科目はP.42を確認すること。
 ※3 総合政策学学生は3年次春学期の履修登録時に主専攻フィールドを自由に選び登録すること。3年次秋学期以降も履修登録時には主専攻フィールドの登録および変更ができるが、研究演習とフィールドには関連しない。
 ※4 一つの科目を複数の区分で重複して数えること（ダブルカウント）はできない。

—— 二重下線は必修科目 —— 下線は選択必修科目（必修科目、選択必修科目の詳細はP.36で確認すること）

授業スケジュール・行事予定カレンダー（2020年度）	2
総合政策学部スケジュール	4
2020年度 全学科目予備登録スケジュール	6
総合政策学部専任教員オフィスアワー	8
チャペルアワーについて	9
I. 学習の手引き	10
1. 関西学院大学の理念・目的	
2. Kwanwsei コンピテンシー	
3. 総合政策学部の理念・目的・教育目標	
4. 人材育成の目標	
5. 総合政策学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	
6. 総合政策学部カリキュラム・ポリシー （教育課程編成・実施の方針）	
II. 一般注意事項、履修・学習要覧 Web サイトの紹介	20
1. 学生証 2. 掲示・教学 Web サービス	
3. 学部事務室開室時間	
4. 各種変更手続き 5. パソコンの利用	
6. 証明書等 7. 授業の欠席 8. 授業の長期欠席	
9. 学費 10. 各種相談 11. 臨時バスの案内	
12. 自動車通学【許可制】	
13. 暴風警報発令時の下校方法（バス）	
履修・学習要覧 Web サイトの紹介	
海外渡航する場合には大学に届け出が必要です	
「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて	
III. カリキュラムの概要	32
1. カリキュラム 2. 卒業に必要な単位数	
3. カリキュラム上の注意事項・補足事項	
4. 他学部科目・全学科目の取り扱い	
5. 卒業予定者の注意点	
6. 休学・復学・退学・除籍について	
7. 必修科目・選択必修科目一覧	
IV. 授業科目の履修にあたって	37
1. 単位 2. 履修基準年度 3. 授業時間	
4. 授業時間帯等 5. 成績評価・試験	
6. GPA 制度 7. 授業科目の内容	
8. 授業に関する調査 9. 科目ナンバリング	
10. 複数分野専攻制 〔Multidisciplinary Studies（略称：MS）〕	
11. 教職課程等	
V. 履修登録	41
1. 履修登録 2. 履修単位数制限 3. クラス指定	
4. ペア科目（週2回開講科目）	
5. 先修科目・先修条件 6. 重複履修 7. 継続履修	
8. 申込制科目 9. 留学に伴う教務事項	
10. その他の注意事項 11. 2020年度不開講科目一覧	
12. 履修中止制度 13. 総合政策学部カリキュラム・マップ	
14. 総合政策学部履修モデル	
VI. 全学科目申込・履修についての諸注意	61
VII. 試験・レポート	79
1. 試験 2. 平常レポート	
3. 「基礎演習」ファイナルレポート	
4. 「研究演習Ⅰ／メディア工房Ⅰ」進級論文	
5. 卒業論文 6. 「剽窃」について	
VIII. 学科選択・進級・3年卒業	82
1. 学科選択 2. 3年生への進級とゼミ選択手続	
3. 3年卒業	
IX. 資格の取得	84
1. 建築士受験資格プログラム「建築士プログラム」	
2. 施工管理技士	
3. 総合政策学部「グローバルキャリアプログラム（GCaP）」	
4. 教職課程 5. 博物館実習	
6. 社会調査士（2018年度以前の入学生に限る）	
7. ネットワーク専門国際資格 CCENT・CCNA Routing and Switching	
X. 規程・内規の抜粋	96
1. 成績評価・試験規程（抜粋）	
2. 総合政策学部内規【2013年度以降入学生適用】	
神戸三田キャンパス MAP	99

授業スケジュール・行事予定カレンダー (2020年度)

■ は日・祝日 ■ は授業期間、□□□□ は定期試験・中間試験期間 ※下記授業期間以外に集中講義を行う場合がある。

春学期 ● 4月1日～9月19日

	日	月	火	水	木	金	土	
2020				1	2	3	4	4月1日(水)～2日(木) 春学期入学式 4月2日(木) TOEFL ITP 試験 (総合政策学部新入生対象) 4月3日(金)、4日(土)、6日(月) 履修指導 4月7日(火) 春学期・第1クォーター授業開始 4月8日(水)～13日(月) 定期健康診断 (神戸三田) 【対象者】 8・9日:女性、10・13日:男性 4月8日(水)～21日(火) 定期健康診断 (上ケ原) 【対象者】 8～14日:女性、15～21日:男性※土日除く ※ 4月29日(水・祝) 授業実施日
4	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29*	30			
						1	2	※ 5月6日(水・休) 振替授業実施日 (月曜日分) 5月19日(火)、20日(水) 春季・大学合同チャペル 【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分 5月22日(金) リサーチ・コンソーシアム総会記念事業 (上ケ原) ※総合政策学部開講の授業は振替 (授業はなし) 5月27日(水) 第1クォーター授業終了 5月28日(木) 第2クォーター授業開始
5	3	4	5	6*	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
		1	2	3	4	5	6	
6	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
				1	2	3	4	7月15日(水) 春学期・第2クォーター授業終了 7月16日(木) 春学期補講日 7月17日(金)～31日(金) 春学期定期試験・中間試験 (予備日含む) ※ 7月23日(木・祝)、24日(金・祝) 春学期定期試験・中間試験実施日
7	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23*	24*	25	
	26	27	28	29	30	31		
							1	8月5日(水)、6日(木) 春学期追試験 8月7日(金)～9月19日(土) 夏季休業
8	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						
			1	2	3	4	5	9月16日(水) 春学期卒業式 9月17日(木) 秋学期入学式 9月23日(水) 秋学期・第3クォーター授業開始 ※ 9月28日(月・創立記念日) 授業実施日
9	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28*	29	30				

* 暴風警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など、不測の場合の措置については、「大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）」を参照すること。

秋学期 ● 9月20日～3月31日

日 月 火 水 木 金 土

				1	2	3
10	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
				31		

10月15日(木)、16日(金) 秋季・大学合同チャペル【授業短縮】
 第1時限終了 午前10時15分
 第2時限開始 午前11時25分

11	1	2	3*	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23*	24	25	26	27	28
	29	30					

※11月3日(火・祝) 授業実施日
 11月10日(火) 第3クォーター授業終了
 11月11日(水) 第4クォーター授業開始
 11月20日(金)・21日(土) リサーチ・フェア (神戸三田)
 ※総合政策学部開講の授業は振替 (授業はなし)
 ※11月23日(月・祝) 授業実施日

12			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

12月7日(月) 大学合同アドベントチャペル【授業短縮】
 第1時限終了 午前10時15分
 第2時限開始 午前11時25分
 12月12日(土) TOEFL ITP 試験
 (英語コミュニケーションⅡ・Ⅳ・Ⅵ履修者対象)
 12月23日(水) 冬季休業前授業終了
 12月24日(木)～1月5日(火) 冬季休業

2021					1	2
1	3	4	5	6*	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					30

1月6日(水) 冬季休業明け授業開始
 ※1月6日(水) 振替授業実施日(月曜日分)
 1月12日(火) 秋学期・第4クォーター授業終了
 1月13日(水) 秋学期補講日
 1月14日(木)～28日(木) 秋学期定期試験(予備日含む)
 1月29日(金) TOEFL ITP 追試験(午前予定)
 建築士プログラム登録用試験(午後予定)

2		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						

2月12日(金)、13日(土)、15日(月)
 秋学期追試験(予備日含む)
 2月16日(火)～3月31日(水) 春季休業

3		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

3月18日(木) 秋学期卒業式
 ※卒業式の時間は決まり次第、教学 Web サービスにてお知らせします。(11月頃を予定)

秋学期 ● 9月20日～3月31日

■履修登録・成績発表関係 詳細は「V. 履修登録」P.41以降参照

日 時	行事・手続き	場 所	備 考	
2020年	8月25日(火) 9:00 ～9月11日(金) 16:50	申込制科目(事務室メール受付分) 申込期間	総合政策学部 受付メール	対象科目は P.46参照
	9月10日(木) 9:00 ～9月11日(金) 16:50	申込制科目(Web受付分) 申込期間	教学 Web サービス	対象科目は P.48参照
	9月15日(火) 8:50	申込制科目(Web受付分) 履修者発表	教学 Web サービス	
	9月16日(水) 8:50～11:30	申込制科目(Web受付分) 追加申込期間	教学 Web サービス	160分間のみ受付
	9月17日(木) 8:50	申込制科目(事務室メール受付分) 履修者発表 申込制科目(Web受付分) 追加申込履修者発表	教学 Web サービス	
	9月24日(木) 8:50 ～9月26日(土) 16:50	履修登録期間	教学 Web サービス	
	9月30日(水) 8:50 ～10月1日(木) 16:50	履修登録確認・修正期間	教学 Web サービス	
	10月6日(火) 8:50	履修登録(確定) 閲覧開始	教学 Web サービス	
	11月16日(月) 8:50 ～11月20日(金) 16:50	履修中止申請期間	教学 Web サービス	
2021年	2月18日(木)	成績発表	教学 Web サービス	4年生: 9:00～ 1年生: 11:00～ 2年生: 13:00～ 3年生: 15:00～
	3月1日(月) 16:50	卒業延期申請締切	総合政策学部事務室	詳細は教学 Web サービス参照
	3月4日(木)	2020年度秋学期(3月) 卒業確定者・卒業延期者発表	教学 Web サービス	9:00(予定)

■学科選択

概要公示	場 所	詳 細
2020年10月23日(金) 10:00	教学 Web サービス	P.82
申請期間	場 所	詳 細
2020年12月16日(水) 8:50～12月23日(水) 16:50	K.G. Portfolio	P.82
所属発表	場 所	詳 細
2021年3月3日(水) 10:00	教学 Web サービス	P.82

■3年生への進級とゼミ選択手続き

概要公示	場 所	詳 細
2020年10月23日(金) 10:00	教学 Web サービス	P.82
申請期間	場 所	詳 細
概要公示時に発表		P.82
所属発表	場 所	詳 細
2021年3月3日(水) 10:00	教学 Web サービス	P.82

■「基礎演習」ファイナルレポート

提出期間	場 所	詳 細
2020年12月16日(水) 8:50～12月23日(水) 16:50	総合政策学部事務室	P.79

■建築士プログラム

申請期間	場 所	詳 細
2020年12月16日(水) 8:50～12月23日(水) 16:50	総合政策学部事務室	P.84
登録用試験	場 所	詳 細
2021年1月27日(水) 13:30～14:30	II号館102教室	P.84
登録者発表	場 所	詳 細
2021年3月3日(水) 10:00	教学 Web サービス	P.84

■「研究演習 I /メディア工房 I」進級論文

提出期間	場 所	詳 細
2020年12月16日(水) 8:50～2021年1月8日(金) 16:50	総合政策学部事務室	P.79

■卒業論文

提出期間	場 所	詳 細
2020年11月13日(金) 8:50～12月11日(金) 16:50	総合政策学部事務室	P.79

2020年度 全学科目予備登録スケジュール (神戸三田キャンパス)

【春学期】

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター		
3/21 (土)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~12:20		
3/23 (月)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/24 (火)		●スポーツ科学・健康科学科目(優先申込 受付) 対象:教育職員免許状取得のために履修する必要がある3年生以上の未履修者 対象科目: 「体育方法学講義C」 「体育方法学演習C」のみ ▼Web 受付のみ 3/24(火) 8:50~ 3/25(水) 16:50				●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/25 (水)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/26 (木)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/27 (金)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/28(土)								
3/30(月)								
3/31(火)								
4/1 (水)	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ●AI 活用人材育成科目の全科目 ●「開学」学 1 ●人権教育科目004・010・013 ●災害復興学入門 ●総合コース807 ●連携講座006・008・009・014 ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50	●西宮市大学共通単位講座(申込受付) センター科目: 1~4年生対象 ▼4/3(金)~4/8(水) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は、 教務 Web サービスでお知らせします。 ▼4/21(火) 9:00 教務 Web サービスで発表 ●コンソーシアムひょうご 神戸講座 集中講義科目のみのため、 申込受付期間・履修者発表 については教務 Web サービス でお知らせします。 ●EULI プログラム (申込受付) ▼4/1(水)~4/13(月) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は、 教務 Web サービスでお知らせ します。 受付時間 (全科目共通) (平日) 8:50~11:30 12:30~16:50 (土曜日) 8:50~12:20	(一般申込 受付) 対象者: 全学部生 対象科目: スポーツ科学・健康科学科目 全科目 ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事A ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●キャリアゼミA ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベース シクA ●社会探究実践演習 I・II ●PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD 橋と挑む 社会課題】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50	●Skills-based English ●Special English Seminar ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ 初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ 初級Ⅲ・中級 ※1 ●基礎フランス語 I ●フランス語アラカルト (聞く・話す) A ●日本語初級 ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50 ※1 フランス語インテンシブ 初級Ⅲ・中級/ドイツ語 インテンシブ初級Ⅲ・ 中級の先修条件特別 措置希望者は言語教育研 究センター事務局(教務 機構事務部、上ヶ原キャン パス)にて申込 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50	(英語スコアの事前登録が 必要な科目) ●総合日本語科目 (KGU Summer School 科目を含む) ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●English for Cross- Cultural Studies A ▼Web 受付と事務室にス コア提出 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50 ※申し込み最終日までに英 語スコア表を国際教育・ 協力センター (CIEC)の 事務局へ提出してくださ い。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育 研究センターでスコア登 録を行っている場合は再 度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が 不要な科目) ●Topics in Canadian Studies C ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメント I ●グローバルゼミ A、B ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50 ※その他プログラムの申込 方法については「国際教 育・協力プログラム募集 要項」を参照のこと	●ビジネス日本語 A ●ビジネス日本語 B ●ビジネス日本語 C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 4/1(水) 8:50~ 4/3(金) 16:50	●博物館実習オリエンテーション (3年生以上) ▼13:30~14:30 上ヶ原 4 別2 ●教育実習 2 次登録 (4 年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●教育実習 2 次登録 (4 年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50 《博物館実習履修者発表》 8:50 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50
4/2 (木)								
4/3 (金)								
4/4 (土)						●博物館実習履修申込 ▼8:50~12:20		
4/6 (月)	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に発表 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たない科目・ クラスがある場合にのみ 行います。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	《一般申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たないクラス がある場合にのみ行いま す。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たないクラス がある場合にのみ行いま す。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たないクラス がある場合にのみ行いま す。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たないクラス がある場合にのみ行いま す。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教 学 Web サービス「お知 らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選 後定員に満たないクラス がある場合にのみ行いま す。 (追加申込受付) ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 (追加申込 履修者発表) 17:00 Web でのみ発表	●3 年生対象 教育実習 オリエンテーション I ▼13:30~15:00 IV401 (予定) ●介護等体験事前指導 (3 年生以上) IV401 (予定) ●教育課程・博物館学芸員 課程・学校図書館司書教 諭課程、国際/カノリア 教員養成プログラム等説 明会 (新入生対象) ▼10:30~12:00 VI101 (予定)	
4/7 (火)						(免許状取得のための他学部履修許可発表) 各学部		
4 月から 随時			●ライフ・キャリア リーダーシップ実習 ●インターンシップ実習 ●海外インターンシップ ●ハンズオン・インターン シップ実習 ●キャリアゼミ B ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習 II ●PBL 特別演習008 ●PBL 特別演習002 【JETRO × 産 業 研 究 所 連携講座】 ●PBL 特別演習006 【公認会計士と挑む企業 のビジネス課題】 ●PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発 問題】 ・募集要項公開: 4 月より随時公開 ハンズオン・ラーニング センター窓口および教務 Web サービスにて入手可 ・説明会: 4 月~随時実施 ・申し込み受付: 詳細は「2020年度全学科 目申込・履修についての 注意」を参照のこと					

西宮市大学共通単位講座、EULI プログラム、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Web での申込はできません。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目です。
国連・外文関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教務 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

【秋学期】

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンスオン・ラーニングセンター (HaLC)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター	
8/28 (金)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
8/29 (土)							
8/31 (月)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/1 (火)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/2 (水)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/3 (木)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/4 (金)							
9/5 (土)							
9/7 (月)		●スポーツ科学・健康科学科目(優先申込 受付) 対象:教育職員免許状取得のために履修する必要のある3年生以上の未履修者 対象科目: 「体育方法学講義C」 「体育方法学演習C」のみ ▼Web 受付のみ 9/7(月) 9:00~ 9/8(火) 16:00				●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 9/7(月) 9:00~ 9/8(火) 16:00	
9/8 (火)						●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで	
9/9 (水)							
9/10 (木)	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」を除く全科目 ●AI 活用人材育成科目の全科目 ●「留学」学 2 ●人権教育科目005・009・018・017 ●災害復興学 ●総合コース214 ●スタディーズキルセミナー ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50	《優先申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 (一般申込 受付) 対象者:全学部生 対象科目: スポーツ科学・健康科学科目 全科目 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事A ●ライフデザインと仕事B ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●ハンスオン・プラクティス ●社会探究リサーチ・ベーシックB ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習004 【高士ゼクックス兵衛(株)志プロジェクト】 ●PBL 特別演習005 【アントレプレナー養成講座】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50	●Skills-based English ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●フランス語アラカルト(聞く・話す) A ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50 ※1 フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特別措置希望者は言語教育研究センター事務局(教務機構事務局 上ヶ原キャンパス)にて申込 9/10(水) 9:00~ 9/11(金) 16:50	(英語スコアの事前登録が必要な科目) ●総合日本語習得科目 ●English for Cross-Cultural Studies B ●COC Introduction to Multicultural Studies ●COC Introduction to International Relations ▼Web 受付と事務局にスコア提出(スコア事前登録済みの場合は Web のみ可) 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表を国際教育・協力センター (CIEC) 事務局へ提出してください。ただし、すでにCIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が不要な科目) ●Topics in Canadian Studies A, B ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメント I ●グローバルゼミ A, B ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50 ※その他プログラムの申込方法については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語 A ●ビジネス日本語 C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~ 9/11(金) 16:50 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web 受付のみ 16:50まで	
9/11 (金)							
9/12 (土)							
9/14 (月)							
9/15 (火)							
9/16 (水)	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表(予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	●西宮市大学共通単位講座(申込受付) センター科目: 1~4 年生対象 ▼9/16(水)~9/23(水) 教務機構事務局 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 (履修者発表) センター科目 ▼10/6(火) 9:00 教学 Web サービスで発表	《一般申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《追加申込 教職実践演習 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表
9/17 (木)	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	●EUIJ プログラム(申込受付) ▼9/17(木)~9/29(火) 教務機構事務局 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	
9/18 (金)							
9/19 (土)		受付時間(全科目共通)(平日) 8:50~11:30 12:30~16:50 (土曜日) 8:50~12:20					●3 年生対象 教育実習 オリエンテーションⅡ ▼10:00~12:00 5 別1 (予定) ●教職課程・博物館学芸員課程・学校図書館司書課程・国際/カリフォルニア教職養成プログラム特設明会 ▼10:00~11:30 (予定)(教室未定) ●介護等体験事前指導(後期・3 年生以上) ▼13:30~16:00 (予定)(教室未定)
9/23 (水)						《免許状取得のための他学部履修許可発表》 各学部	
9 月から随時			●インターンシップ実習 ●海外インターンシップ ●ハンスオン・インターンシップ実習 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ ●キャリアゼミ C ●履修セミナー ・募集要項公開: 9 月より随時公開 ハンスオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会: 9 月~随時実施 ・申し込み受付: 詳細は「2020 年度全学科科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラムは、Web での申込はできません。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目、オンキャンパス科目は各参加大学で実施される科目をさす。
国連・外文関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

総合政策学部専任教員オフィスアワー

“学生と教員が親しい交わりを持つ”という、関西学院創立以来の私塾的な伝統を継承し、学生がゼミの時間以外でも教員と語り合えるよう設けられている時間がオフィスアワーです。いわば“公認の面会時間”のこと。この時間には自由に教員の研究室を訪ねることができ、研究の指導を受けたり、生活上の相談をしたり、さらにはゼミの指導教員以外の教員とも気軽に話すことができる機会でもあります。

所属	氏名(ステータス)	オフィスアワー	個人研究室	
総合政策学科	安高 雄治(教授)	—	I-229	
	Joseph DeChicchis(教授)	火2	I-207	
	Kevin Heffernan(教授)	火3	I-203	
	細見 和志(教授)	木3	I-316	
	今井 一郎(教授)	水2	I-211	
	実 哲也(教授)	木3	I-309	
	亀田 啓悟(教授)	木3	I-310	
	On-Kwok Lai(教授)	水2	I-324	
	宮川 雅充(教授)	木3	I-308	
	長峯 純一(教授)	※	I-225	
	朴 勝俊(教授)	木3	I-219	
	佐山 浩(教授)	春木3・秋金3	I-311	
	関根 孝道(教授)	水2	I-123	
	Hari Srinivas(教授)	木2	I-312	
	今西 祐介(准教授)	木3	I-306	
	村瀬 義史(准教授)	木2	I-208	
	Leslie Ono(准教授)	木3	I-127	
	牲川 波都季(准教授)	木3	I-223	
	四方 理人(准教授)	火4	I-206	
	白川 俊介(准教授)	—	I-318	
宗前 清貞(准教授)	月2	I-119		
Jennifer Jordan(専任講師)	金3	I-125		
メディア情報学科	井垣 伸子(教授)	春月4・秋火4	Ⅲ-313	
	伊佐田 百合子(教授)	木3	Ⅲ-202	
	窪田 誠(教授)	木3	Ⅲ-310	
	三道 弘明(教授)	火2	Ⅲ-204	
	角谷 和俊(教授)	水2	Ⅲ-316	
	Yuri Tijerino(教授)	月3	Ⅲ-309	
	津田 睦美(教授)	金3	Ⅲ-312	
	山田 孝子(教授)	木3	Ⅲ-315	
	山中 速人(教授)	木3	Ⅲ-208	
	大用 庫智(専任講師)	水3	Ⅲ-311	
吉野 太郎(専任講師)	月2	Ⅲ-210		
都市政策学科	原 哲也(教授)	金3	Ⅲ-226	
	長谷川 計二(教授)	火3	Ⅲ-242	
	角野 幸博(教授)	水2	Ⅲ-224	
	北原 鉄也(教授)	水2	Ⅲ-222	
	客野 尚志(教授)	※	Ⅲ-236	
	李 政元(教授)	金3	Ⅲ-238	
	鬼丸 貞友(教授)	木3	Ⅲ-234	
	斉藤 憲晃(教授)	月3	Ⅲ-239	
	清水 陽子(教授)	月3	Ⅲ-240	
	照本 清峰(教授)	—	Ⅲ-237	
	八木 康夫(教授)	春月3・秋月2	Ⅲ-220	
	山根 周(准教授)	水3	Ⅲ-241	
	国際政策学科	安 熙錫(教授)	火3	I-204
		古川 靖洋(教授)	※	I-320
		井上 一郎(教授)	火3	I-209
村田 俊一(教授)		木3	I-212	
西野 桂子(教授)		水3	I-215	
大村 華子(教授)		木2	I-304	
坂口 勝一(教授)		火3	I-210	
柴山 太(教授)		春火3・秋—	I-314	
園田 明子(教授)		金4	I-227	
小西 尚実(准教授)		火3	I-213	
西立野 修平(准教授)		月3	I-302	
戸部 智(専任講師)		水2	I-217	
英語教育プログラム		Arber Richard(外国人常勤講師)	春金2・秋未定	英語共同研究室(EEO)
		Ball Daniel(外国人常勤講師)	春木3・秋未定	
		Ballou Kevin(外国人常勤講師)	春水1・秋未定	
	Brooks Gavin(外国人常勤講師)	春水2・秋未定		
	Colpitts Brad(外国人常勤講師)	春水2・秋未定		
	Dickerson Lucas(外国人常勤講師)	春水1・秋未定		
	Draper Luke(外国人常勤講師)	春水3・秋未定		
	Gay Sean(外国人常勤講師)	春水1・秋未定		
	Geddes Aaron(外国人常勤講師)	春水3・秋未定		
	Stones Thomas(外国人常勤講師)	春火1・秋未定		
Tat Christina(外国人常勤講師)	春火2・秋未定			

※印の教員のオフィスアワーは予約制となるため、面会を希望する場合は、事前に総合政策学部事務室へ問い合わせること。

チャペルアワーについて

総合政策学部チャペル

火曜日、水曜日、木曜日 10:35~11:05
II号館101教室（学部チャペル）

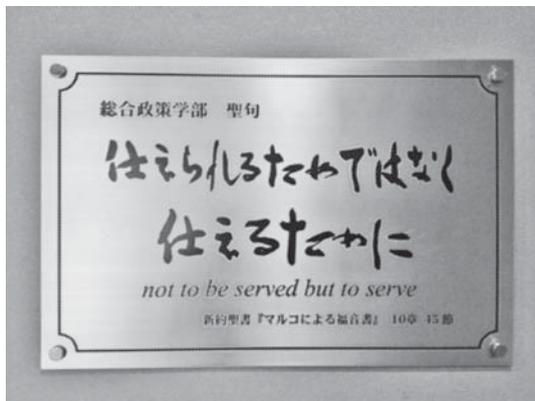
関西学院大学の時間割には、第1時限と第2時限の間に「チャペル・アワー」という時間があります。キリスト教主義に基づく全人教育を使命とする本学では、単に知識を身につけるだけでなく、「何のために学ぶのか」という生き方の根幹を問いつつ各自の学問を深めることを大切にしており、そのことを意識したプログラムがこの時間に行われます。

総合政策学部では、毎週火曜日、水曜日、木曜日にチャペルプログラムを行います。チャペルでは、教員による講話、学生の活動報告、キリスト教の音楽、聖書や祈りの言葉を聞くことを通して、多様な生き方や世界観・人間観にふれます。この時間は、建学の精神や学部の理念・目的を学び考える時であるとともに、世界に対する視野を広げ、物事を深く思索する力を養い、より豊かな世界観や人間観を形成するうえで有意義な機会になることでしょう。

授業とは異なり、チャペルは単位とは直接関係ありませんが、学年や学部を問わず全ての関学人のために用意されている時間ですから、毎回でなくとも継続的に出席することをお勧めします。また、キリスト教の礼拝スタイルにならうプログラム順序で進みますが、決してキリスト教信仰や特定の考え方を強要するものではなく、どのような立場の人にも開かれた時間です。

チャペルでの多様な価値観との対話や自分を静かに見つめる機会を通して、より充実した関学生としての学びの日々を送っていただきたいと願っています。

「真の意味における英雄的な生涯は、年数ではなく、その人物の生き方によって計られる。……それゆえ、どれほど長く生きたかではなく、何を生きる目的としていたかが問われる。そして、他のいかなる能力にもまして、純一な愛の労苦が求められる。」
(関西学院創立者 W.R.ランバス)



■総合政策学部 聖句「仕えられるためではなく仕えるために」

関西学院大学の各学部には、それぞれの設置理念にちなむ聖書の言葉（聖句）があります。総合政策学部の聖句は、新約聖書『マルコによる福音書』10章45節にある上記のイエス・キリストの言葉です。人に仕えられるよりも人に仕えることの内にこそ、人間としての喜びや美しさがあることを命をかけて伝えたキリストの姿に学びつつ、真に他者やこの世界に仕えるための土台を本学部でしっかりと築いていただきたいという祈りが込められています。この聖句は、正門にある「関西学院」の文字を書かれた書家の宮本竹逯氏の筆によるものです。

I. 学習の手引き

1. 関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第4代院長）C. J. L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

2. Kwansei コンピテンシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwansei コンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

（知識）

- 幅広い知識・深い専門性
- 多様性への理解

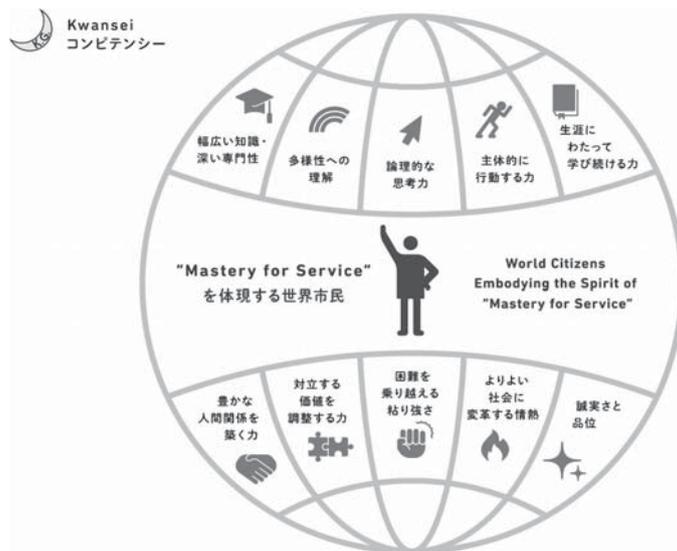
（資質）

- 困難を乗り越える粘り強さ
- よりよい社会に変革する情熱
- 誠実さと品位

（能力）

- 論理的な思考力
- 主体的に行動する力
- 生涯にわたって学び続ける力
- 豊かな人間関係を築く力
- 対立する価値を調整する力

「Kwansei コンピテンシー」



関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて、この学院に学ぶすべての者がこれらのコンピテンシーを段階的に身に付け、高めていくことをめざします。

3. 総合政策学部の理念・目的・教育目標

総合政策学部	総合政策学部は、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」という理念の下で、複雑かつ高度化した現代社会に潜む諸問題を発見し、問題解決及び政策立案能力を持った人材を養成することを目的としている。そのために、総合政策学部はヒューマン・エコロジーを視座とし、政治学、経済学、社会学、経営学、法学、工学、理学、言語、文化、思想といった個別的学問領域を横断的かつ重層的に構造化した教育課程を編成して、「Think Globally. Act Locally.」をモットーとした総合的かつ専門的な教育研究を行う。
総合政策学科	総合政策学部の理念である「自然と人間の共生、人間と人間の共生」についての基本的理解を深め、技術的環境の変化とマクロな社会変化に対応できる総合的な視野、問題解決能力、政策立案能力を持つとともに、「Think Globally. Act Locally.」をモットーとして地球規模で自然・文化・社会環境を維持発展させ、国際社会に貢献できる人材を養成する。そのために、「環境政策フィールド」、「公共政策フィールド」、「言語文化政策フィールド」という3つの専攻フィールドを設け、総合的かつ専門的な教育研究を行う。
メディア情報学科	デジタル・ネットワークを基盤とする豊かな社会を築くため、日々進歩する情報通信技術と情報メディアの本質を理解した上で、それらのあり方についての問題を人間重視の視点から先見性を持って見出す。そこで発見された問題を、フィールド調査や数理的分析などにより考察し、次に問題解決の政策案を作成し、さらにそれらを映像表現を含む多様なメディアを活用したコンテンツとして社会に発信することができる人材を育成する。
都市政策学科	都市空間・環境の制御技術とともに社会開発政策や都市経営政策に関する知識と能力を持ち、両者を有機的に統合しながら多様な都市問題の解決を行うことのできる人材、言い換えれば、総合的かつ専門的な見地から都市政策をデザインし、都市マネジメントを構想・実行できる人材を養成する。そのために、快適な都市空間を創造する技術（都市デザイン）と持続可能な都市経営の施策（都市マネジメント）という2つの領域に関する総合的かつ専門的な教育研究を行う。
国際政策学科	国連が掲げる平和構築、国際発展と開発、人権の擁護といった国際社会の諸課題に対して、総合的かつ専門的な見地から政策を構想・立案し、実践的な問題解決能力を備えた人材を養成する。そのために、「国際社会における平和構築」、「国際発展と開発」、「国際人権レジームの拡大と擁護」という3つの政策課題に関して理論と実践の双方の視点から総合的かつ専門的な教育研究を行う。

4. 人材育成の目標

- (1) 「自然と人間の共生、人間と人間の共生」についての基本的理解を深め、技術的環境の変化とマクロな社会変化に対応できる総合的な視野とスキルを持つとともに、“Think Globally. Act Locally.” のモットーのもと、地球規模で自然・文化・社会環境を維持・発展させ、国際社会に貢献しうる政策を立案・実践することのできる人材を養成する。
- (2) 応用情報学の知識と構想力を持ち、「智」とユビキタスなデジタル・ネットワークを基盤とする高度知識基盤社会、IT社会の創造に貢献できる人材を養成する。
- (3) 物理的な都市空間・環境の制御技術とともに、社会開発政策や都市経営政策に通じた能力、知識、意欲を持ち、双方を有機的に統合しながら課題解決に向かうことのできる人材、すなわち、総合的な観点に立脚しつつより専門的な見地から都市政策をデザインし、都市マネジメントを構想・実現しうる人材を養成する。
- (4) 国際社会の平和構築、開発・発展の促進、人権レジームの強化など、国際社会における平和・安全・共生が相互にかかわる複雑な諸問題に関して、総合的かつ実践的な問題解決、政策立案能力、実務能力、リーダーシップを備えた人材を養成する。

■ヒューマン・エコロジー (Human Ecology)

ヒューマン・エコロジー研究は人間社会を自然環境との相互関係のもとに捉え、両者を媒介する技術、社会経済組織、行動様式、価値体系、言語体系などを相互に関連づけて分析し、全体としての構造性を明らかにする総合性の高い学術的な学問分野として注目を浴びています。ヒューマン・エコロジーの考え方は、総合政策学部創設以来、学部の中心的地位を占めています。「ヒューマン・エコロジー」では、エコシステムと社会システムという2つの複雑なシステムの関連を学び、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」という本学部のモットーに科学的基礎を与えるものです。



5. 総合政策学部ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

2019年度以前入学生

総合政策学部はより良い未来を実現するため、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」の理念を理解し、その実現を通じて、社会の持続的発展に資する人材の育成を目標とします。

この目標を実現するための教育として、まず、人が生きていく場としての「環境」、維持すべき社会としての「公共」、ならびに思考がよって立つ「言語・文化」に関わる政策を基礎とします。そして、さらに現代社会の危機と可能性を踏まえて、経済・社会活動の場として重要性を増す「都市」、相互影響と関係性がさらに深まりつつある「国際」、そして急速な技術革新のもとで社会を変革しつつある表現手段としての「メディア」に関わる政策に着目します。

学生は、これらの様々な課題に対してグローバルな視点から考え、実行可能な対策を立案・実践できる専門力と総合力を備えた人材としての教育を受けます。そして、それぞれの問題意識と将来の夢に従い、本学部での多様な学びと経験を自らの力とし、より良い社会の実現のために、その力を生かしていくことが期待されます。こうしたポリシーにもとづき、学士（総合政策）の学位は、共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な以下にあげる基礎的能力を有する者に授与されます。

- ・「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」をめざし、グローバルな視点から現代の地球社会の問題を発見する能力（問題発見能力）を習得し、さらに学問的な態度でこれらの問題を解決できる能力（問題解決能力）。
- ・自然科学・社会科学等の複数の学問分野にまたがる基礎的な知識（学際性）と問題を科学的に分析する力を身につけることで、社会や自然における複合的で複雑な諸問題を理解し、具体的な政策を構想できる能力（総合力）。
- ・フィールドワークをとおして現実の社会において人々と共に実際の諸問題を分析発見し（実学性）、さらにそれらを克服する政策を構想し実践できる能力（実践力）。
- ・政策実現にあたって必要となる様々な文化や価値観を理解し交流できる能力（コミュニケーション力）と自己の考えを発信できる能力（プレゼンテーション力）。

2020年度以降入学生

Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において総合政策学部の学位授与方針（DP）を以下のとおり定めます。

総合政策学科

総合政策学部はより良い未来を実現するため、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」の理念を理解し、その実現を通じて、社会の持続的発展に資する人材の育成を目標とします。

この目標を実現するための教育として、総合政策学科では、人が生きていく場としての「環境」、維持すべき社会としての「公共」、ならびに思考がよって立つ「言語・文化」に関わる政策に着目します。

学生は、関連する様々な課題に対してグローバルな視点から考え、実行可能な対策を立案・実践できる専門力と総合力を備えた人材としての教育を受けます。そして、それぞれの問題意識と将来の夢に従い、本学部での多様な学びと経験を自らの力とし、より良い社会の実現のために、その力を生かしていくことが期待されます。こうしたポリシーにもとづき、学士（総合政策）の学位は、共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な以下にあげる基礎的能力を有する者に授与されます。

- ・「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」をめざし、グローバルな視点から現代の地球社会の問題を発見する能力（問題発見能力）を習得し、さらに学問的な態度でこれらの問題を解決できる能力（問題解決能力）。
- ・自然科学・社会科学等の複数の学問分野にまたがる基礎的な知識（学際性）と問題を科学的に分析する力を身につけることで、社会や自然における複合的で複雑な諸問題を理解し、具体的な政策を構想できる能力（総合力）。
- ・フィールドワークをとおして現実の社会において人々と共に実際の諸問題を分析発見し（実学性）、さらにそれらを克服する政策を構想し実践できる能力（実践力）。
- ・政策実現にあたって必要となる様々な文化や価値観を理解し交流できる能力（コミュニケーション力）と自己の考えを発信できる能力（プレゼンテーション力）。

メディア情報学科

総合政策学部はより良い未来を実現するため、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」の理念を理解し、その実現を通じて、社会の持続的発展に資する人材の育成を目標とします。

この目標を実現するための教育として、メディア情報学科では、急速な技術革新のもとで社会を変革しつつある表現手段としての「メディア」に関わる政策に着目します。

学生は、関連する様々な課題に対してグローバルな視点から考え、実行可能な対策を立案・実践できる専門力と総合力を備えた人材としての教育を受けます。そして、それぞれの問題意識と将来の夢に従い、本学部での多様な学びと経験を自らの力とし、より良い社会の実現のために、その力を生かしていくことが期待されます。こうしたポリシーにもとづき、学士（総合政策）の学位は、共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な以下にあげる基礎的能力を有する者に授与されます。

- ・「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」をめざし、グローバルな視点から現代の地球社会の問題を発見する能力（問題発見能力）を習得し、さらに学問的な態度でこれらの問題を解決できる能力（問題解決能力）。
- ・自然科学・社会科学等の複数の学問分野にまたがる基礎的な知識（学際性）と問題を科学的に分析する力を身につけることで、社会や自然における複合的で複雑な諸問題を理解し、具体的な政策を構想できる能力（総合力）。
- ・フィールドワークをとおして現実の社会において人々と共に実際の諸問題を分析発見し（実学性）、さらにそれらを克服する政策を構想し実践できる能力（実践力）。
- ・政策実現にあたって必要となる様々な文化や価値観を理解し交流できる能力（コミュニケーション力）と自己の考えを発信できる能力（プレゼンテーション力）。

都市政策学科

総合政策学部はより良い未来を実現するため、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」の理念を理解し、その実現を通じて、社会の持続的発展に資する人材の育成を目標とします。

この目標を実現するための教育として、都市政策学科では、現代社会の危機と可能性を踏まえて、経済・社会活動の場として重要性を増す「都市」に関わる政策に着目します。

学生は、関連する様々な課題に対してグローバルな視点から考え、実行可能な対策を立案・実践できる専門力と総合力を備えた人材としての教育を受けます。そして、それぞれの問題意識と将来の夢に従い、本学部での多様な学びと経験を自らの力とし、より良い社会の実現のために、その力を生かしていくことが期待されます。こうしたポリシーにもとづき、学士（総合政策）の学位は、共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な以下にあげる基礎的能力を有する者に授与されます。

- ・「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」をめざし、グローバルな視点から現代の地球社会の問題を発見する能力（問題発見能力）を習得し、さらに学問的な態度でこれらの問題を解決できる能力（問題解決能力）。
- ・自然科学・社会科学等の複数の学問分野にまたがる基礎的な知識（学際性）と問題を科学的に分析する力を身につけることで、社会や自然における複合的で複雑な諸問題を理解し、具体的な政策を構想できる能力（総合力）。
- ・フィールドワークをとおして現実の社会において人々と共に実際の諸問題を分析発見し（実学性）、さらにそれらを克服する政策を構想し実践できる能力（実践力）。
- ・政策実現にあたって必要となる様々な文化や価値観を理解し交流できる能力（コミュニケーション力）と自己の考えを発信できる能力（プレゼンテーション力）。

国際政策学科

総合政策学部はより良い未来を実現するため、「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」の理念を理解し、その実現を通じて、社会の持続的発展に資する人材の育成を目標とします。

この目標を実現するための教育として、国際政策学科では、相互影響と関係性がさらに深まりつつある「国際」社会に関わる政策に着目します。

学生は、関連する様々な課題に対してグローバルな視点から考え、実行可能な対策を立案・実践できる専門力と総合力を備えた人材としての教育を受けます。そして、それぞれの問題意識と将来の夢に従い、本学部での多様な学びと経験を自らの力とし、より良い社会の実現のために、その力を生かしていくことが期待されます。こうしたポリシーにもとづき、学士（総合政策）の学位は、共生の実現と社会の持続的発展に関わる政策の立案、実行に必要な以下にあげる基礎的能力を有する者に授与されます。

- ・「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」をめざし、グローバルな視点から現代の地球社会の問題を発見する能力（問題発見能力）を習得し、さらに学問的な態度でこれらの問題を解決できる能力（問題解決能力）。
- ・自然科学・社会科学等の複数の学問分野にまたがる基礎的な知識（学際性）と問題を科学的に分析する力を身につけることで、社会や自然における複合的で複雑な諸問題を理解し、具体的な政策を構想できる能力（総合力）。
- ・フィールドワークをとおして現実の社会において人々と共に実際の諸問題を分析発見し（実学性）、さらにそれらを克服する政策を構想し実践できる能力（実践力）。
- ・政策実現にあたって必要となる様々な文化や価値観を理解し交流できる能力（コミュニケーション力）と自己の考えを発信できる能力（プレゼンテーション力）

6. 総合政策学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

2019年度以前入学生

<基本ポリシー>

- (1) キリスト教の文化・思想に基づく建学の精神を理解し、「仕えられるためではなく仕えるために」という理念のもとで個々の人間性を涵養するとともに、世界への広い視野を身につけます。
- (2) 学びの起点
「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」、「Think Globally. Act Locally.」という学部の基本理念を深く理解し、実践する力を養います。
- (3) 広範で総合的な知識の獲得と政策分析力の形成
総合政策に関連する幅広い知識を習得し、多角的視野から社会の問題を俯瞰する力を養うため、学科の枠を越えて履修できる多様な専門科目を提供します。社会科学、人文科学、自然科学に関する知識を広げるとともに、どの専門分野でも必要な、データの科学的活用技術を習得し、各所属学科の目的と興味に応じた専門性と、学際性の両立をめざします。これらをもとに、各分野における政策あるいは計画の分析・立案能力の形成をめざします。
- (4) 各分野における実務的専門的技術の獲得
各学科、各分野における必要にして十分な専門科目を開講します。学内での講義や演習科目だけではなく、プロジェクト・ベースド・ラーニングやハンズオンラーニングを意識したフィールドワークも用意して、現場体験を通じた学びの動機付けを行います。また、外部の研究者や実務家等を招聘して、全学部生を対象とする公開講座（学部研究会と呼んでいます）も実施します。さらに専門性を高めるために、さまざまな資格取得が可能なプログラムも提供します。
- (5) 語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の涵養
英語や諸外国語で発信される様々な情報を収集、理解するとともに、自らの考えや思いを口頭や文章、映像等での確に伝える実践的な力を習得します。そのために、英語のネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育を推進します。留学生は同様の趣旨で、日本語科目を学びます。また、ICTを柔軟に活用した情報収集・分析・発信技術を学び、数理的思考やデータ分析の基本も習得します。これらの成果を大勢の前でプレゼンテーションする機会を学部行事として実施します。
- (6) 諸分野における課題発見能力と自発的な研究推進およびこれを取りまとめる能力の形成
学生自らが研究課題を発見、遂行、とりまとめる能力を形成するために、ゼミでの少人数教育を基本として、進級論文や卒業論文、卒業制作等の指導を通じてアカデミックスキルの向上をめざします。またその成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルも磨きます。

<4年間のカリキュラムの流れ>

- (1) 1年次にはキリスト教教育および総合政策の基本理念を学ぶ他、各学科の専門的な内容を知るための学科入門科目があります。また、少人数での英語教育とコンピュータ演習他、いくつかの必修科目を設けます。学生はこれらの科目の履修を通し、各自の学習目標と専門領域を検討し、1年次の終わりに学科を選択します。
- (2) 2年次以降は4つの学科に所属し、それぞれの視点から現代社会の諸課題を理解し、専門的な学びを開始します。学科ごとに必修科目を用意するとともに、引き続き英語能力の上達をめざす少人数科目を提供します。なお、一級建築士の資格修得を目指す建築士プログラムも2年次から始まります。
- (3) 3、4年次では、学生は全員いずれかのゼミに配属され、教員との議論や実践的なフィールドワーク、ハンズオンラーニング等を通して、専門性をさらに深めます。また一級建築士や各種教職以外にも各種資格取得に必要な科目を提供します。
- (4) 上記を踏まえて、各学科では次のような教育課程の編成・実施方針を定めます。
 - ・総合政策学科では、広範で多様な知識と政策の理論を学びつつ、それらを環境政策・公共政策・言語文化政策の3つのフィールドで現実の政策に応用していくための専門知識・技能・態度を修得する科目群を設置しています。
 - ・メディア情報学科では、人間を中心に据えた情報技術や社会のあり方を総合的に考え、情報技術を通じて実現するため情報社会政策、メディアと情報通信技術に関する専門知識・技能・態度を習得する科目群を設置しています。
 - ・都市政策学科では、快適で安全な都市空間をデザインするための基本的な考え方とそれを実現するための設計技術、都市空間を適切にマネージするための都市経営政策など、都市空間を計画・創造・運営するための専門的知識・技法・態度を習得する科目群を設置しています。
 - ・国際政策学科では、国際機関や多国籍企業などグローバルレベルで活躍できる人材の育成を目指し、グローバルな視点からの政策を立案し、分析するための専門知識・技能・態度を習得する科目群を設置しています。

2020年度以降入学生

総合政策学部では、学位授与方針を念頭におき、教育課程の編成・実施方針（CP）を以下のとおり定めます。

総合政策学科

総合政策学科は、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」についての基本的理解を深め、技術的環境の変化とマクロな社会変化に対応できる総合的な視野、問題解決能力、政策立案能力を持つとともに、「Think Globally. Act Locally.」をモットーとして地球規模で自然・文化・社会環境を維持発展させ、国際社会に貢献できる人材を養成します。そのために、「環境政策フィールド」、「公共政策フィールド」、「言語文化政策フィールド」という3つの専攻フィールドを設け、総合的かつ専門的な教育研究を行います。

<基本ポリシー>

(1) 建学の精神の継承と人間性の涵養

学生は、キリスト教の文化・思想に基づく建学の精神を理解し、「仕えられるためではなく仕えるために」という理念のもとで個々の人間性を涵養するとともに、世界への広い視野を身につけます。

(2) 学びの起点

総合政策学部では、学生が「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」、「Think Globally. Act Locally.」という学部の基本理念を深く理解し、実践する力を養います。

(3) 広範で総合的な知識の獲得と政策分析力の形成

総合政策学部は、総合政策に関連する幅広い知識を習得し、多角的視野から社会の問題を俯瞰する力を養うため、学科の枠を越えて履修できる多様な専門科目を提供します。社会科学、人文科学、自然科学に関する知識を広げるとともに、どの専門分野でも必要な、データの科学的活用技術を習得し、各所属学科の目的と興味に応じた専門性と、学際性の両立をめざします。これらをもとに、各分野における政策あるいは計画の分析・立案能力の形成をめざします。

(4) 各分野における実務的専門的技術の獲得

総合政策学科は、各分野における必要にして十分な専門科目を開講します。学内での講義や演習科目だけではなく、プロジェクト・ベースド・ラーニングやハンズオンラーニングを意識したフィールドワークも用意して、現場体験を通じた学びの動機付けを行います。また、外部の研究者や実務家等を招聘して、全学部生を対象とする公開講座（学部研究会と呼んでいます）も実施します。さらに専門性を高めるために、さまざまな資格取得が可能なプログラムも提供します。

(5) 語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の涵養

学生は、英語や諸外国語で発信される様々な情報を収集、理解するとともに、自らの考えや思いを口頭や文章、映像等で的確に伝える実践的な力を習得します。そのために、英語のネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育を推進します。留学生は同様の趣旨で、日本語科目を学びます。また、ICTを柔軟に活用した情報収集・分析・発信技術を学び、数理的思考やデータ分析の基本も習得します。これらの成果を大勢の前でプレゼンテーションする機会を学部行事として実施します。

(6) 諸分野における課題発見能力と自発的な研究推進およびこれを取りまとめる能力の形成

学生自らが研究課題を発見、遂行、とりまとめる能力を形成するために、ゼミでの少人数教育を基本として、進級論文や卒業論文、卒業制作等の指導を通じてアカデミックスキルの向上をめざします。またその成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルも磨きます。

<4年間のカリキュラムの流れ>

- (1) 1年次にはキリスト教および総合政策の基本理念を学ぶ他、各学科の専門的な内容を知るための学科入門科目があります。また、少人数での英語教育とコンピュータ演習他、いくつかの必修科目を設けます。学生はこれらの科目の履修を通し、各自の学習目標と専門領域を検討し、1年次の終わりに学科を選択します。
- (2) 2年次以降は4つの学科に分属し、それぞれの視点から現代社会の諸課題を理解し、専門的な学びを開始します。学科ごとに必修科目を用意するとともに、引き続き英語能力の上達をめざす少人数科目を提供します。
- (3) 3、4年次では、学生は全員いずれかのゼミに配属され、教員との議論や実践的なフィールドワーク、ハンズオンラーニング等を通して、専門性をさらに深めます。また各種教職以外にも各種資格取得に必要な科目を提供します。
- (4) 上記を踏まえて、総合政策学科では、広範で多様な知識と政策の理論を学びつつ、それらを環境政策・公共政策・言語文化政策の3つのフィールドで現実の政策に応用していくための専門知識・技能・態度を修得する教育課程を編成しています。

メディア情報学科

メディア情報学科は、デジタル・ネットワークを基盤とする豊かな社会を築くため、日々進歩する情報通信技術と情報メディアの本質を理解した上で、それらのあり方についての問題を人間重視の視点から先見性を持って見出します。そこで発見された問題を、フィールド調査や数理的分析などにより考察し、次に問題解決の政策案を作成し、さらにそれらを映像表現を含む多様なメディアを活用したコンテンツとして社会に発信することができる人材を育成します。

<基本ポリシー>

- (1) 建学の精神の継承と人間性の涵養
学生は、キリスト教の文化・思想に基づく建学の精神を理解し、「仕えられるためではなく仕えるために」という理念のもとで個々の人間性を涵養するとともに、世界への広い視野を身につけます。
- (2) 学びの起点
総合政策学部では、学生が「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」、「Think Globally. Act Locally.」という学部の基本理念を深く理解し、実践する力を養います。
- (3) 広範で総合的な知識の獲得と政策分析力の形成
総合政策学部は、総合政策に関連する幅広い知識を習得し、多角的視野から社会の問題を俯瞰する力を養うため、学科の枠を越えて履修できる多様な専門科目を提供します。社会科学、人文科学、自然科学に関する知識を広げるとともに、どの専門分野でも必要な、データの科学的活用技術を習得し、各所属学科の目的と興味に応じた専門性と、学際性の両立をめざします。これらをもとに、各分野における政策あるいは計画の分析・立案能力の形成をめざします。
- (4) 各分野における実務的専門的技術の獲得
メディア情報学科は、必要にして十分な専門科目を開講します。学内での講義や演習科目だけではなく、プロジェクト・ベースド・ラーニングやハンズオンラーニングを意識したフィールドワークも用意して、現場体験を通じた学びの動機付けを行います。また、外部の研究者や実務家等を招聘して、全学部生を対象とする公開講座（学部研究会と呼んでいます）も実施します。さらに専門性を高めるために、さまざまな資格取得が可能なプログラムも提供します。
- (5) 語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の涵養
学生は、英語や諸外国語で発信される様々な情報を収集、理解するとともに、自らの考えや思いを口頭や文章、映像等での確に伝える実践的な力を習得します。そのために、英語のネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育を推進します。留学生は同様の趣旨で、日本語科目を学びます。また、ICTを柔軟に活用した情報収集・分析・発信技術を学び、数理的思考やデータ分析の基本も習得します。これらの成果を大勢の前でプレゼンテーションする機会を学部行事として実施します。
- (6) 諸分野における課題発見能力と自発的な研究推進およびこれを取りまとめる能力の形成
学生自らが研究課題を発見、遂行、とりまとめる能力を形成するために、ゼミでの少人数教育を基本として、進級論文や卒業論文、卒業制作等の指導を通じてアカデミックスキルの向上をめざします。またその成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルも磨きます。

<4年間のカリキュラムの流れ>

- (1) 1年次にはキリスト教および総合政策の基本理念を学ぶ他、各学科の専門的な内容を知るための学科入門科目があります。また、少人数での英語教育とコンピュータ演習他、いくつかの必修科目を設けます。学生はこれらの科目の履修を通し、各自の学習目標と専門領域を検討し、1年次の終わりに学科を選択します。
- (2) 2年次以降は4つの学科に分属し、それぞれの視点から現代社会の諸課題を理解し、専門的な学びを開始します。学科ごとに必修科目を用意するとともに、引き続き英語能力の上達をめざす少人数科目を提供します。
- (3) 3、4年次では、学生は全員いずれかのゼミに配属され、教員との議論や実践的なフィールドワーク、ハンズオンラーニング等を通して、専門性をさらに深めます。また各種教職以外にも各種資格取得に必要な科目を提供します。
- (4) 上記を踏まえて、メディア情報学科では、人間を中心に据えた情報技術や社会のあり方を総合的に考えた、情報技術を通じて実現するための情報社会政策、メディアと情報通信技術に関する専門知識・技能・態度を習得する教育課程を編成しています。

都市政策学科

都市政策学科は、都市空間・環境の制御技術とともに社会開発政策や都市経営政策に関する知識と能力を持ち、両者を有機的に統合しながら多様な都市問題の解決を行うことのできる人材、言い換えれば、総合的かつ専門的な見地から都市政策をデザインし、都市マネジメントを構想・実行できる人材を養成します。そのために、快適な都市空間を創造する技術（都市デザイン）と持続可能な都市経営の施策（都市マネジメント）という2つの領域に関する総合的かつ専門的な教育研究を行います。

<基本ポリシー>

- (1) 建学の精神の継承と人間性の涵養
学生は、キリスト教の文化・思想に基づく建学の精神を理解し、「仕えられるためではなく仕えるために」という理念のもとで個々の人間性を涵養するとともに、世界への広い視野を身につけます。
- (2) 学びの起点
総合政策学部では、学生が「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」、「Think Globally. Act Locally.」という学部の基本理念を深く理解し、実践する力を養います。
- (3) 広範で総合的な知識の獲得と政策分析力の形成
総合政策学部は、総合政策に関連する幅広い知識を習得し、多角的視野から社会の問題を俯瞰する力を養うため、学科の枠を越えて履修できる多様な専門科目を提供します。社会科学、人文科学、自然科学に関する知識を広げるとともに、どの専門分野でも必要な、データの科学的活用技術を習得し、各所属学科の目的と興味に応じた専門性と、学際性の両立をめざします。これらをもとに、各分野における政策あるいは計画の分析・立案能力の形成をめざします。
- (4) 各分野における実務的専門的技術の獲得
都市政策学科は、必要にして十分な専門科目を開講します。学内での講義や演習科目だけではなく、プロジェクト・ベースド・ラーニングやハンズオンラーニングを意識したフィールドワークも用意して、現場体験を通じた学びの動機付けを行います。また、外部の研究者や実務家等を招聘して、全学部生を対象とする公開講座（学部研究会と呼んでいます）も実施します。さらに専門性を高めるために、さまざまな資格取得が可能なプログラムも提供します。
- (5) 語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の涵養
学生は、英語や諸外国語で発信される様々な情報を収集、理解するとともに、自らの考えや思いを口頭や文章、映像等で的確に伝える実践的な力を習得します。そのために、英語のネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育を推進します。留学生は同様の趣旨で、日本語科目を学びます。また、ICTを柔軟に活用した情報収集・分析・発信技術を学び、数理的思考やデータ分析の基本も習得します。これらの成果を大勢の前でプレゼンテーションする機会を学部行事として実施します。
- (6) 諸分野における課題発見能力と自発的な研究推進およびこれを取りまとめる能力の形成
学生自らが研究課題を発見、遂行、とりまとめる能力を形成するために、ゼミでの少人数教育を基本として、進級論文や卒業論文、卒業制作等の指導を通じてアカデミックスキルの向上をめざします。またその成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルも磨きます。

<4年間のカリキュラムの流れ>

- (1) 1年次にはキリスト教および総合政策の基本理念を学ぶ他、各学科の専門的な内容を知るための学科入門科目があります。また、少人数での英語教育とコンピュータ演習他、いくつかの必修科目を設けます。学生はこれらの科目の履修を通し、各自の学習目標と専門領域を検討し、1年次の終わりに学科を選択します。
- (2) 2年次以降は4つの学科に分属し、それぞれの視点から現代社会の諸課題を理解し、専門的な学びを開始します。学科ごとに必修科目を用意するとともに、引き続き英語能力の上達をめざす少人数科目を提供します。なお、一級建築士の資格修得を目指す建築士プログラムも2年次から始まります。
- (3) 3、4年次では、学生は全員いずれかのゼミに配属され、教員との議論や実践的なフィールドワーク、ハンズオンラーニング等を通して、専門性をさらに深めます。また一級建築士や各種教職以外にも各種資格取得に必要な科目を提供します。
- (4) 上記を踏まえて、都市政策学科では、快適で安全な都市空間をデザインするための基本的な考え方とそれを実現するための設計技術、都市空間を適切にマネージするための都市経営政策など、都市空間を計画・創造・運営するための専門的知識・技法・態度を習得する教育課程を編成しています。

国際政策学科

国際政策学科は、国連が掲げる平和構築、国際発展と開発、人権の擁護といった国際社会の諸課題に対して、総合的かつ専門的な見地から政策を構想・立案し、実践的な問題解決能力を備えた人材を養成します。そのために、「国際社会における平和構築」、「国際発展と開発」、「国際人権レジームの拡大と擁護」という3つの政策課題に関して理論と実践の双方の視点から総合的かつ専門的な教育研究を行います。

<基本ポリシー>

- (1) 建学の精神の継承と人間性の涵養
学生は、キリスト教の文化・思想に基づく建学の精神を理解し、「仕えられるためではなく仕えるために」という理念のもとで個々の人間性を涵養するとともに、世界への広い視野を身につけます。
- (2) 学びの起点
総合政策学部では、学生が「自然と人間の共生ならびに人間と人間の共生」、「Think Globally. Act Locally.」という学部の基本理念を深く理解し、実践する力を養います。
- (3) 広範で総合的な知識の獲得と政策分析力の形成
総合政策学部は、総合政策に関連する幅広い知識を習得し、多角的視野から社会の問題を俯瞰する力を養うため、学科の枠を越えて履修できる多様な専門科目を提供します。社会科学、人文科学、自然科学に関する知識を広げるとともに、どの専門分野でも必要な、データの科学的活用技術を習得し、各所属学科の目的と興味に応じた専門性と、学際性の両立をめざします。これらをもとに、各分野における政策あるいは計画の分析・立案能力の形成をめざします。
- (4) 各分野における実務的専門的技術の獲得
国際政策学科は、必要にして十分な専門科目を開講します。学内での講義や演習科目だけでなく、プロジェクト・ベースド・ラーニングやハンズオンラーニングを意識したフィールドワークも用意して、現場体験を通じた学びの動機付けを行います。また、外部の研究者や実務家等を招聘して、全学部生を対象とする公開講座（学部研究会と呼んでいます）も実施します。さらに専門性を高めるために、さまざまな資格取得が可能なプログラムも提供します。
- (5) 語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の涵養
学生は、英語や諸外国語で発信される様々な情報を収集、理解するとともに、自らの考えや思いを口頭や文章、映像等での確に伝える実践的な力を習得します。そのために、英語のネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育を推進します。留学生は同様の趣旨で、日本語科目を学びます。また、ICTを柔軟に活用した情報収集・分析・発信技術を学び、数理的思考やデータ分析の基本も習得します。これらの成果を大勢の前でプレゼンテーションする機会を学部行事として実施します。
- (6) 諸分野における課題発見能力と自発的な研究推進およびこれを取りまとめる能力の形成
学生自らが研究課題を発見、遂行、とりまとめる能力を形成するために、ゼミでの少人数教育を基本として、進級論文や卒業論文、卒業制作等の指導を通じてアカデミックスキルの向上をめざします。またその成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルも磨きます。

<4年間のカリキュラムの流れ>

- (1) 1年次にはキリスト教および総合政策の基本理念を学ぶ他、各学科の専門的な内容を知るための学科入門科目があります。また、少人数での英語教育とコンピュータ演習他、いくつかの必修科目を設けます。学生はこれらの科目の履修を通し、各自の学習目標と専門領域を検討し、1年次の終わりに学科を選択します。
- (2) 2年次以降は4つの学科に分属し、それぞれの視点から現代社会の諸課題を理解し、専門的な学びを開始します。学科ごとに必修科目を用意するとともに、引き続き英語能力の上達をめざす少人数科目を提供します。
- (3) 3、4年次では、学生は全員いずれかのゼミに配属され、教員との議論や実践的なフィールドワーク、ハンズオンラーニング等を通して、専門性をさらに深めます。また各種教職以外にも各種資格取得に必要な科目を提供します。
- (4) 上記を踏まえて、国際政策学科では、国際機関や多国籍企業などグローバルレベルで活躍できる人材の育成を目指し、グローバルな視点からの政策を立案し、分析するための専門知識・技能・態度を習得できる教育課程を編成しています。

II. 一般注意事項、履修・学習要覧 Web サイトの紹介

1. 学生証

学生証は常に携帯してください。試験や手続きの際は、必ず学生証の提示が求められますので、紛失・汚損等の場合は早急に再発行手続きをとってください（再発行手数料が必要）。

2. 掲示・教学 Web サービス

大学における学生への連絡・通知は掲示および教学 Web サービスによることを原則としています。

登校時には必ず掲示板を、また定期的に教学 Web サービスを確認してください。掲示・教学 Web サービスを見なかったという理由で責任を逃れることはできません。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われますので、十分に注意してください。

なお、事務室への電話による問い合わせには一切応じません。

3. 学部事務室開室時間

月曜日～金曜日 8:50～11:30、12:30～16:50

土曜日 8:50～12:20

ただし、行事等によって変更することがあります。また、5月、6月、9月、10月の第2土曜日および5月の第4土曜日は一斉土休となるため、事務室は閉室となります。

なお、夏季休業中、冬季休業中の事務室開室日および時間については、掲示により通知します。

4. 各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出てください。

現住所の変更については、教学 Web サービスで修正してください。

5. パソコンの利用

校内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができます。ただし、パソコン教室は授業で使用することがあるため、授業利用時以外（オープン利用時）のみ使用できます。各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は、<https://ict.kwansei.ac.jp/>の「PC教室空席状況」で確認することができます。

また、個人所有のデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）を学内のネットワークに接続して利用することもできます。

6. 証明書等

■ 証明書発行機の設置場所

設置場所		台数	利用時間帯
西宮上ヶ原	学生サービスセンター 1階	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20
	大学図書館 1階	1台	
	G号館 1階	1台	
神戸三田	I号館 1階	1台	
	VI号館 1階	1台	
大阪梅田	アプローズタワー 14階（ラウンジ）	2台	月～金曜日 10:30～21:00 土曜日 10:30～20:00 日曜日 10:30～17:00
西宮聖和	I号館1階（教育学部・短期大学事務室前）	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20

注) メンテナンス等により利用時間帯であっても使用できない場合がありますので注意してください。**利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要です。**パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の誕生日(1月7日生まれの場合は「0107」)があらかじめ発行機に登録されています。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更(証明書発行機で変更可能)を行ってください。

■ 証明書発行機で発行する証明書

○：発行可 ×：証明書発行機による発行不可

種 類	和文	英文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書(発行開始日は掲示で告知)	○	○
健康診断証明書	○	×
教育職員免許状取得見込証明書(発行開始日は掲示で告知)	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書(発行期間は掲示で告知)	○	○

■ 上記以外の各種申込書

証明書発行機で関係する各種「申込書」を購入のうえ、所属学部等事務室に申し込んでください。発行は、原則として申し込みの翌日、証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるため、余裕を持って申し込んでください。

7. 授業の欠席

本学には「公欠」制度はありません。病気や身内の死亡等でやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前(不可能であれば事後)に直接授業担当者に相談してください。

■ 「学校保健安全法施行規則」に定める「学校において予防すべき感染症」のための登校停止の場合

罹患または罹患した疑いがある場合は、学内感染を予防するため登校停止としていますので、診断を受けた際はただちに所属する学部事務室に電話連絡してください。教務上の配慮を行います。

なお、主治医から登校許可が出たら、「学校感染症・登校許可証明書」を記載してもらい、必ず登校時に学部事務室へ提出してください。届出がない場合は、登校停止期間が確定できないため、教務上の配慮はできません。詳細は教務機構ホームページ(https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs)「感染症への対応について」を確認してください。

■ 裁判員制度による候補者として裁判員等選任手続きへの参加や裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合

呼出状を持参のうえ、所属学部事務室に申し出てください。教務上の配慮を行います。

8. 授業の長期欠席

病気等によって1ヵ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行ってください。

9. 学 費

春学期と秋学期の2回に分けて学費を納入するシステムをとっています。

保証人の方に学費納入用紙を郵送しますので、各学期の納入期限までに納入してください。納入期限は曜日により前後することがありますので、詳しくは学費納入用紙を参照してください。

<学費納入期限> 春学期：5月19日

秋学期：11月9日

なお、学費未納が続く場合には除籍となります。詳細については学費納付規程を確認してください。

<分納・延納手続>

学費を分割して納入したい場合は最大3回まで分けることができます。また、期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができます。

いずれも納入期限までに所属学部事務室で詳細確認の上手続きをしてください。

10. 各種相談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用してください。その他、学生生活の各種相談は学生活動支援機構、留学の相談は国際教育・協力センター、就職の相談はキャリアセンターで受け付けています。

また、総合支援センター学生支援相談室ではカウンセラーによる相談も行っています。健康上の問題については保健館を利用してください。

11. 臨時バスの案内

補講日や祝日の授業実施日には、臨時バスを手配することがあります。臨時バスのダイヤについては、教学 Web サービス「学部・研究科」や神戸三田キャンパス HP、掲示にてお知らせしますので、各自で確認をしてください。

12. 自動車通学【許可制】

関西学院大学では、自動車通学を全面禁止しています。しかし、神戸三田キャンパスへの交通アクセス面を考慮し、自動車通学が必要な場合は、本人が申請し許可を受けた場合のみ、自動車通学を認めています。手続き方法は神戸三田キャンパス事務室（アカデミックコモンズ1階）または神戸三田キャンパス HP で確認してください。

13. 暴風警報発令時の下校方法（バス）

授業・定期試験期間中に、暴風警報発令等があった場合、休講・試験中止の措置をとることがあります。この場合、みなさんが速やかに下校できるよう、状況に応じ、神姫バスやシャトルバスの臨時バスを手配します。必要なバス台数の把握とバス乗り場での混乱を避けるため、以下のとおり対応してください。

- 路線別に指定場所に集合してください。直接バス停に行っても乗車できません。
- 集合後、バスの到着にあわせて順次、乗車誘導を行います。
- 集合場所
 - ・新三田線：VI(6)号館1階 101号教室
 - ・三田線：VI(6)号館2階 201号教室
 - ・三宮線：第二厚生棟2階 食堂
 - ・新大阪線：第二厚生棟1階 学生ホール
 - ・シャトルバス：アカデミックコモンズ1階 シアター

履修・学習要覧 Web サイトの紹介

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧 Web サイト」(https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html)を提供している。このサイトの主な掲載事項は次のとおりである。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておくこと。

■大学、学部の理念・目的・教育目標

■Kwansei コンピテンシーおよび各学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■関西学院大学学則 等 諸規程

学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則である。本学の学生は必ず目を通しておくこと。

また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載している。

なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照すること。

■シラバス（授業実施要綱）

今年度開講されている科目の概要や各回の授業内容などを確認することができる。

■教員等紹介

教員等の教育研究内容等を見ることが出来る。なお、教員の顔写真を閲覧するには、教学Webサービスから「教員等紹介」にアクセスすること。

■全学科目、教職等資格関連科目の説明

全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができる。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力がある。

■オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いである。ゼミナールや講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできるが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉強に関すること、そのほか学生生活に関することなど相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができる。専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーである。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいる。各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載している。（教員所属の学部等掲示板にも掲出している。）

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは予約制となるので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせること。

履修・学習に関する Web サイト

履修・学習に関する Web サイトには主に次の4つがあります。

履修・学習要覧 Web サイト https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html

【学部】2020年度 履修・学習要覧 Web サイト

いいね! 1 ツイート LINEで見る

このサイトは、関西学院大学の学部生に対して、履修・学習に関する基本的な事項を掲載しています。
 ■大学院生用 ■は下記リンクをご覧ください。

[【大学院】履修・学習要覧Webサイト](#)
 関連ページへのリンク

大学院生用はここをクリック

もくじ (学部生用)

- ▶ 1. 大学、学部の理念・目的・教育目標
- ▶ 2. 『Kwanseiコンピテンシー』およびD.P (学位授与の方針)・C.P (教育課程編成・実施の方針)
- ▶ 3. 関西学院大学 学期
- ▶ 4. 授業スケジュール・行事予定カレンダー
- ▶ 5. 授業科目の履修にあたって
- ▶ 6. 成績評価・試験規程
- ▶ 7. 大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領
- ▶ 8. 全学科目の紹介
- ▶ 9. 各学部内規
- ▶ 10. シラバス (授業実施要綱)
- ▶ 11. 教員等紹介
- ▶ 12. オフィス・アワーについて
- ▶ 13. 学費について
- ▶ 14. 諸規程

授業スケジュール・行事予定カレンダー

警報発令時の休講等の取り扱い

シラバス

■主な掲載内容

大学学則
 授業スケジュール
 シラバス (授業実施要綱)
 暴風警報発令時の授業等取扱
 全学科目の紹介 / 各学部内規
 講義担当教員 / オフィスアワー
 諸規程 (成績評価・試験、学費、
 学位、留学、奨学金、各種施設使用
 など)

教学 Web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

警報発令、交通機関の運行停止等が発生した場合の対応について (大学 HP へリンク)

■主な機能

履修登録/申込制科目申込
 成績照会/履修中止
 時間割照会
 休講・補講・教室変更 情報確認
 お知らせ閲覧
 個人呼び出し確認
 ダブルチャレンジ申請
 学生情報登録申請 など

■メールでの確認

休講、補講、教室・時間割変更等のお知らせは、関学メール (@kwansei.ac.jp) にも送信されます。各自のパソコンまたはモバイル端末のメールアプリにより関学メールを利用することができますので必要に応じて各自で設定を行ってください。ただし、メールで受信できるのは本文のみです。添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

<教学 Web サービスの接続時間について>

教学 Web サービスの各機能の接続時間は以下の通りです。何も操作をしなれば、最後の操作から以下の時間を過ぎると自動的にログアウトされます。

・「お知らせ」10分・「教務」60分(*)・「キャリア」60分(*)

*学部の抽選科目申込期間から履修修正期間までと、成績発表日は、接続時間が「10分」になります。

■アクセスが非常に集中した場合には、一時的にサービスを停止することがあります。アクセス集中が緩和され次第、サービスを再開します。

■教学 Web サービスの操作を終える際には、ブラウザの「×」ボタンではなく、教学 Web サービスの「閉じる」ボタンを押して画面を閉じるようにしてください。

■本運用は学部生だけでなく、大学院生にも適用されます。



■主な機能

- メール利用
(@kwansei.ac.jpのアドレス)
- パスワード変更
- 印刷・ポイント確認
- パブリックフォルダ閲覧
- ファイルサーバへのアクセスなど

＜メールアプリからのメール利用について＞
 ・各自のパソコンまたはモバイル端末から、メールアプリにより関学メールを利用することができます。
 利用にあたっては、情報環境機構 Web サイトの「ユーザーズガイド」を参照してください。
<https://ict.kwansei.ac.jp/guide/> (→メールアプリの設定)

LUNA では、科目やコミュニティを利用する学習支援システム、全学共通コンテンツ、ポートフォリオシステムを利用することができます。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

■アクセス方法

上記アドレスからログイン、もしくは情報システム Web サービスからアクセスしてください。
 また、ポートフォリオ機能を利用する場合は、スマートフォン専用アプリをダウンロードすると、プッシュ通知等の機能を拡充できます (アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる通信料は利用者負担になります)。

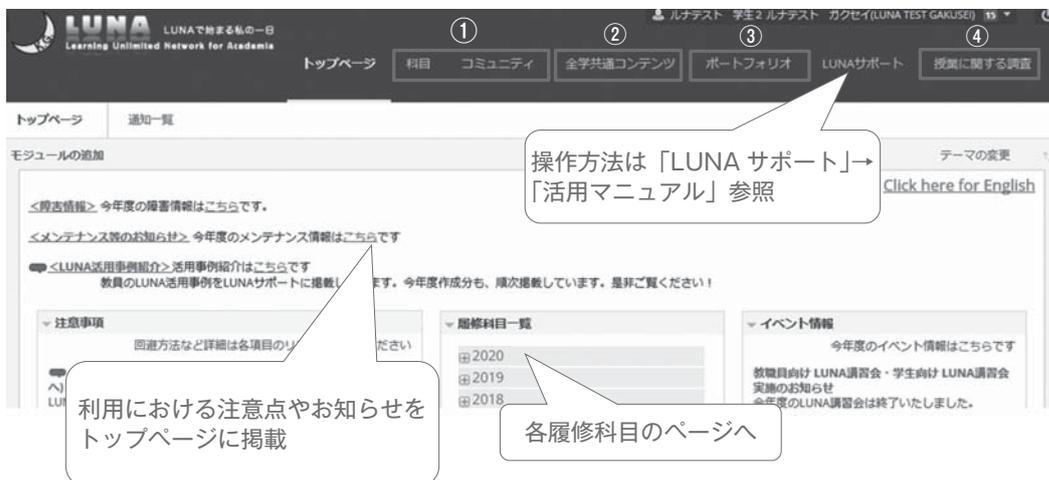
PC からアクセスする場合



ポートフォリオアプリをダウンロードする場合



※[Android] [Google Play] は、Google Inc. の商標または登録商標です
 ※[Apple] は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です
 ※[App Store] は Apple Inc. のサービスマークです
 ※[iOS] は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。



●主な機能

①科目やコミュニティを利用する (PCのみ)

- ・教員からのお知らせを確認する
- ・教材をダウンロードする
- ・課題レポートを提出する
- ・テストに解答する
- ・課題レポートおよびテストの点数や提出状況を確認する
- ・掲示板で教員や履修者とコミュニケーションをとる

②全学共通コンテンツを利用する (PCのみ)

- ・情報倫理 自習教材
- ・留学定例報告書・協定校
- ・FactSheet閲覧サイト
- ・社会学部キーワード集
- ・「いつでも中国語」付属 CD

③ポートフォリオを利用する (PC, モバイル)

- ・アンケートに回答する
- ・自分のことを知る
- ・目標をたてる
- ・学生生活を記録し振り返る
- ・蓄積された情報をダウンロードする

④学修行動と授業に関する調査に回答する (PCのみ)

本調査は学生のみなさんの学修行動・成果の振り返り、授業の改善、教育内容・環境の整備を目的として実施し、学期ごとに、実施期間が設けられます。学生のみなさんの学修行動の振り返りのための記録になるものですので、責任ある真摯な態度で調査に協力してください。

※利用する機能によっては、モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）では正しく動作しません。

■K.G. ポートフォリオについて

本学のポートフォリオでは、パソコンやスマートフォンを利用し、GPA 等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の確認など直感的に把握ができます。さらに、各部署や授業担当者が上記の活動の記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。

日々の活動をより実りあるものにし、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強力にサポートしてくれる頼もしいツールです。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

●トップページ

ポートフォリオにログインすると、PC やスマートフォンなどの機器によって適切な表示に自動的に切り替わります。以下は PC での画面になります。スマートフォンの場合は左右別の画面構成となり、トップページが表示されます。



⚠️ 掲載している機能やデータ連携は2020年4月現在のものです。今後の利用状況を勘案し、機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

学修状況機能のスコアタブにある GPA や履修・修得単位数については、連携が反映されない時期があります。そのため、正式な GPA や単位数は教学 Web サービスから確認してください。

進級や卒業に必要な単位数や科目等については、「履修心得」や「成績通知書」等を参考に各自で確認してください。

●ポートフォリオの記入内容について

ポートフォリオには、GPA のスコアなど、大学がポートフォリオにデータ提供している情報と、キャリアシート、目標など、学生のみなさんが新しく入力する情報の2種類があります。

どちらの情報も個人の情報が他の学生に開示されることはありません。ポートフォリオの情報は大学と共有され、みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

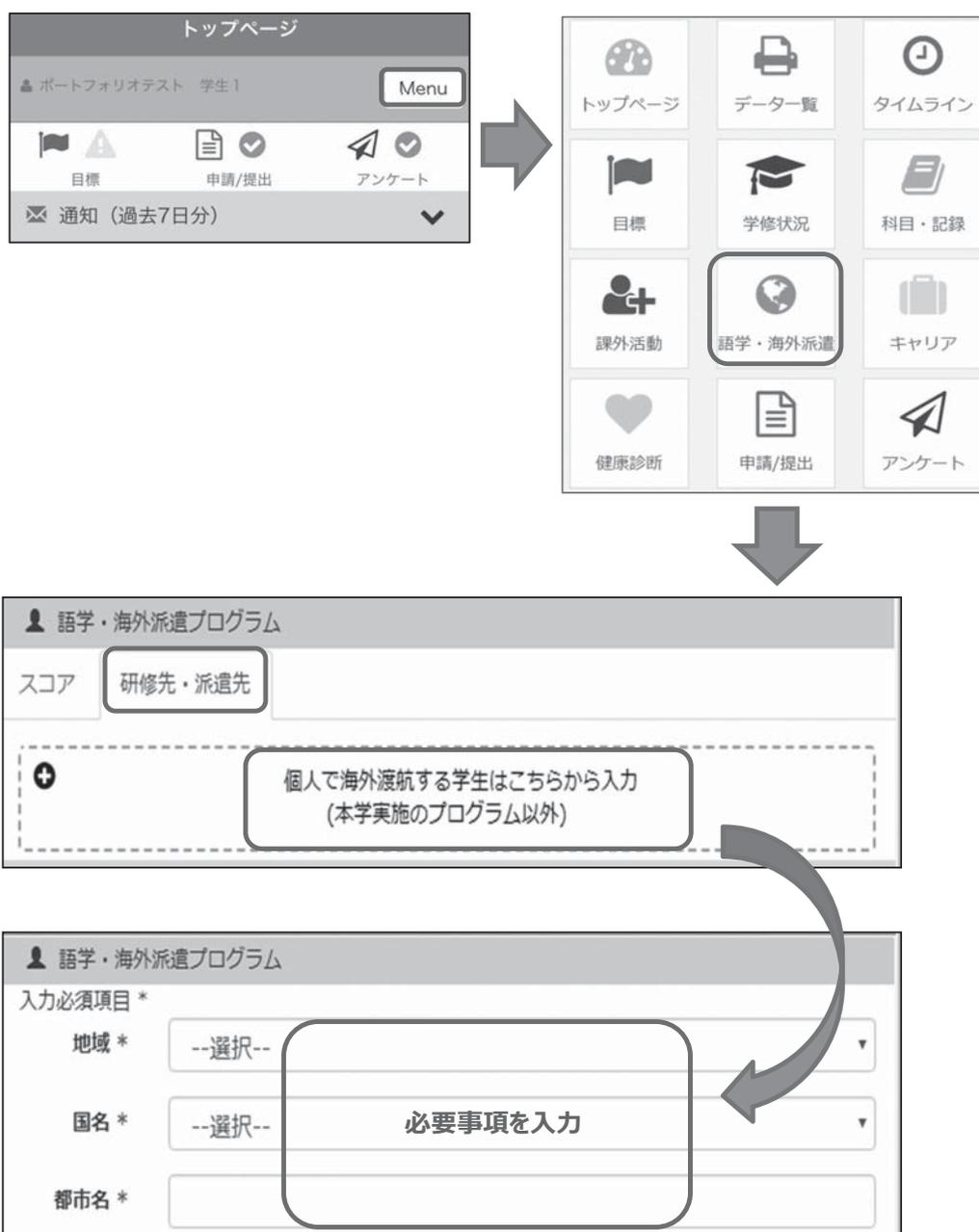
世界各地で発生するテロや自然災害等様々な問題への対応のために、関西学院大学では次の2点について把握することとし、有事発生時の対応に備えています。

- ① 大学主催以外のプログラム等で海外へ渡航する学生のみなさんの渡航状況（大学主催プログラムは国際連携機構、プログラム実施学部等で把握）
- ② 大学主催プログラムの留学等での休暇中の学生のみなさんの旅行状況

上記に該当する場合、ポートフォリオで海外渡航情報の登録をお願いします。（ポートフォリオアプリのダウンロードは本冊子24ページの「履修・学習に関するWebサイトには主に次の4つがあります」から確認ください。）

なお、本件は文部科学省「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」に基づく対応であり、登録された個人情報は本目的の範囲外で利用することはありません。

<ポートフォリオからの入力方法>





平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業
 関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

Global
Academic
Port

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。
 その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。
 これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、
 国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！
全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」



海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワークなど

ホームチャレンジ



(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
 複数分野専攻制特別プログラム<CCS>
 <国連・外交プログラム>

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につけます。

例：ハンズオン・インターンシップ実習、キャリアゼミ、社会探究実習、PBL特別演習など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2020』で確認してください。

新入生(1年生)には入学式で、2年生以上の学生には教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
 Global Academic Port



関西学院大学

■お問い合わせ先■
 教務機構事務部（「ダブルチャレンジ」プログラム総合窓口）
 Phone：0798-54-7479

「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

【2018年度以降入学生対象・新入生（1年生）は秋学期から登録開始】

「ダブルチャレンジ制度」は、変化の激しいグローバル社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むための本学オリジナル制度で、本制度を利用した多様なチャレンジを強く推奨しています。

2018年度入学生より、各学期の履修登録に先立って、今後の大学生活で挑戦する（予定の）取組（プログラム・科目）を申請する必要があります。新入生（1年生）は秋学期から登録開始となります。（ダブルチャレンジ申請が完了しないと履修登録ができません！）

【申請にあたっての注意事項】

- 当該学期に申請可能なプログラム・科目は1件のみです。最も挑戦したいプログラム・科目を1つ選択して申請してください。
- この申請を行ったことで当該プログラム・科目の履修登録が終了する訳ではありません。この申請と履修登録は全く別のもので、実際の科目の履修登録は、定められた期間に適宜申込・登録手続きを行ってください。
- 一旦登録後、申請内容に変更がある場合は随時変更が可能です。また変更の有無にかかわらず毎学期申請内容を確認する必要があります。
- 申請可能な科目は本冊子31ページ、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。インターナショナルプログラムのうち、国際教育・協力センター（CIEC）が提供するプログラムは「国際教育・協力プログラム募集要項 2020」を参照してください。

■申請画面入口（教学 Web サービス画面）

「履修登録」をクリックすると、申請画面に遷移します。

①最初の申請はここから履修登録を行うには住所情報の確認とダブルチャレンジへの登録手続きが必要です

②一旦申請した後申請変更をする場合はここから

■初回のダブルチャレンジ申請画面

初めて申請する場合「履修登録・確認学生情報登録申請（学生情報登録申請）」の画面より申請してください。

①プログラムの選択（プルダウンメニューより選択）

②科目の選択（プルダウンメニューより選択）

※自身が申請可能な科目は本冊子31ページ、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。

③申請内容に誤りがないことを確認し、右下の「申請」ボタンを押下する。

登録完了画面で登録が完了したことを確認する。

■2回目以降の申請・確認方法（每学期確認が必要です）

①以下の画面で登録内容を確認する。

②登録内容に変更がない場合は「確認」ボタンを押下、

登録内容を変更する場合は、修正の上、「申請」ボタンを押下する。

Ⅲ. カリキュラムの概要

1. カリキュラム

<カリキュラムとは？>

大学では、学部ごとに独自のカリキュラムを持っています。カリキュラムとは、学部の教育内容を順序に従って系統的に配列した教育課程のことです。大学では、どのような科目を履修するか、どのような時間割を組むかは、学生個人の自主的な判断に任されています。一部の科目については、学部の指示に従って履修しなければなりません、それ以外の科目は、自分の関心や目的に応じて自由に履修することができます。

カリキュラム（巻頭の教育課程表を参照）には、多くの科目が並んでいます。どの学部のカリキュラムにも学部の教育方針が反映されています。履修科目を選択し、時間割を作成する前に、カリキュラム編成の基本的な方針をよく理解しておきましょう。また、自由に科目を履修できるといっても、卒業に必要な単位数を揃えるには、カリキュラム編成のルールをよく把握しておかなければなりません。

ルールを無視して適当に履修すると後で取り返しのつかないことになりますから、この学習の手引きをよく読んで、履修科目を決定しましょう。

<カリキュラムの内容>

■キリスト教科目

キリスト教の精神を学び、理解し、関西学院の建学の精神を正しく継承し、さまざまなものの見方を身につけ、人格形成をはかることを目的とします。このため、「キリスト教学 A」「キリスト教学 B」が全学生の必修科目です。

■専門教育科目

総合政策学部における専門教育科目はその役割や形態によって専門基礎科目、専攻科目、演習科目、および建築士プログラム科目に分かれています。

(1) 専門基礎科目

総合政策学部生にとって、共通して必要とみなされる基礎的な科目が配置されており、「言語教育科目」、「方法科目」、「入門科目」に区分されています。学生はそれぞれのカテゴリーごとに必修科目を履修し、かつ選択となっている科目群ごとに定められた単位数を履修しなければなりません。

・言語教育科目

総合政策学部で開講される科目として、英語コミュニケーション、フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語、留学生用に日本語があります。必修科目の英語コミュニケーションについては、国際的コミュニケーションの手段としての、実践的な運用能力を効率的に育成するために、到達度別クラス編成のもとで行われます。3、4年次の学生のために、ビジネスの場面でのコミュニケーション、作文、プレゼンテーションをより高いレベルで身に付けることのできる英語科目が開講されます。フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語は選択科目として用意されています。選択科目のいずれの言語も、日本語を母語とする教員とそれぞれの言語を母語とする教員の連携のもとで、その教育が行われています。上記以外の言語教育科目については、全学科目として西宮上ヶ原キャンパスで開講されており受講が可能です。

・方法科目

総合政策学部での学びに必須となる「言語・文化・表現」、「数理・統計・調査」、「情報」の3つの分野にそれぞれの基本知識や概念、情報処理能力を体系的にバランスよく学習することのできる科目が配置されています。

・入門科目

総合政策学部では、学科ごとの学問領域はそれぞれ独立して存在するのではなく、互いに対応し、密接な関係を持っています。このようなすべての学科に共通する知識や基礎を学ぶ科目が「共通必修科目」と「共通選択科目」です。一方、「学科導入科目」として、各学科の特色や具体的な研究内容を幅広く学ぶことができる科目が配置されています。

(2) 専攻科目

専攻科目には、幅広い学際性と総合性を特色とし、より基本的な内容の「専攻科目基礎」と社会科学的な素養全般をより深めるための「学科共通科目」、さらに、学科の特色を反映した「学科科目」から構成されます。

・専攻科目基礎

総合政策学部では学生は2年次以降各学科に所属します。専攻科目基礎では、総合政策学科がカバーする3つの大きな学問分野「環境・自然科学系」、「公共政策・社会科学系」、「言語・文化系」、メディア情報学科の「メディア情報系」、都市政策学科の「都市政策系」、国際政策学科の「国際政策系」として、2年次以降学科での系統的な学びの基礎となる科目がおかれています。また、すべての学科に共通する科目が「共通科目」に配置されています。

・学科共通科目

2年次以降の学生が、特定分野にかかわらず社会科学分野の幅広い基本概念・知識を、広く教養（リベラル・アーツ）として身に付けることをめざして設置された科目です。

2年次以降、所属する学科ごとに次の専攻科目が置かれます。

・総合政策学科科目

総合政策学科では学科の中でさらに「環境政策フィールド科目」、「公共政策フィールド科目」、「言語文化政策フィールド科目」に分けて科目が配置されています。

・メディア情報学科科目

・都市政策学科科目

・国際政策学科科目

(3) 演習科目

演習科目は少人数クラスによって行われます。「基礎演習」は大学における研究に必要な論文作成のスキル、プレゼンテーションの方法などを中心に学び、学部として必要とされる研究の基本リテラシーを学びます。3、4年次の必修である、「研究演習」「メディア工房」は専攻科目の中でもさらに細分化した専門領域を扱うものです。担当教員の指導に基づき、学習の深化、さらには創造的研究を達成するためのものです。この研究演習とメディア工房における研究を通して、研究テーマを決定し「卒業論文」を作成します。

(4) 建築士プログラム科目

建築士プログラム登録者のみが履修できる科目です。

修得単位は専攻科目の都市政策学科科目として算入することができます。

2. 卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数は計128単位です。ただし、単に計128単位を取得するのではなく、巻頭の教育課程表に記載のとおり、各科目区分ごとに必要な単位数が定められています。履修登録の際や、進級や卒業に必要な単位数の計算の際は、各自の責任において卒業に必要な単位数を慎重に確認してください。

3. カリキュラム上の注意事項・補足事項

- (1) 英語の履修クラスは能力別に編成するため、新入生については入学直後に、2年生については1年次終了時に本学部で実施する TOEFL ITP のスコアによって決定します。また、入学直後に実施する TOEFL ITP のスコアで530点以上を取得した者には「英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ」の計8単位を認定し、認定された者は1年生の春学期に「英語コミュニケーションⅤ」から履修することになります。なお、英語コミュニケーションは「英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」または「英語コミュニケーションⅢ～Ⅵ」のいずれか4科目計16単位が必修となります。
- (2) コンピュータ演習は「コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の3科目の内、2科目計2単位を必修とします。
- (3) 日本語は「日本語Ⅰ～Ⅴ」の5科目計10単位が必修となります。
- (4) 所属学科（総合政策学科は所属フィールド）ごとに必修科目と選択必修科目が定められています（各科目名は巻頭の教育課程表を参照すること）。卒業には各自の所属に応じた必修科目1科目2単位、選択必修科目1科目2単位の修得が必要となります。

4. 他学部科目・全学科目の取り扱い

総合政策学部以外の学部が開講する科目を他学部科目、学内の各センターが開講する科目を全学科目（P.61参照）といい、巻頭の教育課程表には記載されていません。他学部科目・全学科目の内、卒業必要単位として算入できる科目の単位を修得した場合自由選択科目として算入されますが、一部算入できない科目がありますので、P.43を確認してください。

5. 卒業予定者の注意点

(1) 専攻フィールドの選択

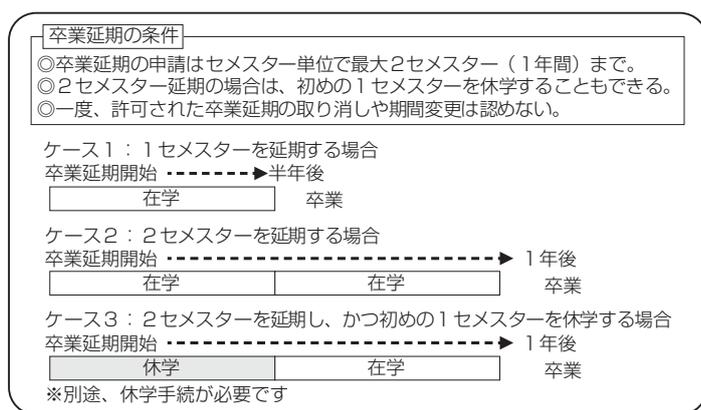
総合政策学科に所属した学生は、第3学年次以降の履修登録時にフィールドを登録する必要があります。総合政策学科の研究演習と、選択するフィールドには関連はありません。

(2) 卒業必要単位の計算について

卒業予定者は「成績表」「教育課程表」などを元に、各自の責任において卒業に必要な単位数を慎重に確認してください。また、残りの単位が確実に修得できる様に、余裕を持って履修登録を行ってください。

(3) 卒業延期について

4年以上在学して卒業に必要な単位を修得した場合（＝卒業要件を満たした場合）、卒業延期の申請をすることができます。卒業延期願を総合政策学部事務室に提出して許可されれば、1回に限り卒業時期が延期されます（1セメスター、または2セメスター）。ただし、卒業延期期間中も含めて8年を越えて在学することはできません（休学期間は除く）。



【提出締切】

9月卒業の延期申請：2020年8月31日(月)
16:00
3月卒業の延期申請：2021年3月1日(月)
16:50

【提出場所】

総合政策学部事務室

【提出物】

卒業延期願（フォームは教学Webサービスに掲載していますので、各自でプリントアウトして使用してください）

ただし、卒業延期願を提出しても、卒業判定の結果、卒業要件を満たさなかった場合は、申請は無効となります。次回以降の卒業スケジュールで卒業を延期する必要がある場合は、改めて申請してください。

6. 休学・復学・退学・除籍について

<休学・復学>

休学希望者はまず総合政策学部事務室に相談をしてください。その上で、所定の「休学願」を春学期または秋学期の各授業開始後1カ月以内に総合政策学部事務室に提出し、面談を実施の上、学部の許可を得なければなりません。

また、休学期間を満了し復学する場合は、原則として休学期間満了前に所定の「復学願」を総合政策学部事務室に提出し、学部の許可を得なければなりません。

※「休学願」・「復学願」は総合政策学部事務室にて配付

- (1) 休学開始の時期は、春学期の開始日（4月1日）または秋学期の開始日（9月20日）とする。
- (2) 休学の期間は、1学期間（1セメスター）または1年間（2セメスター）とする。
- (3) 許可された休学期間の経過後も継続して休学しようとする者は、原則としてその休学期間満了前にあらためて「休学願」を提出しなければならない。
- (4) 休学し得る期間は、通算2カ年（4セメスター）以内とする。ただし、母国の兵役による休学に限り、これに加えて最大2カ年の休学を認める。なお、兵役が2カ年以上の場合も休学し得る期間は通算4カ年以内とする。
- (5) 兵役による休学の場合、休学在籍料を免除する。
- (6) 休学期間は、在学年数に算入しない。

<退学>

退学希望者はまず総合政策学部事務室に相談をしてください。その上で、所定の「退学願」を総合政策学部事務室に提出し、面談を実施の上、学部の許可を得なければなりません。

※「退学願」は総合政策学部事務室にて配付

- (1) 退学の日付は、学費既納者については学部長が承認した退学日とし、学費未納者については学費納入済みの学年または学期の末日とする。

<除籍>

次に該当する者は除籍となります。

- (1) 休学期間が通算2カ年（4セメスター）を経過してなお復学または退学しない者（ただし、母国の兵役による休学は、2年を上限としてこの期間に算入しない）。
- (2) 在学年限である8年（編入学生は4年）をこえてなお退学しない者。
- (3) <2015年度以前入学生>
学費の納入期限から6カ月を経過してなお完納しない者。
※春学期納入期限 5月19日 / 秋学期納入期限 11月9日
<2016年度以降入学生>
学費を当該年度の春学期の終了日（9月19日）、または秋学期の終了日（3月31日）までに完納しない者。
なお、卒業する学期においては次の期日までに完納しなければならない。
※春学期納入期限 8月31日 / 秋学期納入期限 2月28日（うるう年は2月29日）

7. 必修科目・選択必修科目一覧

各自で修得した科目にチェックを入れ、必修・選択必修科目の単位修得状況の把握に役立ててください。ただし、この一覧の科目を修得するだけでは、卒業できません。巻頭の教育課程表、P.32・33の記載事項等を参照し、各自の責任において卒業に必要な単位数を慎重に確認してください。

科目区分		科目名(単位数)	履修基準年度	必要単位	修得方法	
キリスト教科目		<input type="checkbox"/> キリスト教学A(2) <input type="checkbox"/> キリスト教学B(2)	1年	2科目計4単位	必修	
専門基礎科目	言語教育科目	一般生 パターン④： <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーションⅠ(4) <input type="checkbox"/> Ⅱ(4) <input type="checkbox"/> Ⅲ(4) <input type="checkbox"/> Ⅳ(4) パターン⑤： <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーションⅢ(4) <input type="checkbox"/> Ⅳ(4) <input type="checkbox"/> Ⅴ(4) <input type="checkbox"/> Ⅵ(4)	1年・2年	4科目計16単位*1	必修	
		留学生 <input type="checkbox"/> 日本語Ⅰ(2) <input type="checkbox"/> Ⅱ(2) <input type="checkbox"/> Ⅲ(2) <input type="checkbox"/> Ⅳ(2) <input type="checkbox"/> Ⅴ(2)	1年 2年 3年	5科目計10単位	必修	
	言語・文化・表現	一般生 <input type="checkbox"/> 英語文化論(2)	1年	1科目計2単位	必修	
		留学生 <input type="checkbox"/> 日本学総論(2)	2年	1科目計2単位	必修	
	数理・統計・調査		—	—	—	
	情報	<input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅱ(1)	1年	1科目計1単位	必修	
		<input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅰ(1) <input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅲ(1)	1年	左記のうち、 1科目計1単位	選択必修	
	入門科目	共通必修	<input type="checkbox"/> 総合政策A(2) <input type="checkbox"/> 総合政策B(2) <input type="checkbox"/> ヒューマン・エコロジー(2)	1年	3科目計6単位	必修
		共通選択	—	—	—	
		学科導入	—	—	—	
	専門教育科目	専攻科目基礎	—	—	—	—
		学科共通科目	—	—	—	—
		環境政策フィールド科目	<input type="checkbox"/> 環境政策論(2)	2年	1科目計2単位*2	必修
			<input type="checkbox"/> 環境社会学(2) <input type="checkbox"/> 環境経済学(2)	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修
公共政策フィールド科目		<input type="checkbox"/> 公共哲学(2)	2年	1科目計2単位*2	必修	
		<input type="checkbox"/> 公共経済学(2) <input type="checkbox"/> 公共選択論(2)	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修	
言語文化政策フィールド科目		<input type="checkbox"/> 言語政策論(2)	2年	1科目計2単位*2	必修	
		<input type="checkbox"/> 異文化間コミュニケーション論(2) <input type="checkbox"/> 文化政策論(2)	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修	
メディア情報学科科目		<input type="checkbox"/> 経営情報論(2)	2年	1科目計2単位*2	必修	
		<input type="checkbox"/> メディア・リテラシー(2) <input type="checkbox"/> データベース(2) <input type="checkbox"/> メディア文化政策(2) <input type="checkbox"/> ウェブと社会(2)	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修	
都市政策学科科目		<input type="checkbox"/> 都市政策論(2)	2年	1科目計2単位*2	必修	
		<input type="checkbox"/> 都市環境論(2) <input type="checkbox"/> 行政学(2) <input type="checkbox"/> 都市・農村計画(2)	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修	
国際政策学科科目		<input type="checkbox"/> 国際発展政策(2)	2年	1科目計2単位*2	必修	
		<input type="checkbox"/> 国際関係論(2) <input type="checkbox"/> 国際貿易と通貨(2) <input type="checkbox"/> 国際貿易論	2年	左記のうち、 1科目計2単位	選択必修	
演習科目	パターン①： <input type="checkbox"/> 基礎演習(4) <input type="checkbox"/> 研究演習Ⅰ(4) <input type="checkbox"/> 研究演習Ⅱ(4) <input type="checkbox"/> 卒業論文(4) パターン②： <input type="checkbox"/> 基礎演習(4) <input type="checkbox"/> メディア工房Ⅰ(4) <input type="checkbox"/> メディア工房Ⅱ(4) <input type="checkbox"/> 卒業論文(4)	基礎：1年 研Ⅰ：3年 メⅠ：3年 研Ⅱ：4年 メⅡ：4年	4科目計16単位*3	必修		

*1 英語コミュニケーション(EC)は、ECⅠから履修を始めた学生はパターン④、ECⅢから履修を始めた学生はパターン⑤を必修とする。

*2 環境政策論、公共哲学、言語政策論、経営情報論、都市政策論、国際発展政策は、各自の所属学科(総合政策学科は主専攻フィールド)に対応する科目のみを必修とする。

*3 総合政策学科、都市政策学科、国際政策学科の学生はパターン①、メディア情報学科の学生はパターン②を必修とする。

IV. 授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」および「学部内規」に基づいて体系的につくられている。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければならない。履修にあたっての詳細な説明および手続については、本冊子を熟読すること。

1. 単位

大学では単位制がとられている。各授業科目は学則で単位数が定められており、一つの授業科目を所定の期間履修し、最終評価において合格することにより単位が与えられる。

文部科学省令である「大学設置基準」の第21条および本学の学則第18条では、「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」と定めている。また学則第18条において、講義科目及び演習科目については15時間の授業をもって1単位とし、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間の授業をもって1単位とすると定めている。つまり、講義科目及び演習科目については30時間、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については15時間の授業外学習が必要である。

なお、卒業に必要な単位数は学部により異なるので本冊子を参照すること。

2. 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められている。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年年度を表すものである。

履修基準年度1年・・・第1・2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度2年・・・第2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度3年・・・第3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度4年・・・第4学年度生が履修できる。

3. 授業時間

毎週1回あたりの授業時間は90分であるが、制度上これを“2時間”としている。

4. 授業時間帯等

(1) 本学における授業・試験等の時間帯は次のとおりである。

(i) 通常授業、定期試験・中間試験、補講・集中講義^(※)時間帯

第1時限	9:00～10:30
チャペルアワー	10:35～11:05
第2時限	11:10～12:40
昼食時休憩	12:40～13:30
第3時限	13:30～15:00
第4時限	15:10～16:40
第5時限	16:50～18:20

※ただし夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯は表(iii)による。

(ii) 追試験時間帯

第1時限	9:00～10:00
第2時限	10:20～11:20
第3時限	12:10～13:10
第4時限	13:30～14:30
第5時限	14:50～15:50

(iii) 夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯

第1時限	9:10～10:40
第2時限	10:50～12:20
第3時限	13:10～14:40
第4時限	14:50～16:20
第5時限	16:30～18:00

※集中講義の時間帯は科目により異なることがある。異なる場合はシラバスや履修の手引き等に明記されるので確認すること。

(2) キャンパス間の移動を伴う履修

キャンパス	取り扱い
西宮上ケ原・西宮聖和 ⇔ 神戸三田	連続した授業の履修は不可
西宮上ケ原 ⇔ 西宮聖和	連続した授業の履修は不可 ただし、チャペルアワーを挟んだ1時限目と2時限目および昼休みを挟んだ2時限目と3時限目の連続履修については可能とする。

(3) 暴風警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など不測の場合の措置については、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）を参照すること。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の、学部における授業・試験実施について定めるものである。

- 1 別表のいずれかの地域・市町村に暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない。なお、取り扱いの詳細は第2項以下に定める。また、中止となった定期試験・中間試験については原則として試験予備日に振り替えて実施する。
- 2 暴風警報、特別警報が発令された場合の授業・試験実施については次のとおりとする。

授業・試験実施キャンパス <西宮上ケ原・西宮聖和>

6:00までに別表の地域全ての暴風警報、特別警報が解除されたとき	平常通り授業・試験を行う。
8:00までに解除されたとき	第2時限から授業・試験を行う。
10:30までに解除されたとき	第3時限から授業・試験を行う。
12:00までに解除されたとき	第4時限から授業・試験を行う。
12:00を過ぎても解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

授業・試験実施キャンパス <神戸三田>

6:00の時点で解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。
------------------	-----------------

- 3 翌日の6:00以降の暴風警報、特別警報の発令が見込まれる場合は、学長の判断により、第2項に準じて休講・試験中止とする時限を決定することがある。
- 4 特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。
- 5 交通機関の運行遅延・停止が発生した場合あるいは運行停止が予告された場合は、対象路線・運行開始予定時刻等を考慮のうえ、措置するキャンパスを含めた対応を学長の判断により決定する。
- 6 本取扱要領に定めのない事態については、学長の判断による。
- 7 この取扱要領の改廃は、大学評議会において決定する。

(略)

別表

	地域	市町村
兵庫県	阪神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北播丹波	西脇市、篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大阪市	大阪市
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

5. 成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験および追試験）や平常評価（レポート、勉学態度等）など授業担当者の教育方針および評価方針に基づいて、成績評価が行われる（シラバス参照）。成績評価・試験については、成績評価・試験規程（抜粋）〈後掲〉を参照すること。

なお、定期試験はすべて、授業を開講しているキャンパスにて受験すること。

6. GPA 制度

(1) 制度と設定基準

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施している。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定の Grade Point（以下、GP という）を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する成績評価方法である。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要である。GPA は、各自の成績表・成績証明書に掲載する。本学での GP の設定基準と、GPA 算出式は以下のとおりである。

なお、2019年度より制度内容を変更したため、2018年度以前入学生と2019年度以降入学生で異なる運用となるので注意すること。

【GP の設定基準】

・ 2018年度以前入学生	・ 2019年度以降入学生
100～90点又は S 評価の場合の GP は 4	100～90点又は S 評価の場合の GP は 4.0
89～80点又は A 評価の場合の GP は 3	89～85点又は A + 評価の場合の GP は 3.5
79～70点又は B 評価の場合の GP は 2	84～80点又は A 評価の場合の GP は 3.0
69～60点又は C 評価の場合の GP は 1	79～75点又は B + 評価の場合の GP は 2.5
59～ 0点又は F 評価の場合の GP は 0	74～70点又は B 評価の場合の GP は 2.0
	69～65点又は C + 評価の場合の GP は 1.5
	64～60点又は C 評価の場合の GP は 1.0
	59～ 0点又は F 評価の場合の GP は 0

【GPA 算出式】

$$GPA = \frac{[\text{科目の単位数} \times (\text{その科目の評価の GP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

なお、GPA の算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどにかかわらず本学で開設している全ての科目が含まれる。ただし、認定する科目については、GP を与えず、GPA の算定対象科目としない場合もある。

(2) 履修の中止

本制度の主旨に則り、授業開始約 2 カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学 Web サービスで申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けている。

(3) 成績優秀者の顕彰

成績優秀者は、学期毎に掲示により顕彰している（顕彰する基準等については各学部にて異なる）。また、学期ごとの顕彰とあわせて、GPA 上位 5 % の者に対し、第 2・3・4 学年度末に顕彰している。第 2・3 学年度末には 1 年間、第 4 学年度末には 4 年間の GPA について顕彰している。特に、4 年間の GPA 上位 5 % の卒業生には、卒業式に学長名の GPA 表彰状を授与する。その他、学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認すること。

7. 授業科目の内容

各科目の授業目的、到達目標、授業計画、授業時間外学習、成績評価（種別・割合・評価基準等）などは、シラバスで公開されている。授業科目の履修にあたり十分に活用すること。シラバスは、教学 Web サービス (<https://webinfo.kwansei.ac.jp/>) で閲覧できる。

なお、シラバスの内容は授業の進行にあわせて変更することがあるので、必ず授業中の担当者の指示あるいは学部等の掲示板で確認すること。

8. 授業に関する調査

「学修行動と授業に関する調査」は、次の3点を目的として実施している。①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業の改善、③教育内容・環境の整備。学生は責任ある態度で回答することが求められる。調査の方法は授業により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合とLUNA（Web）を利用して行う場合がある。調査期間中に授業担当者から詳細な指示がある。

9. 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みである。対象とするレベルが示されているので、適切な授業科目を選択する助けとなる。また、国内外の他大学で行われているナンバリングとの照合によって、単位互換の促進、提携校とのカリキュラムの対照作業にも役立てることができる。

本学のナンバリング体系は以下のとおり。詳細については各学部・センターのカリキュラム説明を参照のこと。

ナンバー	位置づけ	位置づけ詳細
100	学士課程において基礎的な内容を取り扱う科目	・初年次の入門的、基礎的な知識を修得する専門教育科目 ・初年次の必修科目、基礎的な総合教育科目・全学科目
200	学士課程において基盤となる科目	・各専門分野の基本的な内容を扱う専門教育科目 ・学際的、発展的内容を扱う総合教育科目・全学科目
300	学士課程において応用的要素の強い科目	・各専門分野の実践的・応用的要素が強い内容を扱う専門教育科目 ・特定のテーマ、分野に関する実践的・応用的要素が強い内容を扱う総合教育科目・全学科目
400	学士課程において最も専門性の高い科目	・各専門分野で学部学生が学修する最終段階の水準科目（卒業研究、卒業論文など） ・大学院開設科目と連携して開講している科目

10. 複数分野専攻制（Multidisciplinary Studies（略称：MS））

この制度は、他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられている。単なる他学部履修とは異なり一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、自学部の学習に軸足を置きながらも、他学部のカリキュラムをまとまった形で学ぶことができる。プログラムの内容、募集要領等詳細については、入学時に配付している『複数分野専攻制への扉』を参照すること。

11. 教職課程等

取得を希望する免許等により次のとおりとなっている。

■中学校、高等学校の教育職員1種免許状

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。

■幼稚園、小学校、特別支援学校の教育職員1種免許状及び保育士の各資格

教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られる。

■学校図書館司書教諭・博物館学芸員・国際バカロレア教員資格（IBEC）の各資格

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。なお、国際バカロレア教員資格（IBEC）は2019年度以降入学生のみ取得可能。

V. 履修登録

1. 履修登録

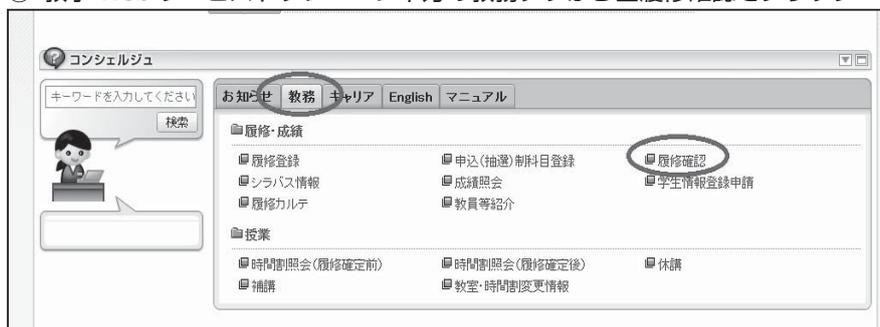
履修登録とは、カリキュラムに沿って受講する科目を決定し、「定められた期間内」に「定められた方法」で手続きを行うことです。「履修・学習要覧 Web サイト (P.23)」及び「総合政策学部履修心得 (本冊子)」をよく確認の上、自己責任において時間割を作成し、履修登録を行ってください。

【注意事項】

- 履修申請および申請科目の確認・修正は、必ず本人が責任を持って行ってください。
- 履修申請は春学期と秋学期の年2回です。春学期と秋学期の所定期日内にそれぞれ申請を行ってください。なお、通年科目「研究演習Ⅱ・メディア工房Ⅱ」等だけを履修する場合でも、必ず履修申請を行ってください。
- Web での申込申請や履修申請、履修中止申請を正しく行くと、申請が正しく行われた内容の画面が表示され、同時に申請内容が個人のアドレス (大学から付与された“@kwansei.ac.jp”で終わるもの) 宛にメールが送信されますので、画面および送信されたメールの内容を必ず確認してください。また、「履修登録確認表」を必ず印刷し、送信されたメールと共に、当該学期の成績が発表されるまで保管しておいてください。
- 期間終了後の申請・修正等は、一切認められません。
- 春学期 (9月) 卒業希望者が春学期集中科目を履修する場合、開講期間により成績発表に間に合わないことがあります。卒業に必要な単位として履修する場合は、春学期集中科目の履修は避けてください。
秋学期 (3月) 卒業希望者が秋学期集中科目を履修する場合、開講期間により成績発表に間に合わないことがあります。卒業に必要な単位として履修する場合は、秋学期集中科目の履修は避けてください。

「履修登録確認表」印刷方法

- ① 教学 Web サービストップページ下方の教務タブから■履修確認をクリック



- ② 自分の時間割の一番下の青い履修登録確認表出力ボタンをおす。
*画面右下の画面印刷ではありません！

- ③ 「履修登録確認表」をプリントアウト

科目・成績	授業科目	科目名	代表教員名	単位	履修状況	履修の種別	履修の授業科目
日 4	20463005	研究演習Ⅱ Ⅱ	藤原 和光	4.0	途中	履修中	
火 2	20175000	経済学概論	大村 肇子	2.0	春学期	履修中	
水 3	20172200	英 C S W r 11. 9	ビーターズン S.	1.0	春学期	履修中	
木 2	2017417	英 C S S e m 1 Ⅱ Ⅱ	藤原 和子	1.0	春学期	履修中	
水 3	20480000	環境経済学	アベニダ R.	2.0	春学期	履修中	
木 4	20510000	関行社会概論A	藤原 和子	2.0	春学期	履修中	
水 1	2017106	英 C S P r a s e	アベニダ R.	1.0	春学期	履修中	
水 3	20520000	経営概論	藤原 和子	2.0	春学期	履修中	
水 3	20700000	総合政策概論研究C	小池 昌夫	2.0	春学期	履修中	
木 4	20280000	シラバス概論	藤原 和子	2.0	春学期	履修中	
金 1	20500000	行楽学	藤原 和子	2.0	春学期	履修中	
金 2	2017506	英 C S S p a c e	アベニダ M.	1.0	春学期	履修中	
金 3	20420000	ウェブと社会	アベニダ Y. A.	2.0	春学期	履修中	
集中特	20463005	卒業論文 Ⅱ	藤原 和光	4.0	途中	履修中	
科目名	必要	選択	履修				
単位	120.0	4.0					
単位取得科目	36.0						
単位取得科目【必修】	16.0						
単位取得科目【選択】							
英・文・英【必修】	2.0						
英・文・英【選択】	2.0						
英語【必修】	2.0						
英語【選択】	4.0						
履修必須							

2. 履修単位数制限

(1) 原則

各セメスターに履修できる単位数の上限は原則24単位と定めています。

- ・ 通年科目^{※1}は、春・秋学期それぞれにおいて該当科目の1/2の単位を履修しているものとして計算します。
(例えば1年生の場合、春・秋学期ともに「基礎演習」以外の科目を22単位履修可能)
- ・ 春学期集中科目は春学期に、秋学期集中科目は秋学期の履修単位数として、それぞれ計算します。
- ・ 単位認定申請科目は、履修単位数制限の対象外です。

※1 通年科目とは春・秋学期に渡って開講される科目です。春学期または秋学期のいずれか一方を休学等で受講できなくなった場合は、通年科目の単位修得はできませんのでご注意ください。

(2) 履修単位数制限緩和(総合政策学部内規「I. 3. 履修単位数制限について」参照)

以下に該当する者については履修単位数制限を緩和します(申請は特に必要ありません)。

- ①前学期のGPAが2.80以上の学業成績を修めた者は、当該学期に4単位多く履修することができる。
- ②建築士プログラム登録者(都市政策学科を除く)、複数分野専攻制(MS)履修者は、各学期6単位多く履修することができる。
- ③交換留学、長期留学、認定留学、国連ボランティアの参加者は、帰学後、当該学期に限り4単位多く履修することができる。
- ④上記①②③のうち、二つ以上に該当する場合でも、履修できる単位数は、34単位以内とする。

(3) 履修単位数制限対象外科目(履修登録できる24単位に含まれない)

次の科目については、履修単位数制限の対象外とします。

科目区分		科目		
教職等資格科目		学則第36条の教職等資格科目		
		生涯学習概論	博物館概論	博物館経営論
		博物館資料論	博物館資料保存論	博物館展示論
		博物館教育論	博物館情報メディア論	博物館実習
全 学 科 目	言語教育科目	英語中期留学〇〇大学	フランス語中期留学	スペイン語中期留学
	グローバルスタディーズ科目	国連セミナー	国際社会貢献実習	国際社会貢献課題研究
		国連ユースボランティア実習	国連ユースボランティア課題研究	カナダ研究マウント・アリソン大学
		カナダ研究トロント大学	国際研究マウント・アリソン大学	海外フィールドワーク
		海外異文化体験セミナー	インドネシア交流セミナーA・B	トルコ交流セミナーA・B
		マレー文化研究	インターンシップ準備演習(オーストラリア)	海外社会体験実習(オーストラリア)
		海外社会体験実習(マレーシア)	海外社会体験実習(タイ)	国際教養としての時事問題
		海外学習活動(ドイツ)	国連・外交フィールドワーク	CCC Joint Seminar in Japan
		CCC Joint Seminar in Canada	CCC Global Internship in Japan	CCC Global Internship in Canada
		CCC Global Career Seminar in Japan	CCC Global Career Seminar in Canada	CCC Cross-Cultural Workshop
		CCC Field Study in Canadian Business	外国大学科目	国内協定大学科目
	ライフデザイン科目	キャリアゼミA※	キャリアゼミB	キャリアゼミC
		海外インターンシップ	ハンズオン・インターンシップ実習	霞が関セミナー
		インターンシップ実習	ライフ・キャリアリーダーシップ実習	
	基盤・学際科目	PBL 特別演習002	PBL 特別演習003	PBL 特別演習006
		PBL 特別演習008	社会探究実習I	社会探究実習II
		平和学特別演習「ヒロシマ」		

※「キャリアゼミA」について、2018年度以降入学生は履修登録単位(24単位)に含まれるため注意すること。

(4) 卒業必要単位数外の科目

次の科目については、単位を修得しても卒業必要単位数にはカウントできません。

【2013-2017年度入学生】

科目区分	科目			
教職等資格科目	学則第36条の教職等資格科目			
	生涯学習概論	博物館概論	博物館経営論	博物館資料論
	博物館資料保存論	博物館展示論	博物館教育論	博物館情報メディア論
	博物館実習			
全学科目【ライフデザイン科目】	キャリアゼミA	キャリアゼミB	キャリアゼミC	霞が関セミナー
	海外インターンシップ	キャリアゼミ アドバンス	認定インターンシップA	認定インターンシップB

【2018年度以降入学生】

科目区分	科目			
教職等資格科目	学則第36条の教職等資格科目			
	生涯学習概論	博物館概論	博物館経営論	博物館資料論
	博物館資料保存論	博物館展示論	博物館教育論	博物館情報メディア論
	博物館実習			

3. クラス指定

クラス指定科目とは履修申請画面にあらかじめ登録されている科目です（予備登録）。必ず指定されたクラスを履修してください。

(1) クラス指定科目一覧

キリスト教学A・B^{*1}、英語コミュニケーションⅠ～Ⅵ^{*2}、日本語Ⅰ～Ⅳ^{*3}、コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ、総合政策A・B^{*1}、ヒューマン・エコロジー^{*1}、英語文化論^{*1}、基礎演習、研究演習Ⅰ・Ⅱ、メディア工房Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、日本学総論^{*3}

※1 再履修生（2年生以上）および当該年度入学の編入生は異なります。（2）を参照。

※2-1 クラス指定とは別に、入学時にA・B・Cいずれかのブロックに割り振られます。ブロックによって、授業を受ける曜日・時限が異なるのでご注意ください（下図を参照）。ブロックの変更は原則、認められません。

2020年度					2021年度					2022年度				
	火	水	木	金		火	水	木	金		火	水	木	金
Ⅰ	C	A	B	C	Ⅰ	A	B	C	A	Ⅰ	B	C	A	B
Ⅱ	A	B	A	B	Ⅱ	B	C	B	C	Ⅱ	C	A	C	A
Ⅲ	B	C	C	A	Ⅲ	C	A	A	B	Ⅲ	A	B	B	C

※2-2 国際教育プログラムで履修可能な以下の科目の単位は、英語コミュニケーションの単位として計算します。
「英語中期留学〇〇大学（〇〇には留学先大学名が入る）」「海外社会体験実習」「国際社会貢献実習」
「国連ユースボランティア実習」

※2-3 留学生が英語コミュニケーションの履修を希望する場合は、必ず4月2日(木)実施のTOEFL ITPを受験しなければなりません。

※3 留学生に限る。

(2) 再履修生（2年生以上）および当該年度入学の編入学生

科目名	再履修生（2年生以上）	当該年度入学の編入学生
キリスト教学A・B	クラス3に指定する。	クラス指定しない。各自でクラスを自由に選択して履修登録してください（クラス1またはクラス2）。
総合政策A・B	クラス指定しない。各自でクラスを自由に選択して履修登録してください（クラス1またはクラス2）。	
ヒューマン・エコロジー		
英語文化論		

4. ペア科目（週2回開講科目）

授業科目によっては、週2回開講されているものがあり、これをペア科目と呼んでいます。ペア科目を履修する際は、必ず週2回履修しなければなりません。

（例1）スペイン語Ⅰ 月曜日・1限 と 木曜日・3限

（例2）メディア制作演習（表現） 金曜日・4限 と 金曜日・5限

5. 先修科目・先修条件

科目によっては、定められた科目（先修科目）の修得、あるいは一定の条件（先修条件）を満たすことが履修に必要となります。総合政策学部開講の科目における先修科目・先修条件は下表のとおりです。なお、他学部開講科目、全学科目の先修条件については、科目提供学部・センター等の冊子を参照ください。

編入生は先修条件に関わらず履修することができますが、「※」の科目は履修することができません。

(1) ローマ数字のついている科目

ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ）のついている科目は、数字の順に修得しなければなりません。ただし、英語コミュニケーションⅢからスタートの学生はその限りではありません。

(例1)「コンピュータ演習Ⅱ」を履修するためには、「コンピュータ演習Ⅰ」の修得が必要です。

(2) (1) 以外に先修科目・先修条件を定めている授業科目

授業科目名	要求される先修科目または先修条件
英語アドバンスト・トピックス	英語コミュニケーションⅠ～Ⅵの計4科目16単位
英語プロフェッショナル・ライティングA・B	
英語パブリック・スピーキングA・B	
ビジネス実践英語	法学概論
市民法概論	
現代社会法論A・B	
企業法論	
行政法	
国際法	経済学概論 または ミクロ経済学
経営学	
公共経済学	ミクロ経済学
国際貿易論	
英語文化論	英語コミュニケーションⅠ または Ⅲ
データ解析Ⅰ	統計学Ⅰ
社会調査法※	社会調査基礎論・統計学Ⅰ
社会調査実習※	統計学Ⅰ・データ解析Ⅰ・社会調査基礎論
ネットワーク中級演習※	ネットワーク初級
ネットワーク上級演習※	ネットワーク中級演習
建築CAD演習※	CAD/CG 演習1 または 2
建築設計演習Ⅰ※	設計製図演習
研究演習Ⅰ・メディア工房Ⅰ 【=進級条件】	(イ) 一般学生 ①2ヶ年以上の在学期間（休学期間は含まない） ②学科配属後1年間以上経過していること ③英語コミュニケーションⅠ～Ⅳのうちいずれか計2科目8単位 ④コンピュータ演習Ⅱ1単位 ⑤基礎演習4単位 ⑥卒業に必要な単位の修得合計が50単位以上であること （③～⑤で修得した単位を含む）
	(ロ) 留学生 ①2ヶ年以上の在学期間（休学期間は含まない） ②学科配属後1年間以上経過していること ③日本語Ⅱ2単位 ④コンピュータ演習Ⅱ1単位 ⑤基礎演習4単位 ⑥卒業に必要な単位の修得合計が50単位以上であること （③～⑤で修得した単位を含む）

〔注意！〕先修条件を設定していない場合でも「準備学習等」を定めている科目があるので、履修登録にあたっては、必ずシラバスを確認してください。

6. 重複履修

同一時限に複数の科目を履修することはできません。また、原則として、すでに単位を修得した科目を再度履修することはできません。ただし、総合政策学部開講の以下の科目については、担当者が異なる場合、または同じ担当者でもサブタイトルが異なる場合は再度履修することができます。なお、他学部開講科目、全学科目の重複履修については、科目提供学部・センター等の冊子を参照ください。

総合政策トピックスA、総合政策演習、都市政策演習、国際政策演習、英語アドバンスト・トピックス、メディア情報課題研究B、都市政策課題研究A・B、国際発展政策課題研究A・B・C・D、プログラミング基礎、合同演習A・B・C・D・E・F

7. 継続履修

(1) 継続履修とは

継続履修とは、2020年度以降に通年科目である「研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文」を履修登録し、春学期の授業を受けたあと、休学期間をはさみ、所定の手続きを経て、次年度秋学期に同一担当教員の「研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文」を受けた場合、通年で当該科目の履修を受けたとみなすことです。

(2) 条件

1. 休学しようとする年度の春学期に「研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文」を履修中であること。
2. 春学期の授業に出席していること。
3. 春学期履修後、休学した者であること。
4. 休学期間が次年度春学期まで連続すること。春学期のみ、あるいは秋学期のみの休学期間の場合、継続履修は適用されません。

(1) 研究演習Ⅰを履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	研究演習（メディア工房）Ⅰ	休学
第4学年度	休学	研究演習Ⅰ（メディア工房）Ⅰ ※
5年目	研究演習（メディア工房）Ⅱ・卒業論文	

- ※1 研究演習（メディア工房）Ⅰを通年で履修したとみなす。
 ※2 継続履修を許可された者の研究演習（メディア工房）Ⅰ（4単位）の履修単位数は、休学前の3年生春学期と復学後の4年生秋学期に二等分して計算する。

(2) 研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文を履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	研究演習（メディア工房）Ⅰ	
第4学年度	研究演習（メディア工房）Ⅱ・卒業論文	休学
5年目	休学	研究演習（メディア工房）Ⅱ・卒業論文 ※

- ※1 研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文を通年で履修したとみなす。
 ※2 継続履修を許可された者の研究演習（メディア工房）Ⅱ（4単位）と卒業論文（4単位）の履修単位数は、休学前の4年生春学期と復学後の5年目秋学期に二等分して計算する。

(3) 手続き方法

1. 休学に伴う継続履修を希望する学生は、「休学願」と共に研究演習（メディア工房）担当教員より（2）条件 2. についての確認印のある「継続履修申請書」を期日までに総合政策学部事務室へ提出し、許可を得ること。
2. 復学後、継続履修が許可された「研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱおよび卒業論文」を改めて登録するための手続きを、復学する学期の履修登録期間中に総合政策学部事務室にて行うこと。

研究演習（メディア工房）および卒業論文を履修中の者で休学を検討する際には、演習担当教員への相談だけでなく、必ず事前に総合政策学部事務室に確認するようにしてください。

8. 申込制科目

申込制科目とは、履修登録期間に先行して、申込手続きが必要な科目です。従って、申込期間と方法をよく確認してください。なお、全学科目の申込みについてはP.61を参照してください。

【注意事項】

- ・クラス指定科目と重複している科目の申込みはできません。
- ・申込制科目は、申込者数が定員を超過した場合、選考または抽選を行います。
- ・履修を許可された科目の履修取消・中止は認められません。

総合政策学部開講科目

【申込期間】

P.4～5を参照してください。

【申込方法】

教学 Web サービス下部の「教務」タブの「申込（抽選）制科目登録」ボタンより申請ができます（P.24参照）。

【結果確認】

事務室メール受付分… 教学 Web サービス下部「教務」タブの「時間割照会」ボタンにて、開講曜日時限に科目が表示されていたら当選です。

教学 Web サービス受付分… 教学 Web サービス下部「教務」タブの「申込（抽選）制科目登録」ボタンより確認することができます。

①申込制科目（事務室メール受付分）

【対象科目：通年・春学期・秋学期】

学期	履修基準年度	授業科目名	担当者名	定員	備考
通年	2年	総合政策演習 1 [*]	代佐山 浩	6名	
	3年	里山実習 [*]	代佐山 浩	12名	
春	2年	都市政策演習 2	代清水陽子	12名	
		都市政策演習 3	八木 康夫	15名	
		メディア制作演習（社会情報デザイン）	角谷 和俊	15名	
	メディア制作演習（表現）	津田 睦美	36名	ペア科目（必ず週2講時（2回）履修しなければならない）	
3年	公共政策課題研究A	代長峯純一	25名		
春集中	1年	総合政策トピックスA [*]	代村田俊一	16名	
		総合政策トピックスB [*]	角谷 和俊	15名	
秋	2年	都市政策演習 11	代清水陽子	12名	

※変則的授業のためシラバスで日程を確認してください。

【申込方法】

申込用紙を教学 Web サービスよりダウンロードし、必要事項を記入の上、メールで総合政策学部事務室に提出してください。詳細は教学 Web サービス「学部・研究科」を参照してください。

②申込制科目（教学 Web サービス受付分）

【対象科目：通年・春学期】

履修 基準 年度	科目名	クラス	担当者名	定員	備考
1年	フランス語Ⅰ ※1 ※2		代安達 博明	35	
	ドイツ語Ⅰ ※1 ※2		代堀 郁	35	
	スペイン語Ⅰ ※1 ※2		代小山 朋子	35	
	中国語Ⅰ ※1 ※2	1	代沈 慧敏	35	
		2	代久下 景子	35	
	プログラミング基礎	1	大用 庫智	35	
		2	山田 孝子	35	
	コンピュータ演習Ⅲ		安田 真希子	25	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）
自然科学史		井上 尚之	600		
EC5 受講 予定者	EC5 Special Topics （英語コミュニケーションⅤ A）	13	ストーンズ T. P.	30	EC5 受講予定者は教学 Web サービスお知らせ「【総政】〈EC〉 EC5 Special Topics のクラス選択手続きについて」を確認のうえ、必ず申込をすること。申込期間に申し込みを行わなかった場合や、定められた申込方法以外での申し込みを行った場合は、ランダムにクラスが割り振られます。
		14	ブルックス ギャビン	30	
		15	ゲイ ショーン	30	
		16	ポール ダニエル	30	
		17	タット C.	30	
		18	ディッカーソン L.	30	
	EC5 Special Topics （英語コミュニケーションⅤ B）	7	ストーンズ T. P.	30	
		8	ブルックス ギャビン	30	
		9	ゲイ ショーン	30	
		10	ポール ダニエル	30	
		11	タット C.	30	
		12	ディッカーソン L.	30	
	EC5 Special Topics （英語コミュニケーションⅤ C）	1	ストーンズ T. P.	30	
		2	ブルックス ギャビン	30	
		3	ゲイ ショーン	30	
		4	ポール ダニエル	30	
		5	タット C.	30	
		6	ディッカーソン L.	30	
2年	英語アドバンスト・トピックス	1	三浦 つゆき	20	先修科目・先修条件あり（P. 44参照） 履修者が2名以下の場合是不開講
		2	ポーリット S.	20	
	総合政策演習	2	デキキス ジョー	20	
		3	ヘファナン ケビン	30	
		4	ライ オン クオック	20	
		5	亀田 啓悟	30	
		6	亀田 啓悟	30	
		1	加藤 晃規	20	
	都市政策演習	3	代八木 康夫	25	
		1	井上 一郎	20	
	国際政策演習	2	坂口 勝一	20	
		2	山田 孝子	30	
	メディア制作演習（シミュレーション）		山中 速人	20	
	メディア制作演習（メディアの実践）		井垣 伸子	25	
	メディア制作演習（意思決定）		三浦 弘明	30	
	メディア制作演習（最適化ソリューション）		大用 庫智	25	
	メディア制作演習（データ分析）		戸部 智	70	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）
	データ解析Ⅰ		窪田 誠	72	
ネットワーク初級		伊佐田 百合子	35		
データベース		ティヘリノ Y. A.	18		
ウェブと社会		オノ レスリー N.	25	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）	
英語プロフェッショナル・ライティングA		谷口 弘美	25	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）	
英語パブリック・スピーキングA		三浦 つゆき	25	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）	
ビジネス実践英語	1	平野 幸夫	10	留学生のみ申請可能 先修科目・先修条件あり（P. 44参照）	
日本語Ⅴ ※1	2	八木 延佳	10		
3年	社会調査実習		宮川 雅充	15	先修科目・先修条件あり（P. 44参照） 通年科目 第4学年度生で社会調査士を資格を修得希望の者は優先的に受け付ける。申込期間中に総合政策学部事務室まで申し出ること。
	ネットワーク上級演習		窪田 誠	30	先修科目・先修条件あり（P. 44参照）
	ジェンダー論		大崎 麻子	60	変則的授業のため授業日程はシラバスで確認すること。
	人間と機械のインタラクション		ティヘリノ Y. A.	40	
	機械学習と知能		井垣 伸子	25	
	意思決定科学		八尾 里絵子	30	
	コンピュータ・アート		客野 尚志	40	
	GIS 演習Ⅰ		清水 康子	20	
	合同演習D				

※1 ペア科目です。必ず週2講時（2回）履修しなければなりません。シラバスで曜日と時限を確認してください。

※2 英語コミュニケーションの履修と重複した場合に限り、英語コミュニケーションの該當時限を変更します。4月3日（金）16:50までに総合政策学部事務室まで申し出ください。

【対象科目：秋学期】

※以下の秋学期の対象科目は暫定です。確定情報は9月上旬に教学 Web サービスを確認してください。

履修基準年度	科目名	クラス	担当者名	定員	備考
1年	プログラミング基礎	3	大用 庫智	25	
	設計製図演習	1	代八木 康夫	40	「建築士プログラム」登録のための先修条件科目
		2	代八木 康夫	40	
	日本語文章表現		平野 幸夫	200	
EC6 受講予定者	EC6 Special Topics (英語コミュニケーションⅥ A)	13	未定	30	EC6 受講予定者は教学 Web サービスお知らせ「【総政】〈EC〉 EC6 Special Topics のクラス選択手続きについて」を確認のうえ、必ず申込をすること。申込期間に申し込みを行わなかった場合や、定められた申込方法以外での申し込みを行った場合は、ランダムにクラスが割り振られます。
		14		30	
		15		30	
		16		30	
		17		30	
		18		30	
	EC6 Special Topics (英語コミュニケーションⅥ B)	7		30	
		8		30	
		9		30	
		10		30	
		11		30	
	EC6 Special Topics (英語コミュニケーションⅥ C)	12		30	
		1		30	
		2		30	
		3		30	
2年	英語アドバンスト・トピックス	6	三浦 つゆき	20	先修科目・先修条件あり (P. 44参照) 履修者が2名以下の場合是不開講 授業内容・担当者は8月下旬以降、シラバスにて確認すること。
		7	未定	20	
	データ解析Ⅱ		李 政元	40	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	プログラミング演習 (C)		内藤 富美子	25	
	プログラミング演習 (JAVA)		安田 真希子	25	
	プログラミング演習 (VB)		藤井 順子	25	
	ウェブ・プログラミング		ティヘリノ Y. A.	60	
	ネットワーク中級演習 ※1		窪田 誠	30	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	現代ジャーナリズム論		平野 幸夫	200	
	身体コミュニケーション論		八木 延佳	20	
	日本学総論		代安 熙錫	15	日本人学生のみ申請可能 留学生はあらかじめ履修登録されているため申込不要
	総合政策演習	11	ヘファナン ケビン	20	
		12	マーク D. ソーヤー	20	
	都市政策演習	12	代山根 周	20	
		11	坂口 勝一	20	
	国際政策演習	12	園田 明子	15	
		13	戸部 智	20	
14		古川 靖洋	20		
メディア制作演習 (画像音声処理)		ティヘリノ Y. A.	50		
メディア制作演習 (システムデザイン)		伊佐田 百合子	25		
メディア制作演習 (地域開発とICT)		吉野 太郎	20		
CAD/CG 演習	3	安田 真希子	45	建築士プログラムに登録していない学生のみ申請可能 (建築士プログラム登録者用クラスとは内容が異なるため、建築士プログラム登録者は履修不可。)	
3年	英語プロフェッショナル・ライティングB		オノ レスリー N.	25	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	英語パブリック・スピーキングB		谷口 弘美	25	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	ビジネス実践英語	2	三浦 つゆき	25	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	環境測定実習		代佐山 浩	10	変則的授業のため授業日程はシラバスで確認すること。
	社会モデル分析		山田 孝子	24	
国際発展政策課題研究A		清水 康子	25		

※1 ベア科目です。必ず週2講時(2回)履修しなければなりません。シラバスで曜日と時限を確認してください。

＜建築士プログラム登録者のみ申請可能＞

履修基準年度	科目名	クラス	担当者名	定員	備考
3年	建築設計演習Ⅳ		原 哲也	60	先修科目・先修条件あり (P. 44参照)
	建築環境工学実験	1	客野 尚志	20	
2		20			

9. 留学に伴う教務事項

【教務上必要な手続き】 ×は不可、○は可能、☆は所定の手続きを行えば可能

	外国語研修プログラム	中期留学		中期海外インターンシッププログラム 国際ボランティア (国連ユースボランティア・国際社会貢献活動)	交換留学 長期留学 認定留学
		(英)	(仏) (西)		
(1) 履修登録	○	×	×	×	×
(2) 演習科目への単位認定	×	不要	不要	×	☆
(3) ECへの単位認定	×	○	×	○	☆
(4) 集中講義の履修	☆	☆	☆	☆	☆
(5) 単位の付与	プログラムを修了、合格することにより所定の単位が付与(手続不要)				☆
(6) その他	学科選択、ゼミ選択、進級論文、卒業論文、学費納入等				

(1) 履修登録

授業実施期間と留学期間が重なる場合は、履修登録ができません。ただし、通年科目、集中講義科目など、本人の状況に応じて履修登録が必要な場合がありますので、それぞれの事項をよく確認してください。

〈例〉 秋・春の2セメスター留学の場合、帰国が4月中旬(履修登録に間に合う時期)であっても、(留学期間にあたる)春学期の履修登録はできません。ただし、聴講は授業担当者の許可を得れば可能です。

(2) 演習科目への単位認定

対象となるプログラム：交換留学、長期留学、認定留学

ゼミへ単位認定するための科目は、ゼミ担当者の指定した科目とします。留学先で履修するどの科目をゼミへ単位認定する科目とするかを、必ず履修登録の前にゼミ担当者と相談しておいてください。

(3) ECへの単位認定

対象となるプログラム：(英) 中期留学、中期海外インターンシッププログラム、国際ボランティア(国連ユースボランティア・国際社会貢献活動)、交換留学、長期留学、認定留学

英語で開講される科目のみ単位認定が可能です。ただし、英語で開講されていても語学科目(中、仏、独、西、ノルウェー、ラテン語、等)は対象外です。

(4) 集中講義の履修

対象となるプログラム：外国語研修プログラム、(英・仏・西) 中期留学、中期海外インターンシッププログラム、国際ボランティア(国連ユースボランティア・国際社会貢献活動)、交換留学、長期留学、認定留学

留学終了時期を問わず、留学から帰学した学期の集中講義については、全授業日程に出席可能であることを条件に履修することが出来ます。ただし、履修する場合は教学 Web サービスで履修登録期間内に行ってください。履修登録をしていない場合は、帰国後に授業出席が可能であっても認められませんので注意してください。なお、集中講義の日程は、出発までに各自で教学 Web サービスや掲示板などを確認するようにしてください。

(5) 単位の付与

対象となるプログラム：外国語研修プログラム

所定の課程を修了、合格することで以下の区分に単位が付与されます。

認定科目区分	認定科目名称
専門教育科目-専門基礎科目	外国大学科目

対象となるプログラム：英語中期留学

所定の課程を修了・合格することで所定の単位が付与されます。留学先によって単位数が異なりますので募集要項等で確認してください。

認定科目区分	認定科目名称
専門教育科目－専門基礎科目－言語教育科目（英語）	英語中期留学〇〇大学 等 （〇〇には留学先大学名が入ります）

対象となるプログラム：フランス語中期留学、スペイン語中期留学

所定の課程を修了・合格することで所定の単位が付与されます。留学先によって単位数が異なりますので募集要項等で確認してください。

認定科目区分	認定科目名称
自由選択科目	フランス語中期留学 スペイン語中期留学

対象となるプログラム：国際ボランティア（国連ユースボランティア・国際社会貢献活動）

所定の課程を修了・合格することで所定の単位が付与されます。プログラムによって科目名称・単位数が異なりますので募集要項等で確認してください。

認定科目区分	認定科目名称
専門教育科目－専門基礎科目－言語教育科目（英語）	海外社会体験実習 国際社会貢献課題研究 国連ユースボランティア課題研究
自由選択科目	国際社会貢献実習 国連ユースボランティア実習

対象となるプログラム：交換留学、長期留学、認定留学

交換留学・長期留学・認定留学では出発前・留学中・帰国後と様々な手続きが必要です。出発前に以下内容と国際教育・協力センター（以下 CIEC）が実施する渡航説明会で配付される資料「留学前・留学後の手続きについて」を出発前に熟読しておいてください。

〈単位認定までのフロー〉

出発前

1. CIEC より配付される「留学届」を出発前に総合政策学部事務室に提出してください。
2. 履修心得P.49「9. 留学に伴う教務事項」を確認してください。
3. 教職履修者は教職課程の諸手続きについて教職教育研究センターで確認してください。

【ゼミ（研究演習／メディア工房）に所属している場合】※対象者のみ

P.51〈単位認定基準〉（1）（2）を確認の上、留学先で修得する科目のうち、どの科目をゼミの単位として認定をするか演習担当者（＝ゼミの教員）に相談した上で、履修科目を決定してください（仮に決定した科目が不合格になった場合は帰国後、指導教員とともに合格した科目で改めて相談してください）。

なお、**帰国後1ヶ月以内**【単位認定必要書類の提出】の際に「単位認定願」内にどの科目をゼミの単位として認定するか明記してください。

留学中

【履修科目確定後】

帰国後、単位認定をする科目は①～③の情報が全て必要になります。

- ① 1回あたりの授業時間〇分
- ② 週〇回
- ③ 〇週

履修科目確定後、履修する全科目のシラバスを保存しておくとともに、シラバスのみで①～③の情報が網羅できていない場合、授業時間数を客観的に証明する書類として時間割等留学先が公式に発行する資料を揃えてください（帰国後では留学先のシラバスや時間割を確認するページが期間外として閉鎖され、確認できないケースが頻繁にあります）。

なお、シラバスその他留学先が公式に発行する資料の言語が英語以外の場合はご自身で翻訳を併記してください。

帰国前

【成績証明書の入手時期確認】

CIEC 配付資料「留学前・留学後の手続きについて」のとおり、成績証明書がないと帰国後に単位認定の手続きができません。いつ入手できるのか各自責任をもって留学先に確認をしておいてください。

【帰国日が遅れる場合】 ※対象者のみ

帰国日は自分の都合で決めるものではなく、関西学院大学の学生である以上、プログラムが終了すれば速やかに本学に戻ることが求められます。万が一、学業上の理由等で、帰国日が遅れる場合は「帰国延長願」を提出する必要があるため、必ず CIEC と総合政策学部事務室、ゼミに所属する学生は演習担当者（＝ゼミの教員）に連絡してください。

帰国直後

【「帰学届」の提出】

CIEC 配付の「帰学届」を総合政策学部事務室に提出してください。その際、当年度の『【履修心得】 STUDY INFORMATION』や在学確認票の受け取りを希望する旨を伝えてください。

帰国後1ヶ月以内

【単位認定必要書類の提出】

次の①～④が整い次第、速やかに総合政策学部事務室に提出してください。単位認定結果が次学期の履修登録内容に影響するので申請が学期末（春：7月以降、秋：12月以降）になる場合は特に注意してください。また、卒業学年の場合は単位認定手続が卒業に間に合う様、遅くとも卒業年度の12月までに提出してください。

- ① 「単位認定願」（CIEC より配付）^{※1・2}
 - ② 留学先大学から入手した「成績証明書」原本^{※3}
 - ③ 合格した科目のシラバス^{※2}
 - ④ （シラバスに授業時間数が明記されていない場合）授業時間数を客観的に証明する書類^{※1}
- ^{※1} **出発前** 【ゼミ（研究演習／メディア工房）に所属している場合】 ※対象者のみ を確認すること。
- ^{※2} **留学中** 【履修科目確定後】 を確認すること。
- ^{※3} 原本の入手が遅れる場合、WEB 上で確認できる成績結果を提出すること。

単位認定必要書類の提出後

提出された①～④をもとに月2回程度開催される本学部会議体において審査し、承認後教学 Web サービスでお知らせをしますので単位認定結果を総合政策学部事務室まで受け取りに来てください。

※上記会議体の開催スケジュールにより提出後すぐに審査できない場合があります。

〈単位認定基準〉

定められた単位数換算方法に則って修得単位数を換算します（端数は原則として切捨て）。

- (1) 「言語教育科目、実験科目、実習科目および実技科目」の場合
 関学の1単位＝留学先の大学での1,350分（1単位：1,350分）
 〈例〉EC（4単位）の単位認定を受けようと思えば、
 $1,350分 \times 4単位 = 5,400分$ の授業時間数が必要となります。
- (2) 「講義科目および演習科目」の場合
 関学の1単位＝留学先の大学での675分（1単位：675分）
 〈例〉ゼミ（2単位）の単位認定を受けようと思えば、
 $675分 \times 2単位 = 1,350分$ の授業時間数が必要となります。

※単位の付与に関する注意事項

実技系科目（体育系・芸術系・インターンシップ等のキャリア教育科目）は単位認定の対象となりません。

〈単位の付与〉

2020年1月（2019-2020年 第2期交換留学含む）**以前**出発の派遣者

算入区分

①英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ（以下EC）、研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱ（以下ゼミ）の単位認定が必要な場合は、優先的にECおよびゼミの単位認定を行う。

※ゼミの単位認定について

交換留学・長期留学・認定留学期間とゼミの履修期間が重なっている場合、（例え1セメスターであっても）ゼミの単位認定を必ず申請してください。ゼミの単位認定を申請しない場合、もしくは申請をしても認められない場合は、4年間での卒業ができなくなります。〈単位認定基準〉を確認の上、留学先で修得する科目のうち、どの科目をゼミの単位として認定をするか演習担当者（＝ゼミの教員）に相談した上で、どの科目をゼミの単位として認定するかを「単位認定願」に明記し申請してください。

②「単位認定基準」で定められた単位数換算方法に則って修得単位数（「①」で単位認定した場合は、残りの単位数で修得単位数）を換算し、下表の通り配分します。

	修得単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
算入区分	専門基礎科目	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	2	1	2	1	2	3	2	3	4
	専攻科目基礎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4
	学科共通科目	1	2	3	4	4	6	6	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	12	12	12

※21単位目以降は全て、「学科共通科目」に算入することとする。

成績評価

単位認定後の科目名は全て「外国大学科目」となり、成績評価は「認定」となる。

2020年2月（2020-2021年 第1期交換留学含む）**以降**出発の派遣者

算入区分

①研究演習（メディア工房）Ⅰ、あるいは研究演習（メディア工房）Ⅱ（以下ゼミ）を履修中のものについては、留学先大学の科目のうち、演習担当者が指定するものを、ゼミの単位として優先的に認定する。次いで、その他の修得単位数を、英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ（以下EC）の単位として優先的に認定する。

②ゼミを履修していないものについては、留学先大学での修得単位数をまずECの単位として優先的に認定する。

③上記①・②以外の科目は授業形態によって算入区分を決め、「外国大学科目」として単位認定する。

（1）留学先における「言語教育科目」は本学部教育課程表「専門基礎科目－言語教育科目」

（2）留学先における「言語教育科目以外」は本学部教育課程表「学科共通科目」

成績評価

単位認定後の科目名（ECとゼミを除く）は「外国大学科目」となり、成績評価は留学先大学の成績評価を「協定大学の単位認定に関する申し合わせ事項」に基づき留学先大学の評価を本学の素点に換算する。または、留学先大学の素点を本学の評価とする。ただし、ECおよびゼミへ単位認定した場合の成績評価は「認定」とする。

対象となるプログラム：関西学院大学・上智大学の学生交流協定に基づく交換学生

所定の課程を修了・合格し、帰学後1か月以内に所定の手続きを行うことで単位が付与されます。

〈単位認定までのフロー〉

留学前

1. 総合政策学部事務室にて配布する「留学届」を出発前に提出してください。
2. 履修心得P.49「9. 留学に伴う教務事項」を確認してください。
3. 教職履修者は教職課程の諸手続きについて教職教育研究センターで確認してください。

【ゼミ（研究演習／メディア工房）に所属している場合】 ※対象者のみ

P.51〈単位認定基準〉(1)(2)を確認の上、留学先で修得する科目のうち、どの科目をゼミの単位として認定するか演習担当者（＝ゼミの教員）に相談した上で、履修科目を決定してください（仮に決定した科目が不合格になった場合は帰学後、指導教員とともに合格した科目で改めて相談してください）。

なお、以下**【帰学後1ヶ月以内】**【単位認定必要書類の提出】の際に「単位認定願」内にどの科目をゼミの単位として認定するか明記してください。

【留学中】

履修科目確定後、履修する全科目のシラバスを保存しておいてください。帰学後では留学先のシラバスや時間割を確認するページが期間外として閉鎖され、確認できないケースがあります。

【帰学前】**【成績証明書の入手時期確認】**

成績証明書がないと帰学後に単位認定の手続きができません。いつ入手できるのか各自責任をもって留学先に確認をしておいてください。

【帰学日が遅れる場合】 ※対象者のみ

帰学日は自分の都合で決めるものではなく、関西学院大学の学生である以上、プログラムが終了すれば速やかに本学に戻ることが求められます。万が一、学業上の理由等で、帰学日が遅れる場合は「帰学延長願」を提出する必要があるため、必ず総合政策学部事務室とゼミに所属する学生は演習担当者（＝ゼミの教員）に連絡してください。

【帰学直後】**【「帰学届」の提出】**

総合政策学部事務室にて配布する「帰学届」を提出してください。その際、当年度の『【履修心得】STUDY INFORMATION』や在学確認票の受け取りを希望する旨を伝えてください。

【帰学後1ヶ月以内】**【単位認定必要書類の提出】**

次の①～③が整い次第、速やかに総合政策学部事務室に提出してください。単位認定結果が次学期の履修登録内容に影響するので申請が学期末（春：7月以降、秋：12月以降）になる場合は特に注意してください。また、卒業学年の場合は単位認定手続きが卒業に間に合う様、遅くとも卒業年度の12月までに提出してください。

①「単位認定願」（総合政策学部事務室より配付）^{*1・2}

②留学先大学から入手した「成績証明書」原本^{*3}

③合格した科目のシラバス^{*2}

*1 **【帰学前】**【ゼミ（研究演習／メディア工房）に所属している場合】 ※対象者のみ を確認すること。

*2 **【留学中】** を確認すること。

*3 原本の入手が遅れる場合、WEB上で確認できる成績結果を提出すること。

【単位認定必要書類の提出後】

提出された①～③をもとに月2回程度開催される本学部会議体において審査し、承認後教学 Web サービスでお知らせをしますので単位認定結果を総合政策学部事務室まで受け取りに来てください。

※上記会議体の開催スケジュールにより提出後すぐに審査できない場合があります。

〈単位認定基準〉

留学先大学で取得した単位数の同数を総合政策学部の卒業必要単位として認定します。

※単位の付与に関する注意事項

実技系科目（体育系・芸術系・インターンシップ等のキャリア教育科目）は単位認定の対象となりません。

〈単位の付与〉

算入区分

- ①研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱ、またはメディア工房Ⅰあるいはメディア工房Ⅱ（以下ゼミ）を履修中のものについては、留学先大学の科目のうち、演習担当者が指定するものを、ゼミの単位として優先的に認定する。次いで、その他の取得単位を、英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ（以下EC）の単位として優先的に認定する。
- ②ゼミを履修していないものについては、留学先大学での取得単位を、まずECの単位として優先的に認定する。
- ③上記①・②以外の科目は授業形態によって算入区分を決め、「国内協定大学科目」として単位認定する。
 - （1）留学先における「言語教育科目」は本学部教育課程表「専門基礎科目－言語教育科目」
 - （2）留学先における「言語教育科目以外」は本学部教育課程表「学科共通科目」

成績評価

単位認定後の科目名は全て「国内協定大学科目」となり、成績評価は上智大学の Letter Grade を以下の通り本学の素点に換算する。ただし、EC およびゼミへ単位認定した場合の成績評価は「認定」とする。

- A = 95
- B = 85
- C = 75
- D = 65
- F = 認定しない
- P = 認定

（6）学科選択について

1 年次秋学期に留学中の学生も留学に参加しない学生と同様に、予め定められた申請期間内（P.5 参照）に申請をしなければなりません。期間内に手続きが完了した場合は 2 年次より学科に所属することができます。

（7）ゼミ選択（研究演習Ⅰ／メディア工房Ⅰの選択）について

2 年次秋学期に留学中の学生はゼミ選択の時期が留学と重なり通常の方法で手続きすることが出来ませんので、留学先より E メールを介して手続きを行います。ゼミ選択手続きに関する書類は総合政策学部事務室より各自の関学アドレスにのみ案内しますので、よく確認しておいてください。期間内に手続きが完了し、かつゼミの先修条件（＝進級条件）が満たされた場合は、3 年次よりゼミに所属することが出来ます。ゼミ生の選抜は各ゼミ担当者の裁量で行われますので、留学出発前に希望するゼミ担当者に相談しておくことをお勧めします。

（8）進級論文・卒業論文の提出について

①進級論文について

3 年次秋学期に留学中の学生も留学に参加しない学生と同様に、予め定められた提出期間内（P.5 参照）に進級論文を総合政策学部事務室に提出しなければなりません。進級論文を提出し、ゼミの単位認定がなされた学生のみ、4 年次のゼミに進級できますので、進級論文のテーマや内容については留学中もゼミ指導教員と連絡を取り、指導を仰ぐようにしてください。提出にあたっては、友人や家族に代理提出を依頼してください。

②卒業論文について

4 年次秋学期に留学中の学生も留学に参加しない学生と同様に、予め定められた提出期限内（P.5 参照）に卒業論文を総合政策学部事務室に提出しなければなりません。卒業論文を提出し、ゼミの単位認定がなされた学生のみ、必修科目である「卒業論文」の単位が修得できます。留学中もゼミ指導教員と連絡を取り、指導を仰ぐようにしてください。提出にあたっては、友人や家族に代理提出を依頼してください。

（9）【2019年度以降入学生対象】教育職員免許状取得を検討している場合

以下の項目全てに該当する学生は、検討段階で総合政策学部事務室にご相談ください。

1. 教育職員免許状の取得を検討している。
2. 2 年次春学期に次の留学制度に参加を検討している。
 - ①英語中期留学
 - ②中期海外インターンシッププログラム
 - ③国際ボランティア
 - ④交換留学
 - ⑤長期留学
 - ⑥認定留学
3. 「2」の留学期間中に「英語コミュニケーションⅢ」を履修する予定である。

10. その他の注意事項

(1) 集中科目の履修

集中科目の履修登録についても、所定期日までに完了しなければなりません。授業期間外の集中科目の授業時間帯は通常の授業時間帯と異なりますので、シラバスを確認してください。総合政策学部開講の集中科目一覧は時間割に記載しています。一部の集中科目では複数の曜日時限に渡って授業が実施されています。この場合、授業が設定されている全ての曜日時限コマが空いていなければ履修することができませんので注意してください。なお、他学部・センター開講の集中科目については、他学部・センター等の冊子を参照ください。

(2) 他学部開講科目の履修

他学部で開講されている科目を履修する場合は、次の点に注意してください。

- ①履修単位数制限内で履修することができます。
- ②卒業に必要な総単位数のうち自由選択科目として算入します。
- ③キャンパス間の移動を伴う履修についてはP.38を参照してください。
- ④授業・試験については、当該学部の規定が適用されるので、当該学部の履修心得等をご確認ください。
- ⑤シラバスおよび時間割の科目名の前に「†」印のついている科目は履修することができません。

11. 2020年度不開講科目一覧

履修基準年度	講義名			
1年	差別と人権	情報と法	歴史的建造物論	総合政策トピックスD
2年	電波利用演習	人口問題論	労働法	ヒューマン・ソーシャルネットワーク
	パーソナル・ソーシャルネットワーク	グローバル・システムダイナミクス	測量実習	メディア制作演習 (Webデザイン)
3年	メディア制作演習 (経済社会予測モデル)	メディア制作演習 (知的社会における情報)	広告コミュニケーション論	
	エコロジー政策課題研究A・B	公害政策論	公共政策課題研究B	哲学思想課題研究A・B
	過疎過密論	政策評価論	現代社会法論A・B	コミュニケーション政策課題研究A・B
	比較言語文化研究A・B	法とコミュニケーション	感性情報	認知科学論
	ネットワーク社会論	国際情報戦略論	情報産業連関論	情報と環境
	都市政策課題研究A・B	GIS演習II	国際発展政策課題研究C・D	技術移転論
	地域開発政策	ストラテジック・マネジメント	キャパシティ・ディベロップメント	クロスメディア設計論
4年	生態環境論	総合政策課題研究B・D	都市交通論	国際機構論
4年	合同演習E・F			

12. 履修中止制度

GPA制度の主旨に則り、授業開始後約2ヶ月の時点において、履修の中止をすることができます（GPA制度についての説明はP.39を参照ください）。なお、履修中止制度の対象外科目は教学Webサービスのお知らせ「2020年度履修中止できない科目一覧について」をご確認ください。

【注意事項】

- ・履修中止申請後、Web画面から「履修登録確認表」を印刷し、万が一、履修中止申請を行った科目の履修登録が取り消されていない場合は、至急総合政策学部事務室に申し出てください（印刷方法はP.41参照）。
- ・進級、卒業に必要な科目を中止申請したために、進級、卒業ができない場合があります。この場合も、中止した科目を復活することはできないので、申請前に十分確認してください。

13. 総合政策学部カリキュラム・マップ

		キリスト教の文化・思想の理解	コミュニケーション力	プレゼンテーション力	問題発見能力	問題解決能力	学際性	総合力	実学性・実践力	専門知識							
										環境	公共	言語・文化	メディア情報	都市	国際		
キリスト教科目		○															
専門教育科目	専門基礎科目	言語教育科目		○	○				○								
		方法科目	言語・文化・表現		○	○	○	○		○							
			数理・統計・調査				○	○		○							
			情報			○	○	○		○							
		入門科目	共通必修				○	○	○								
			共通選択				○	○	○								
	学科導入		○	○	○	○		○									
	専攻科目	専攻科目基礎	環境・自然科学系				○	○	○		○						
			公共政策・社会科学系				○	○	○			○					
			言語・文化系				○	○	○				○				
			メディア情報系				○	○	○					○			
			都市政策系				○	○	○						○		
			国際政策系				○	○	○							○	
			共通				○	○	○								
		学科共通科目				○	○	○									
		総合政策学科科目	環境政策フィールド科目				○	○				○					
			公共政策フィールド科目				○	○					○				
			言語文化政策フィールド科目				○	○						○			
			メディア情報学科科目				○	○							○		
			都市政策学科科目				○	○								○	
国際政策学科科目					○	○									○		
演習科目			○	○	○	○	○	○	○								
建築士プログラム科目					○	○								○			
教職等資格科目									○								

14. 総合政策学部履修モデル

※同じ履修モデルは総合政策学部ホームページにも掲載されています。

【2013年度以降入学生】総合政策学科環境政策フィールドの履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4	
		キリスト教B	2									
専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅣまたはⅤ・Ⅵ	8					16	16	
	言語・文化・表現	英語文化論	2							2	2	
	数理・統計・調査	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	2 2	数理科学の基礎 社会調査基礎論 社会調査法	2 2 2					10	2	
	情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1							2	2	
	共通必修	総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2							6	6	
	共通選択	自然環境論	2							6	4	
	学科導入	都市政策入門	2	総合政策演習	2							
	専攻科目基礎	社会学概論	2	日本経済論	2						18	8
		経済学概論	2	論理学	2							
		法学概論	2									
戦後国際政治史 現代東アジア 環境倫理 哲学概論		2 2 2 2										
学科共通科目			経営学 ミクロ経済学 マクロ経済学 戦略的思考と合意形成 政策過程論	2 2 2 2 2	リスク・コミュニケーション論	2				34	28	
	所属学科/ 所属フィールド科目		環境政策論 エコロジー政策 環境社会学 環境法	2 2 2 2	環境経営論 環境経済学 資源エネルギー論 資源循環型社会論 自然保護政策論 生態環境論 国際環境政策	2 2 2 2 2 2						
他学科専攻科目			国際発展政策 国際貿易と通貨	2 2	経済地理学 国際貿易論 公共経済学 市民参加・NPO/NGO論 国際金融論 社会システム論	2 2 2 2 2 2				50	48	
	演習科目	基礎演習	4		研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ 卒業論文	4 4	16			16
単位数合計			48	42		32		8	130	128		

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】総合政策学科公共政策フィールドの履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4	
		キリスト教B	2									
専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅣまたはⅤ・Ⅵ	8					16	16	
	言語・文化・表現	英語文化論	2							2	2	
	数理・統計・調査	総合政策のための数学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	2 2 2	社会調査基礎論 データ解析Ⅰ データ解析Ⅱ 社会調査法	2 2 2 2					14	2	
	情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1							2	2	
	共通必修	総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2							6	6	
	共通選択	自然環境論	2							4	4	
	学科導入	都市政策入門	2									
	専攻科目基礎	経済学概論	2	日本経済論	2						18	8
		哲学概論	2	社会学概論	2							
		法学概論	2	市民法概論	2							
戦後国際政治史 社会福祉論		2 2	倫理学概論	2								
学科共通科目			ミクロ経済学 マクロ経済学 社会保障論 戦略的思考と合意形成	2 2 2 2	会計学 労働法 政策過程論	2 2 2			46	48		
	所属学科/ 所属フィールド科目		公共哲学 公共経済学 公共選択論 財政学 行政学 国際関係論	2 2 2 2 2 2	高齢者福祉論 保健医療政策論 都市財政論 都市行政論 都市政治学 政策評価論 市民参加・NPO/NGO論 国際貿易論 行政法 国際金融論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
他学科専攻科目			国際貿易と通貨	2						28	48	
	演習科目	基礎演習	4		研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ 卒業論文	4 4	16	16		
単位数合計			46	46		30		8	130	128		

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】総合政策学科言語文化政策フィールドの履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位				
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4		
		キリスト教B	2										
専門教育科目	専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅡまたはⅢ・Ⅳ	8	英語アドバンスト・トピックス	1			17	16	
		方法科目	言語・文化・表現	英語文化論	2	現代ジャーナリズム論	2	広告コミュニケーション論	2			9	2
			身体コミュニケーション論					英語パブリックスピーキングA	1				
		共通科目	数理・統計・調査	統計学Ⅰ	2	社会調査基礎論	2					4	2
			情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1							2	2
		入門科目	共通必修	総合政策A 総合政策B	2 2							6	6
	共通選択		ヒューマン・エコロジー コミュニケーション総論	2 2							4	4	
	専攻科目	学科導入	国際政策入門	2									
		専攻科目基礎	言語学概論	2	アジア思想史	2							
			哲学概論	2	ヨーロッパ思想史	2							
		学科共通科目	倫理学概論	2	文化人類学	2							
			民族と文化 社会福祉論	2 2	戦後国際政治史	2						18	8
	所属学科/ 所属フィールド科目	他学科専攻科目			社会保障論 戦略的思考と合意形成 比較宗教思想論	2 2 2	ジェンダー論	2					
言語政策論 文化政策論 異文化コミュニケーション論 比較文化論 英語学概論 英米文学A		2 2 2 2 2 2				日本語文化論 多言語多文化論 比較文化論 多文化社会論 言語生態学 英語学概論 英語学 文化とグローバルイノベーション 社会言語学 英米文学B 英語学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	国際コミュニケーション論 言語類型論	2 2	44	28		
他学科専攻科目				国際関係史	2	メディア文化政策 国際人権論	2 2			50	48		
演習科目		基礎演習	4			研究演習Ⅰ	4						
単位数合計			42		40		36		12	130	128		

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】メディア情報学科の履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位				
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4		
		キリスト教B	2										
専門教育科目	専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅡまたはⅢ・Ⅳ	8					16	16	
		方法科目	言語・文化・表現	英語文化論 日本語文章表現	2 2							4	2
			数理・統計・調査	総合政策のための数学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 数理科学の基礎	2 1 1 2	社会調査基礎論 社会調査法 データ解析Ⅰ データ解析Ⅱ	2 2 2 2					14	2
		共通科目	情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータサイエンス	1 1 2	プログラミング基礎 ネットワーク初級	1 2					7	2
			共通必修	総合政策A 総合政策B	2 2							6	6
		入門科目	共通選択	ヒューマン・エコロジー コミュニケーション総論	2 2	システム論	2						
	学科導入		メディア情報入門	2	メディア制作演習 メディア制作演習	2 2					10	4	
	専攻科目	専攻科目基礎	情報化社会と人間 経済学概論 科学倫理 社会学概論	2 2 2 2	情報と法 サイバー社会論	2 2					12	8	
		学科共通科目			経営学 戦略的思考と合意形成	2 2	プロジェクト管理論 プロジェクト評価論 経営戦略論 会計学	2 2 2 2					
		所属学科/ 所属フィールド科目	他学科専攻科目			経営情報論 データベース ウェブと社会 ヒューマン・ソーシャルネットワーク メディア・リテラシー グローバルシステムダイナミクス	2 2 2 2 2 2	意思決定科学 情報セキュリティ ネットワークシステム論 知識情報処理 サイバースペースの法と倫理 アーカイブ・デザイン 感性情報	2 2 2 2 2 2 2	社会モデル分析	2	40	28
			他学科専攻科目			国際貿易と通貨	2	エコロジー政策 国際金融論 社会システム論	2 2 2			48	48
		演習科目	基礎演習	4			メディア工房Ⅰ	4					
	単位数合計			48		47		32		10	137	128	

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】国際政策学科の履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2		8					4	4	
		キリスト教B	2									
専門教育科目	専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅣまたはⅤ・Ⅵ	8	英語アドバンスト・トピックス	1		17	16	
		言語・文化・表現	英語文化論	2						2	2	
		数理・統計・調査	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	2 2	社会調査基礎論 総合政策のための数学	2 2	社会調査法	2		10	2	
		情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1						2	2	
		共通必修	総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2						6	6	
		共通選択	自然環境論	2								
	入門科目	学科導入	国際政策入門	2	国際政策演習 国際政策演習	2 2				8	4	
	専攻科目	専攻科目基礎	経済学概論 法学概論 戦後国際政治史 現代東アジア	2 2 2 2	政治学概論 日本史概説 日本経済論 情報と職業	2 2 2 2					16	8
		学科共通科目			経営学 会計学 ミクロ経済学 マクロ経済学 戦略的思考と合意形成 政策過程論	2 2 2 2 2 2	プロジェクト評価論 経営戦略論 企業行動論 経営組織論 企業法論	2 2 2 2 2		40	28	
		所属学科/ 所属フィールド科目			国際発展政策 国際貿易と通貨 国際関係論 国際政治学	2 2 2 2	国際公務員 国際貿易論 国際協力論	2 2 2	ストラテジック・マネジメント 外交政策	2 2		
		他学科専攻科目					市民参加・NPO/NGO論 経済地理学 都市マネジメント論 環境経済学 政策評価論	2 2 2 2 2			50	48
		演習科目	基礎演習	4			研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ 卒業論文	4 4	16	16
		単位数合計		42		44		33		12	131	128

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】都市政策学科の履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4	
		キリスト教B	2									
専門教育科目	専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅣまたはⅤ・Ⅵ	8				16	16	
		言語・文化・表現	英語文化論	2						2	2	
		数理・統計・調査	総合政策のための数学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	2 2 2	社会調査基礎論 データ解析Ⅰ	2 2	社会調査法	2		12	2	
		情報	コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1						2	2	
		共通必修	総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2						6	6	
		共通選択	自然環境論	2								
	入門科目	学科導入	都市政策入門	2	都市政策演習	2				6	4	
	専攻科目	専攻科目基礎	経済学概論 法学概論 日本経済論 自然科学史 現代建築デザイン論	2 2 2 2 2	政治学概論 地理学概論 文化人類学	2 2 2					16	8
		学科共通科目			経営学 ミクロ経済学	2 2	地域開発論	2				
		所属学科/ 所属フィールド科目			都市政策論 行政学 都市環境論 居住政策論 比較都市論 財政学 都市・農村計画 都市社会学	2 2 2 2 2 2 2 2	都市デザイン論 居住環境論 都市防災論 都市マネジメント論 市民再生論 市民参加・NPO/NGO論 都市行政論 社会システム論 都市財政論 GIS演習Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	過疎過密論 経済地理学	2 2	46	28
		他学科専攻科目			公共哲学 環境政策論	2 2	政策評価論 社会モデル分析	2 2	自然保護政策論	2	56	48
		演習科目	基礎演習	4			研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ 卒業論文	4 4	16	16
		単位数合計		46				32		14	136	128

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」・「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。

【2013年度以降入学生】都市政策学科に進学、一級建築士受験資格取得を目指す履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4	
		キリスト教B	2									
専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅡまたはⅣ・Ⅴ	8					16	16	
		言語・文化・表現		英語文化論	2						2	2
		数理・統計・調査				社会調査基礎論	2				2	2
		情報		コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1						2	2
	入門科目	共通必修		総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2						6	6
		共通選択		自然環境論 システム論	2 2						8	4
		学科導入		都市政策入門	2	都市政策演習	2					
	専門教育科目	専攻科目基礎	経済学概論	2							15	8
			法学概論	2								
			文化人類学	2								
建築数理の基礎			2									
アート&テクノロジー			2									
設計製図演習			1									
現代建築デザイン論			2									
歴史的建造物論		2										
学科共通科目								経営学	2			
専攻科目		所属学科/ 所属フィールド科目	建築構造力学Ⅰ	2	建築構造力学Ⅱ	2	建築環境工学	2			64	28
	建築構造力学Ⅱ		2	建築一般構造Ⅰ	2	建築環境工学実験	2					
	建築一般構造Ⅱ		2	建築一般構造Ⅱ	2	建築施工	2					
	建築一般構造Ⅲ		2	建築一般構造Ⅲ	2	建築設備	2					
	建築材料科学		2	建築材料科学	2	都市デザイン論	2					
	建築材料科学実験		1	建築材料科学実験	1	居住環境論	2					
	測量実習		1	測量実習	1	都市防災論	2					
	建築設計演習Ⅰ		2	建築設計演習Ⅰ	2	建築計画C	2					
	建築設計演習Ⅱ		2	建築設計演習Ⅱ	2	ランドスケープ・デザイン	2					
	都市政策論		2	都市政策論	2	福祉環境計画	2					
	建築計画A		2	建築計画A	2	建築法規	2					
	建築計画B		2	建築計画B	2	建築CAD演習	2					
	都市・農村計画		2	都市・農村計画	2	建築設計演習Ⅲ	2					
CAD/CG演習	1	CAD/CG演習	1	建築設計演習Ⅳ	2							
西洋建築史	2	西洋建築史	2	空間デザイン論	2							
日本建築史	2	日本建築史	2	比較都市論	2							
他学科専攻科目									64	48		
演習科目		基礎演習	4			研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ	4	16	16	
卒業論文								卒業論文	4			
単位数合計		47	43	35	10	135	128					

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。
 6. 太字は一級建築士受験資格取得のための必修科目。イタリック体は同選択科目。

【2017年度以降入学生】都市政策学科に進学、一級建築士受験資格取得を目指す履修例

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次		修得単位	卒業必要単位	
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
キリスト教科目		キリスト教A	2							4	4	
		キリスト教B	2									
専門基礎科目	言語教育科目	英語コミュニケーションⅠまたはⅡ・Ⅲ	8	英語コミュニケーションⅡまたはⅣ・Ⅴ	8					16	16	
		言語・文化・表現		英語文化論	2						2	2
		数理・統計・調査				社会調査基礎論	2				2	2
		情報		コンピュータ演習ⅠまたはⅢ コンピュータ演習Ⅱ	1 1						2	2
	入門科目	共通必修		総合政策A 総合政策B ヒューマン・エコロジー	2 2 2						6	6
		共通選択		自然環境論 システム論	2 2						8	4
		学科導入		都市政策入門	2	都市政策演習	2					
	専門教育科目	専攻科目基礎	経済学概論	2							15	8
			法学概論	2								
			文化人類学	2								
建築数理の基礎			2									
アート&テクノロジー			2									
設計製図演習			1									
現代建築デザイン論			2									
歴史的建造物論		2										
学科共通科目								経営学	2			
専攻科目		所属学科/ 所属フィールド専攻科目	建築構造力学Ⅰ	2	建築構造力学Ⅱ	2	建築環境工学	2			63	28
	建築構造力学Ⅱ		2	建築一般構造Ⅰ	2	建築環境工学実験	2					
	建築一般構造Ⅱ		2	建築一般構造Ⅱ	2	建築施工	2					
	建築一般構造Ⅲ		2	建築一般構造Ⅲ	2	建築設備	2					
	建築材料科学		2	建築材料科学	2	都市デザイン論	2					
	建築材料科学実験		1	建築材料科学実験	1	居住環境論	2					
	測量実習		1	測量実習	1	都市防災論	2					
	建築設計演習Ⅰ		2	建築設計演習Ⅰ	2	建築計画C	2					
	建築設計演習Ⅱ		2	建築設計演習Ⅱ	2	ランドスケープ・デザイン	2					
	都市政策論		2	都市政策論	2	福祉環境計画	2					
	建築計画A		2	建築計画A	2	建築法規	2					
	建築計画B		2	建築計画B	2	建築CAD演習	2					
	都市・農村計画		2	都市・農村計画	2	建築設計演習Ⅲ	2					
CAD/CG演習	1	CAD/CG演習	1	建築設計演習Ⅳ	2							
西洋建築史	2	西洋建築史	2	空間デザイン論	2							
日本建築史	2	日本建築史	2	比較都市論	2							
他学科専攻科目									63	48		
演習科目		基礎演習	4			研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ	4	16	16	
卒業論文								卒業論文	4			
単位数合計		47	42	35	10	134	128					

- (注)
 1. この表は参考例です。必ずしも記載のとおり科目を修得する必要はありません。
 2. この表の「学年」「年次」は、履修基準年度とは異なります。
 3. この表に記載されている科目は、年度によっては不開講になる場合があります。
 4. 先修条件が設定されている科目があるので、履修の際は注意してください。
 5. 留学生・編入学生については、この表は対応していません。あくまで参考としてください。
 6. 太字は一級建築士受験資格取得のための必修科目。イタリック体は同選択科目。

VI. 全学科目申込・履修についての諸注意

☆総合政策学部生が全学科目の単位を修得した場合は、自由選択科目の卒業必要単位として算入できます。
(一部、卒業必要単位として算入できない科目があるためP.43を確認すること)

2020年度 全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。
履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

■優先申込について

予備登録（申込）より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。
※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対象者	教育職員免許状取得のために履修する必要がある 3年生以上 の未履修者
対象科目	「体育方法学講義C」・「体育方法学演習C」
申込方法	教学 Web サービス（URL： https://webinfo.kwansei.ac.jp/ ） ※講義・演習科目ともに第2希望まで申し込むことができます。
発表	教学 Web サービス

◆春学期：申込期間 2020年3月24日(火) 8:50～3月25日(水) 16:50締切
発表 2020年3月27日(金) 8:50～

◆秋学期：申込期間 2020年9月7日(月) 9:00～9月8日(火) 16:00締切
発表 2020年9月10日(木) 9:00～

I. 申込にあたっての注意事項

1. 1学期（春学期又は秋学期）に履修できる科目は講義1科目、演習1科目の2科目4単位までです。
2. 同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
例)【スポーツ科学演習A1：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習A21：バドミントン】を履修できません（同じ「スポーツ科学演習A」であるため）。
3. 講義科目は開講科目数まで、演習科目は第5希望まで申し込むことができます。
(ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと)
4. 科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものが 있습니다。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。

※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため
履修の中止を申請することはできません。
学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. 卒業要件との関係

全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

2. 教職課程を履修する場合

スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ1科目2単位の合計2科目4単位を選択し履修しても構いません。

※理工学部生、総合政策学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修してください。

※優先申込制度があります（教育学部を除く）。

※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3. 養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習C」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期 2020年4月3日(金) 16:50まで

秋学期 2020年9月8日(火) 16:00まで

4. 集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習C（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習D（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5. 演習科目の履修についての諸注意

1) 第1回目の授業

演習科目の第1回目の授業はオリエンテーションを行います。**更衣はせず**に下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

学期	科目名	集合場所
春	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2 F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※
秋	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2 F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

2) 授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ヶ原キャンパス：当日、総合体育館 1 F エントランスホールの掲示板上にて指示。

神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3) 受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4) 「総合体育館」（西宮上ヶ原キャンパス）および「体育館アリーナ」（神戸三田キャンパス）の利用際の注意事項

①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。

②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。

③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5) 成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、レポート等により総合評価します（講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください）。

≪情報科学科目≫

情報科学科目の一部の科目以外は、申込み手続きが必要です。履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 申込グループ

以下の5グループにつき、1学期間にそれぞれ1クラスずつ、合計5クラス履修できます。ただし、予備登録（申込）後に定員に余裕があり、追加募集を行う場合はこの限りではありません。

グループ	科目
コンピュータ基礎	コンピュータ基礎
コンピュータ実践	表計算、データ分析
プログラミング言語基礎（1）	C（秋のみ）、Excel VBA（春のみ）、Java、JavaScript、Python
プログラミング言語基礎（2）	ActionScript、Processing
プログラミング言語応用	PHP

予備登録（申込）時には各グループにつき、最大第3希望のクラスまで申し込むことができます。なお、履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
プログラミング言語基礎（C）	コンピュータ言語（C言語） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎（Java）	コンピュータ言語（Java言語） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎（Excel VBA）	コンピュータ実践（Excel VBA） 《2019年度まで開講》
プログラミング言語応用（PHP）	コンピュータ実践（Web コンピューティング） 《2019年度まで開講》 コンピュータ実践（データベース） 《2011年度まで開講》

II. 履修にあたっての諸注意

- 「コンピュータ実践」、「プログラミング言語基礎」、「プログラミング言語応用」は、すでにある程度のコンピュータに関する知識や利用経験を持つ学生を対象として開講するもので、「コンピュータ基礎」の授業内容を踏まえた科目です。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word、Excel等の入力程度しか経験がない学生はまず「コンピュータ基礎」を履修してください。
- 所属学部により次のとおり履修できない科目があるので注意してください。

所属学部	履修できない科目
文学部、教育学部	コンピュータ基礎
理工学部	全科目の情報科学科目のすべての科目
総合政策学部	コンピュータ基礎、文科系学生のための情報技術入門、情報技術概論

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 「AI 活用データサイエンス実践演習 I」	「AI 活用入門」
「AI 活用発展演習 I」	「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習 II」	「AI 活用データサイエンス実践演習 I」
「AI 活用発展演習 II」(2020年度不開講)	「AI 活用発展演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習 II」 のすべての科目

2. 集中講義

- 1) 集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。
- 2) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

3. 開講キャンパス

科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

4. 履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用していない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。
2. AI 活用人材育成科目では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC (Microsoft Windows 10、または Mac OS X 10.8以上) を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク (持込デバイス用 (無線) KGU-WLAN) の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』」のページを参照してください。

《ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、別途募集要項が公開されるので、要項も熟読し、内容を確認の上で履修申し込みをしてください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
・ライフ・キャリア リーダーシップ実習	・ハンズオン・インターンシップ実習
・インターンシップ実習	・キャリアゼミB
・海外インターンシップ	・キャリアゼミC
(* CIEC『国際教育・協力プログラム募集要項』参照)	・霞が関セミナー

I. 申込にあたっての諸注意

1. 同一名称科目

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分(インターンシップ講義) 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》
海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)	海外インターンシップ 《2017年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (石川)	ハンズオン・インターンシップ実習(石川・能登) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山)	ハンズオン・インターンシップ実習(岡山・笠岡) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪)	ハンズオン・インターンシップ実習(大阪・尼崎) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (兵庫)	ハンズオン・インターンシップ実習(大阪・尼崎) 《2018年度まで開講》

2. インターンシップ実習

キャリアセンター提供の「KG 枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、詳細は、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. 海外インターンシップ

国際教育・協力センターが募集・実施する「短期海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)」、「短期海外インターンシップ(ベトナム・ハノイ)」に参加し、その取り組み内容を成績評価します。プログラムの実施内容・申込みについては、国際教育・協力センターが発行する『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

(<https://ciec.kwansei.ac.jp/abroad/preparation/internationaleducation/>)

4. ハンズオン・インターンシップ実習

夏休みや春休みの約6週間にわたって実施する実践的なインターンシッププログラムです。科目を地域毎に開講するので、異なる地域であれば重複履修は可能です。

5. 集中講義

1) 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申込ができません。

「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「キャリアゼミB」「海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)1」「海外インターンシップ(ベトナム・ハノイ)」「インターンシップ実習1」「ハンズオン・インターンシップ実習1」

2) 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申込ができません。

「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)2」「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」

3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)2」「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」

II. 履修にあたっての諸注意

1. ライフ・キャリア リーダーシップ実習

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度ライフ・キャリア リーダーシップ実習募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費（約5,000円）の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

〈2020年度「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」開講予定日〉

6月20日(土) : 事前学修
8月6日(木)～8月7日(金) : 東京での合宿
9月16日(水) : 事後学修

2. インターンシップ実習 <春学期集中・秋学期集中>

事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後研修の出席が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申込が可能です。詳細については、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. ハンズオン・インターンシップ実習 <春学期集中・秋学期集中>

<春学期>

5月に履修説明会、6月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。

なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

<秋学期>

10月に説明会、11月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

4. キャリアゼミA

- ・履修にあたっては、参加費（約2,000円）の納入が必要です。
- ・本科目は木曜日（神戸三田）、金曜日（西宮上ヶ原）だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

〈2020年度「キャリアゼミA」開講予定日〉

上ヶ原開講：4月10日(金)、4月17日(金)、4月24日(金)、5月8日(金)、5月22日(金)、5月29日(金)、
6月12日(金)、6月19日(金)、6月26日(金)、7月3日(金)、7月10日(金)
三田開講：4月9日(木)、4月16日(木)、4月23日(木)、5月7日(木)、5月21日(木)、5月28日(木)、
6月11日(木)、6月18日(木)、6月25日(木)、7月2日(木)、7月9日(木)
合同開講：5月16日(土)、7月4日(土)

5. キャリアゼミB <春学期集中>

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミB募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、実習先への往復交通費、食費等が必要です。

〈2020年度「キャリアゼミB」開講予定日〉

8月1日(土) : 事前学修
8月8日(土)～8月10日(月) : 大阪梅田キャンパスでの集中講義
8月11日(火) : 事後学修

6. キャリアゼミC <秋学期集中>

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミC募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費（約12,000円）の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

〈2020年度「キャリアゼミC」開講予定日〉

2月26日(金) : 事前学修
3月1日(月)～3月5日(金) : 東京での合宿
3月8日(月) : 事後学修

7. 霞が関セミナー <秋学期集中>

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度霞が関セミナー募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費（約8,000円）の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。
- ・プログラム中は、原則としてスーツ着用となります。

◀2020年度「霞が関セミナー」開講予定日▶	
1月30日(土)	: 事前学修
2月16日(火)～2月19日(金)	: 東京での合宿
3月11日(木)	: 事後学修

◀基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]▶

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

募集要項を別途作成・公表する科目
●平和学特別演習「ヒロシマ」
●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）
●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）
●PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】
●PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】
●PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
人権教育科目016【人権問題演習】	人権教育科目001～015、017のうち、1科目以上
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）、または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）、社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）、または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）	社会探究実践演習Ⅰ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）
社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権A】 人権教育科目015【障害と人権B】
スタディスキルセミナー（論文作成）	スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）
PBL 特別演習007【阪急阪神HD(株)と挑む社会課題】	PBL 特別演習007【阪急阪神ホールディングス(株) 社会課題解決PJ】
PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001【福島から原発を考える】

3. 集中講義の申し込みについて

- 1) 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申請ができません。
＜共通教育センター＞
連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014
＜ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)＞
平和学特別演習「ヒロシマ」、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）1、
PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】
PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】
PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】
- 2) 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申請ができません。
＜ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)＞
社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）2、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）
- 3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。
- 4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）2、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）

II. 履修にあたっての諸注意

＜共通教育センター＞

「連携講座006（早期臨床体験実習）」

受講には4種（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の2回接種歴があることを原則とする。ワクチン接種実施証明書（医療機関等での証明又は母子手帳（写））を提出すること。4月の時点で2回の接種歴がない場合は抗体検査を行い、検査結果に応じて必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体検査は自費となるため注意すること（金額9,730円）。受講者には教学 Web サービスで連絡します。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に7月中旬頃教学 Web サービスで連絡をするので注意してください。

「連携講座006（早期臨床体験実習）」「連携講座008（医療入門）」

「連携講座009（東洋医学入門）」「連携講座014（臨床ゲノム医学入門）」

＜ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)＞

1. 「平和学特別演習『ヒロシマ』」 ＜春学期集中＞

・『2020年度「平和学特別演習『ヒロシマ』」募集要項』を確認の上、応募してください。

・実施日程は8月3日(月)～8月7日(金)。5月23日(土)、7月4日(土)〈予定〉に、事前学修を2回実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度（予定）必要です。

2. ハンズオン・プラクティス

1クラス ＜春学期集中＞

隔週土曜日を中心に開講します。5月9日(土)～5月10日(日)、6月27日(土)～6月28日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度（予定）必要です。

2クラス ＜秋学期集中＞

隔週土曜日を中心に開講します。10月24日(土)～10月25日(日)、12月12日(土)～12月13日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度（予定）必要です。

3. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）」

『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）」募集要項』を確認の上、応募してください。

1クラス ＜春学期集中＞

実施日程は8月8日(土)～8月14日(金)。5～7月に数回事前学修を実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

2クラス ＜秋学期集中＞

実施日程は2月23日(火)～2月28日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

4. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）」 ＜秋学期集中＞

・『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）」募集要項』を確認の上、応募してください。

- ・実施日程は2月9日(火)～2月14日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
 - 5. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)」 <春学期・秋学期>
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。
 - 6. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(朝来・竹田城下町活性化PJ)」 <春学期・秋学期>
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、交通費、宿泊費等の諸費用として25,000円程度(予定)が必要です。
 - 7. 「PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】」 <春学期集中>
 - ・『2020年度 PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】募集要項』を確認の上、応募してください。
 - ・6月に事前学修を実施し、8月上旬にJETROの職員を講師に招いて4日間授業実施予定です。スケジュールはシラバスや募集要項を参照してください。
 - 8. 「PBL 特別演習004【富士ゼロックス兵庫(株)「志プロジェクト」】」
県内に本社を置く企業の課題解決に取り組むプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します(2019年度協力企業は(株)トリプロ・プラス、(株)阪急ハロードッグの2社)。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。
 - 9. 「PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」 <春学期集中>
 - ・5月下旬発行予定の『2020年度 PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】募集要項』を確認の上、応募してください。
 - ・プログラム中は、原則スーツ着用となります。
- <2020年度「PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」開講予定日>

7月下旬(予定)：事前学修

8月下旬(予定)：プログラム実施

9月上旬(予定)：事後学修
- 10. 「PBL 特別演習007【阪急阪神HD(株)と挑む社会課題】」
阪急阪神ホールディングス(株)と連携し、地域や社会における課題に対する事業提案に、チームで挑戦するプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。
 - 11. 「PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】」 <秋学期集中>
『2020年度「PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】」募集要項』を確認の上、応募してください。
実施日程は、8月24日(月)～8月29日(土)(予定)。なお、宿泊代等の諸費用として23,000円程度(予定)が必要です。(交通費、食費等を除く)
 - 12. 「PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】」 <春学期・秋学期>
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は原則自己負担です。

2020年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について

2020年度の全学科目の開講は以下のとおりです。

履修登録については、下記とともに、P.61以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり

共通教育センター（教務機構）…共通 スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）…スポ
言語教育研究センター（教務機構）…言セン ハンズオン・ラーニングセンター…HoLC
国際教育・協力センター、日本語教育センター…CIEC 国連・外交統括センター…国連・外交

◎申込方法

A	Webでの予備登録のみ	日程：春学期 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50 発表：4/6(月)8:50 秋学期 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 発表：9/16(水)8:50
B	Webでの予備登録 +担当窓口への英語要件 スコア原本持参	スコア原本持参期間はWeb予備登録と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の学生はWebでの予備登録のみで可
■	別日程での申し込み期間は 各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口：言セン…『Language Programs 2020インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC…教学Web、各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交…教学Web、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web本登録・修正期間にWeb登録	

*注意事項に※のあるものは、P.61以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。

*予備登録科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学Webを適宜確認してください。

*担当窓口 言セン、HoLCについては、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。

*CIEC提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春 言語教育科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語 I A	1~10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語 I B	1~10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語 II A	1~10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語 II B	1~10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1~5	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり（入学前）
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	31~60	春	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	1~7	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	1~2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	1~2	春	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	1~2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	1~2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	1~2	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	1~4	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (IELTS)	1~3	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ケ原	75	9/7~11の5日間 予備日9/12
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1~3	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1~2	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
A		言セン	基礎フランス語Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	40	
		言セン	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	

A		共通	コンピュータ基礎	10	後藤 達也	2	1	水 5	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	11	谷村 要	2	1	金 5	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	12	近藤 晶子	2	1	火 2	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	1	玉本 拓郎	2	1	水 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	2	谷村 要	2	1	金 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	3	森際 孝司	2	1	月 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	4	周防 節雄	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	5	島野 達雄	2	1	月 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	6	島野 達雄	2	1	月 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	7	島野 達雄	2	1	水 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	8	内田 啓太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	9	箱井 英寿	2	1	金 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	10	高田 茂樹	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	11	高田 茂樹	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	1	周防 節雄	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	2	箱井 英寿	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A	*	共通	コンピュータ実践 (データ分析)	3	池田 瑞穂	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	1	鍵本 聡	2	1	水 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	2	鍵本 聡	2	1	水 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	3	森 巧尚	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	4	森 巧尚	2	1	火 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Excel VBA)		古隅 弘樹	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	1	岩田 一男	2	1	火 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	1	西本 実苗	2	1	月 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	2	西本 実苗	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	1	鍵本 聡	2	1	水 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	2	高田 茂樹	2	1	月 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	3	高田 茂樹	2	1	月 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	1	後藤 達也	2	1	水 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	1	池田 瑞穂	2	2	木 3	西宮上ケ原	30	
		共通	文科系学生のための情報技術入門	1	高田 茂樹	2	1	月 2	西宮上ケ原	—	
		共通	情報技術概論	1	池田 瑞穂	2	1	木 2	西宮上ケ原	—	
春 AI 活用人材育成科目 (P. 61【全学科目申込・履修についての諸注意】を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI 活用入門	1	西野 均	2	1	火 4	西宮上ケ原	150	
A		共通	AI 活用入門	2	西野 均	2	1	水 4	西宮上ケ原	150	
A		共通	AI 活用入門	3	巳波 弘佳	2	1	火 2	神戸三田	150	
A		共通	AI 活用導入演習 A	1	西野 均	2	1	火 1	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 A	2	西野 均	2	1	木 4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	1	西野 均	2	1	水 1	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	2	西野 均	2	1	木 5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)	1	隼山 真矢	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)	1	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用実践演習 C (Web デザイン)	1	隼山 真矢	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 I	1	西野 均	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 II	1	西野 均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
春 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言ゼン	Language and Communication	1～7	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言ゼン	Culture and Society	1～8	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言ゼン	Academic Writing and Presentation	1～3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Career English)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1～3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	1～5	春	2	1		上ケ原・三田	24	
A		CIEC	プロジェクトマネジメント I	1～2	春集中	2	1		西宮上ケ原	24	
		CIEC	国際環境論		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	世界市民論		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルゼミ A	1～5	春	2	1		上ケ原・三田	20	
A		CIEC	グローバルゼミ B	1	春	2	3		西宮上ケ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象
		CIEC	カナダ研究入門 A		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春後半	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
		CIEC	北欧研究入門		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1～4	春	2	1		上ケ原・三田	45	
B		CIEC	総合日本学習科目		春・春集中	2～3	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		春	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
		CIEC	日本史概略		春	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
A		CIEC	日本語教育基礎	1～2	春	2	1		西宮上ケ原	40	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ケ原	20	

■		国連・外交	国連・外交入門（開発）		春	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象	
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり。 MS 国連・外交プログラム履修許可者対象	
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ケ原・東ティモール	10	選考あり。 詳細は教学 Web、募集要項等参照	
春 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口 悟	2	1	水 3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	富岡 克彦	2	1	木 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	富岡 克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A【日本企業編】	1	石田 秀朗	2	1	金 4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A【日本企業編】	2	石田 秀朗	2	1	金 5	西宮上ケ原	42		
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺 一成	2	1	火 1	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	石田 典子	2	1	火 3	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	石田 典子	2	1	火 4	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺 一成	2	1	金 1	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺 一成	2	1	火 3	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺 一成	2	1	火 4	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	石田 典子	2	1	木 3	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	石田 典子	2	1	木 4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺 一成	2	1	金 3	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺 一成	2	1	金 4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺 一成	2	1	木 3	神戸三田	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺 一成	2	1	木 4	神戸三田	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	勝又 あずさ	2	2	水 4	西宮上ケ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	勝又 あずさ	2	2	水 2	神戸三田	30		
■	※	HoLC	ライフ・キャリア リーダーシップ実習		勝又 あずさ	2	1	集中	西宮上ケ原・神戸三田・東京	20	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	勝又 あずさ	1	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照	
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	1	森 隆史	2	1	金 4	西宮上ケ原	45	土曜日にも数回授業あり	
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	2	森 隆史	2	1	木 4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり	
■	※	HoLC	キャリアゼミ B		森 隆史	2	1	集中	上ケ原・大阪	40	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）	1	勝又 あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照	
■	※	HoLC	海外インターンシップ（ベトナム・ハノイ）		勝又 あずさ	2	1	集中	ハノイ	20	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（岩手）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（福井）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	福井県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（石川）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	石川県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（岡山）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（大阪）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習（兵庫）	1	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間 受入企業・団体でインターン	
春 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「開学」学	関西学院の歴史	1	嶺重 淑	2	1	月 4	西宮上ケ原	300	
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権 A		高島 千代	2	1	火 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権 A		倉島 哲	2	1	火 3	西宮上ケ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田 有希子	2	1	金 2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権 A		宮下 博幸	2	1	月 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見 和志	2	1	木 5	神戸三田	200	
A		共通	災害復興学入門	「人間の復興」の視点で被災者支援を考える		斉藤 容子	2	1	金 2	西宮上ケ原	100	
		共通	総合コース213	21世紀の日本研究		桑山 敬己	2	2	木 1	西宮上ケ原	—	
		共通	総合コース536	グローバル世界に発信する「日本文化の魅力」の教育意義と教育体験		峯岸 由治	2	1	木 5	西宮上ケ原	—	
A		共通	総合コース807	Mastery for Service のリーダーシップ		佐藤 善信	2	1	火 4	西宮上ケ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡 克尚	2	1	火 5	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門 A		鈴木 敬一郎	2	1	火 3	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木 敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木 敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴 毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
		共通	連携講座013	ソーシャル・イノベーション		実 哲也	2	1	火 5	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学入門		大村谷 昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		1	渡辺 一成	2	1	月 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		2	渡辺 一成	2	1	月 2	西宮上ケ原	30	

A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	3	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ケ原	30	
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	4	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ケ原	30	
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	5	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	6	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	1	時任 隼平	2	1	火5	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	2	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	3	西口 啓太	2	1	金3	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	4	西口 啓太	2	1	金4	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	5	西口 啓太	2	1	木3	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	6	西口 啓太	2	1	金2	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	7	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	8	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	9	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	10	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	11	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	12	福山 佑樹	2	1	木5	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	13	三井 規裕	2	1	月3	西宮上ケ原	20
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	14	三井 規裕	2	1	月4	西宮上ケ原	20
A	共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	1	中村 正憲	2	1	木3	西宮上ケ原	20	
A	共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	2	中村 正憲	2	1	木4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	1	三井 規裕	2	1	月2	西宮上ケ原	30
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	2	三井 規裕	2	1	火3	西宮上ケ原	30
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」	澤村 雅史	2	1	集中	上ケ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス	木本 浩一	2	1	集中	上ケ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A	HoLC	社会探究入門	1	木本 浩一	2	1	火3	西宮上ケ原	45	
A	HoLC	社会探究入門	2	奥貫 麻紀	2	1	水2	西宮上ケ原	45	
A	HoLC	社会探究入門	3	木本 浩一	2	1	水2	神戸三田	45	
A	HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)	1	時任 隼平	2	1	金3	西宮上ケ原	30	
A	HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)	2	時任 隼平	2	1	月2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (瀬戸内海・豊島環境 FW)	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW)	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】	シュラーデ	2	1	集中	上ケ原・梅田	50	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】	勝又 あずさ 塩見 優子	2	1	集中	西宮上ケ原・大阪	40	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神 HD ㈱と挑む社会課題】	奥貫 麻紀	4	1	水4 水5	西宮上ケ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】	村尾 信尚 時任 隼平	2	1	集中	上ケ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】	奥貫 麻紀	2	1	火2	上ケ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	奥貫 麻紀	4	1	木3 木4	上ケ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	奥貫 麻紀	4	1	木3 木4	上ケ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

春学期集中科目は、2020年度春学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・プラクティス」を除く)ただし、CCCプログラム (Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者で CIEC 開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC 事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

秋	言語教育科目										
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言ゼン	入門英語ⅠA	11~20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言ゼン	入門英語ⅠB	11~20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言ゼン	入門英語ⅡA	11~20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言ゼン	入門英語ⅡB	11~20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言ゼン	インテンシブ・イングリッシュ	1~30	秋	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言ゼン	Skills-based English (Basic)	8~14	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言ゼン	Skills-based English (Speaking & Listening)	3~4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言ゼン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	2~4	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Writing) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Writing) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Reading) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Reading) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Academic) L3	3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Academic) L4	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Business A) L2	3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言ゼン	Skills-based English (Business B) L2	2~3	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
A		言ゼン	Skills-based English (TOEFL)	3~6	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言ゼン	Skills-based English (TOEFL) L2	3~4	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言ゼン	Skills-based English (TOEIC)	5~8	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言ゼン	Skills-based English (TOEIC) L2	2~3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言ゼン	Skills-based English (IELTS)	4~5	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	
■		言ゼン	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1~3	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■		言ゼン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2~3	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり

■	言ゼン	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■	言ゼン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1~2	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■	言ゼン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■	言ゼン	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
	言ゼン	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	フランス語アラカルト(読む)	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	フランス語アラカルト(書く)	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
A	言ゼン	フランス語アラカルト(聞く・話す)A	3	秋	1	1		西宮上ケ原	30	
	言ゼン	フランス語アラカルト(聞く・話す)B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	フランス語アラカルト(聞く・話す)C	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	ドイツ語アラカルト(読む)	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	ドイツ語アラカルト(書く)	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	ロシア語初級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	イタリア語初級Ⅰ	5~6	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	イタリア語初級Ⅱ	2~4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	イタリア語初級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	スペイン語中級	2~3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	ポルトガル語初級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
	言ゼン	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	アラビア語初級	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	基礎中国語Ⅱ	1・2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	中国語中級	3~4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	朝鮮語初級Ⅱ	1~3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	朝鮮語中級	1~2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	インドネシア語初級Ⅱ	1~2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	インドネシア語初級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
	言ゼン	日本手話初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A	CIEC	ビジネス日本語A	2~3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
秋	CIEC	ビジネス日本語C	2~3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

※ スポーツ科学・健康科学科目 (P.61「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者/コディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	2	中山 悌一	2	1	金 3	西宮上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石 高敏	2	1	月 5	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	満畑 潤	2	1	木 1	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	4	山下 伸一	2	1	水 3	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島 規郎	2	1	木 1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島 規郎	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島 規郎	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	浦田 達也	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	山本 浩二	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田 秀臣	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	仲田 秀臣	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	森 祐貴	2	1	月 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	13	中山 悌一	2	1	木 1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	14	中山 悌一	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	浦田 達也	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森 祐貴	2	1	月 1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見 和至	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本 浩二	2	1	金 3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上 光宣	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	笹場 育子	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習B	トレーニング	1	中山 悌一	2	1	金 1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林 直也	2	1	水 2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	甲斐 知彦	2	1	月 1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	森 祐貴	2	1	月 3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	笹場 育子	2	1	火 1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	15	林 直也	2	1	水 1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	16	木谷 織信	2	1	火 1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	17	木谷 織信	2	1	火 2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	18	木谷 織信	2	1	火 3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	19	山下 伸一	2	1	水 1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	20	山下 伸一	2	1	水 2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	21	満畑 潤	2	1	金 1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	22	満畑 潤	2	1	金 2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	23	満畑 潤	2	1	金 3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア(スキー・スノーボード)	1~4	佐藤 博信	2	1	集中	西宮上ケ原・学外	32(各8)	9月~1月に3回事前授業あり 2月実施

秋 情報科学科目 (P.61「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者/ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		共通	コンピュータ基礎	15	岩田 一男	2	1	水 1	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	16	岩田 一男	2	1	水 2	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	17	岩田 一男	2	1	水 3	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	18	古隅 弘樹	2	1	金 1	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	19	西本 実苗	2	1	火 3	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	20	西本 実苗	2	1	火 4	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	21	西本 実苗	2	1	火 5	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	22	玉本 拓郎	2	1	水 4	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	23	橋本 幸枝	2	1	金 4	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	24	後藤 達也	2	1	水 5	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	25	谷村 要	2	1	金 5	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	26	近藤 晶子	2	1	火 2	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	27	近藤 晶子	2	1	火 4	西宮上ケ原	78	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	13	玉本 拓郎	2	1	水 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	14	谷村 要	2	1	金 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	15	森際 孝司	2	1	月 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	16	森際 孝司	2	1	月 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	17	周防 節雄	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	18	島野 達雄	2	1	月 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	19	島野 達雄	2	1	月 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	20	島野 達雄	2	1	水 3	西宮上ケ原	30	
A	*	共通	コンピュータ実践 (表計算)	21	内田 啓太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	22	箱井 英寿	2	1	金 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	23	高田 茂樹	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	24	高田 茂樹	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	4	後藤 達也	2	1	水 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	5	周防 節雄	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	6	箱井 英寿	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	5	鍵本 聡	2	1	水 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	6	鍵本 聡	2	1	水 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	7	森 巧尚	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (C)		古隅 弘樹	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	2	岩田 一男	2	1	火 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	3	西本 実苗	2	1	月 5	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	4	西本 実苗	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	4	鍵本 聡	2	1	水 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	5	高田 茂樹	2	1	月 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	6	高田 茂樹	2	1	月 3	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	2	池田 瑞穂	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	3	森 巧尚	2	1	火 4	西宮上ケ原	30	
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	2	池田 瑞穂	2	2	木 3	西宮上ケ原	30	
		共通	文科系学生のための情報技術入門	2	高田 茂樹	2	1	火 5	西宮上ケ原	—	
		共通	情報技術概論	2	池田 瑞穂	2	1	木 2	西宮上ケ原	—	
秋 AI 活用人材育成科目 (P.61「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		共通	AI 活用入門	4	西野 均	2	1	火 4	西宮上ケ原	150	
A		共通	AI 活用入門	5	西野 均	2	1	木 4	西宮上ケ原	150	
A		共通	AI 活用入門	6	日波 弘佳	2	1	水 3	神戸三田	150	
A		共通	AI 活用導入演習 A	3	西野 均	2	1	火 1	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 A	4	西野 均	2	1	水 4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	3	西野 均	2	1	木 2	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A	*	共通	AI 活用導入演習 B	4	西野 均	2	1	水 5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)	2	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI 活用実践演習 C (Web デザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 I	2	西野 均	2	2	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 II	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI 活用発展演習 I		西野 均	2	3	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、2月~3月予定
秋 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修 基準 年度	英語 実施	開講場所	受講者 数制限	特記事項
B		言ゼン	Language and Communication	8~16	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言ゼン	Culture and Society	9~18	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言ゼン	Academic Writing and Presentation	4~6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3~5	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Career English)	3~4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言ゼン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4~6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	6~10	秋	2	1		上ケ原・三田	24	

		CIEC	教育開発論		秋	2	1			西宮上ケ原	—	
A		CIEC	プロジェクトマネジメント I	3~4	秋集中	2	1			西宮上ケ原	24	
A		CIEC	グローバルゼミA	6~10	秋	2	1			上ケ原・三田	20	
A		CIEC	グローバルゼミB	2	秋	2	3			西宮上ケ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5~8	秋	2	1			上ケ原・三田	45	
		CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1			西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎		西宮上ケ原	—	
B		CIEC	総合日本学習科目		秋・秋集中	2	1	◎		西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		秋・秋集中	2	1	◎		西宮上ケ原	100	
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎		西宮上ケ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	3~4	秋	2	1			上ケ原・三田	40	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1			西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門(平和・人権・人道)		秋	2	2	◎		西宮上ケ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1			西宮上ケ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎		西宮上ケ原	15	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
秋 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口 悟	2	1	水2	西宮上ケ原	250	[社会の中の自分(インターシップ履修)]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口 悟	2	1	水3	西宮上ケ原	250	[社会の中の自分(インターシップ履修)]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	冨岡 克彦	2	1	木2	西宮上ケ原	250	[社会の中の自分(インターシップ履修)]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	冨岡 克彦	2	1	水4	神戸三田	250	[社会の中の自分(インターシップ履修)]の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	3	石田 秀朗	2	1	金4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	4	石田 秀朗	2	1	金5	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	1	勝又 あずさ	2	1	火2	西宮上ケ原	120		
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	2	勝又 あずさ	2	1	火3	西宮上ケ原	120		
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	渡辺 一成	2	1	火1	西宮上ケ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	石田 典子	2	1	火3	西宮上ケ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	石田 典子	2	1	火4	西宮上ケ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺 一成	2	1	金1	西宮上ケ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺 一成	2	1	火3	神戸三田	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	12	渡辺 一成	2	1	火4	神戸三田	42	[グローバルキャリアデザイン入門]の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	7	石田 典子	2	1	木3	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	8	石田 典子	2	1	木4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	9	渡辺 一成	2	1	金3	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	10	渡辺 一成	2	1	金4	西宮上ケ原	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	11	渡辺 一成	2	1	木3	神戸三田	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	12	渡辺 一成	2	1	木4	神戸三田	42		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	3	勝又 あずさ	2	2	水4	西宮上ケ原	30		
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	4	勝又 あずさ	2	2	水2	神戸三田	30		
■	※	HoLC	インターンシップ実習	2	勝又 あずさ	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	キャリアゼミC		森 隆史	2	1	集中	上ケ原・東京	40	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	霞が関セミナー		勝又 あずさ	2	1	集中	上ケ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照	
■	※	HoLC	海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)	2	勝又 あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(岩手)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(福井)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	福井県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(石川)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	石川県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(岡山)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(大阪)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(兵庫)	2	木本 興貴 浩一 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
秋 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「開学」学	関西学院の歴史	2	嶺重 淑	2	1	月4	西宮上ケ原	300	
		共通	「開学」学	関西学院の歴史	3	細見 和志	2	1	火5	神戸三田	—	
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権B		高島 千代	2	1	火4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権B		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目007	人権と共生		村瀬 義史	2	1	木5	神戸三田	—	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井 由起子	2	1	月2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権B		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ケ原	—	
A	※	共通	人権教育科目016	人権問題演習		阿部 潔	2	1	月4	西宮上ケ原	24	先修条件あり
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷 正登	2	1	木3	西宮上ケ原	150	
A		共通	災害復興学	一人ひとりに着目した「人間復興」の学問的理論を考える		斉藤 容子	2	1	金2	西宮上ケ原	100	

A	共通	総合コース214	地方創生・地域再生論	大熊 省三	2	2	月5	西宮上ケ原	50		
	共通	寄附講座206	大学とスポーツ	岡田 太志	2	1	金1	西宮上ケ原	—		
	共通	連携講座002	たからづか学	佐竹 隆幸	2	1	木4	西宮上ケ原	—		
	共通	連携講座005	医学入門B	辻村 亨	2	1	水4	西宮上ケ原	—		
	共通	連携講座016	地域メディア論	佐藤 善信	2	1	火4	西宮上ケ原	—		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	7	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ケ原	30		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	8	渡辺 一成	2	1	月2	西宮上ケ原	30		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	9	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ケ原	30		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	10	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ケ原	30		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	11	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ケ原	30		
A	共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	12	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	15	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	16	西口 啓太	2	1	月3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	17	西口 啓太	2	1	月4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	18	西口 啓太	2	1	火2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	19	西口 啓太	2	1	火3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	20	西口 啓太	2	1	火4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	21	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	22	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	23	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	24	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	25	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	26	福山 佑樹	2	1	木5	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	27	三井 規裕	2	1	金3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	28	三井 規裕	2	1	金4	西宮上ケ原	20	
A	共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	3	中村 正憲	2	1	木3	西宮上ケ原	20		
A	共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	4	中村 正憲	2	1	木4	西宮上ケ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	3	三井 規裕	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	4	三井 規裕	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス	2	木本 浩一	2	1	集中	上ケ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A	HoLC	社会探究入門	4	木本 浩一	2	1	火3	西宮上ケ原	45		
A	HoLC	社会探究入門	5	奥貫 麻紀	2	1	水2	西宮上ケ原	45		
A	HoLC	社会探究入門	6	木本 浩一	2	1	水2	神戸三田	45		
A	HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)	1	時任 隼平	2	1	月2	西宮上ケ原	30		
A	HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)	2	時任 隼平	2	1	火2	神戸三田	30		
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (瀬戸内海・豊島環境 FW)	2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (広島・江田島平和 FW)	2	木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW)	2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (広島・江田島平和 FW)	2	木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習004 【富士ゼロックス兵庫㈱「志プロジェクト」】	時任 隼平	4	1	月4 月5	西宮上ケ原	24	学期期間中に数回企業訪問あり	
A	HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】	1	西元 涼	2	1	月5	西宮上ケ原	25		
A	HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】	2	西元 涼	2	1	月3	神戸三田	25		
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】	2	奥貫 麻紀	2	1	火2	上ケ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)	2	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	2	奥貫 麻紀	4	1	木3 木4	上ケ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)	2	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	2	奥貫 麻紀	4	1	木3 木4	上ケ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2020年度秋学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・プラクティス」を除く)ただし、CCCプログラム(Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」)登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

Ⅶ. 試験・レポート

1. 試験

- (1) 試験は、「総合政策学部内規 Ⅱ. 試験内規 (P.97・98)」や「成績評価・試験規程 (P.96)」に則って実施されますので熟読しておいてください。なお、他学部履修科目については、それぞれの学部の内規に準じます。
- (2) 試験には、各学期ごとに行われる定期試験、授業時間中に行われる平常試験があります。
- (3) 定期試験受験に際して、事前に実施方法を掲示しますので必ず確認した上で受験してください。
- (4) 追試験は「総合政策学部内規 Ⅱ. 試験内規 (P.97・98)」に該当する者のみ受験が許可されます。

2. 平常レポート

- (1) 平常レポートは所定の様式と期日を守って事務室前に設置される事務室作成の表紙を添付して総合政策学部事務室に提出してください。
様式、期日は掲示で知らせます。また、提出期限のみ教学 Web サービス「学部・研究科」(P.24参照)で閲覧できます。なお、資源節約のため、原則両面印刷をしてください。
- (2) 授業時間中に担当者に直接提出するレポートについては、担当者の指示に従ってください。

3. 「基礎演習」ファイナルレポート

提出期間・場所	P.5 参照
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイナルレポートのテーマ・内容・書式等は指導教員の指示に従ってください。 ・表紙については、総合政策学部事務室前に用意された水色の表紙をつけること。 ・グループ研究の成果は利用してもよいが、ファイナルレポートは個人名で各自1部ずつ提出すること。

4. 「研究演習Ⅰ／メディア工房Ⅰ」進級論文

提出期間・場所	P.5 参照
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・進級論文のテーマ・内容・書式等は指導教員の指示に従ってください。 ・表紙については、総合政策学部事務室前に用意された黄色の表紙をつけること。 ・グループ研究の成果は利用してもよいが、進級論文は個人名で各自1部ずつ提出すること。

5. 卒業論文

	2020年9月卒業	2021年3月卒業
資格	「研究演習Ⅱ」または「メディア工房Ⅱ」を修得済みの者。	「研究演習Ⅱ」または「メディア工房Ⅱ」を履修中・修得済み、および3年卒業を申請した者。
提出期間・場所	P.4 参照	P.5 参照
様式	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙については、総合政策学部事務室前に用意されたピンク色の表紙をつけること。<u>教員指定の表紙がある場合もその上にピンク色の表紙をつけること。</u> ・総合政策学部事務室にて「卒業・修士論文受領証控」に必要事項を記入の上、卒業論文と併せて提出すること。 指導教員からの指定がない場合は、以下の書式で作成すること。 <ol style="list-style-type: none"> 1. グループ研究の成果は利用してもよいが、卒業論文は個人名で各自1部提出すること。 2. 使用言語は日本語または英語とする。その他の言語の場合は指導教員と相談すること。 3. A4版15,000字程度(1頁40字×30行)、英語の場合は約3,000語を標準とする。ただし、作品等の提出が行われる場合は、A4版5,000字程度(1頁40字×30行)、英語の場合は約1,000語を基準とすることが出来る。 4. 正本は卒業論文とする。作品など(ビデオ、図等)は学生番号・氏名を明記の上、添付することができる。ただし、作品がソフトウェアやかさばるものについては、卒業論文の提出期限までに直接指導教員へ提出すること。 5. 原則、両面印刷とすること。 6. 提出時には本学所定ファイル(関学生協神戸三田キャンパス店で各自販売)に綴じて提出すること。 	
審査	研究演習Ⅱまたはメディア工房Ⅱ担当者が審査、採点する。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・郵送やEメールでの提出は一切受け付けない。所定の期日以降はいかなる理由があっても一切受け付けない。 ・卒業論文と必要事項を記入した卒業・修士論文受領証控を併せて提出すること。 ・提出者は各自、卒業論文の控と受領証控を卒業まで大切に保管すること。 ・提出後の問い合わせは、受領証控がなければ一切応じない。 	

6. 「剽窃」について

レポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を「剽窃（ひょうせつ）」することは、絶対にしてはならない行為です。

学生として許されるべき行為でないだけでなく、違法行為ともなりえます。剽窃は「不正行為」として当該科目の成績、または特に悪質な場合は全科目の成績が無効となる場合がありますので、レポート等作成および提出の際は十分注意してください。

「剽窃」とはなにか

他の人によって書かれた論文、概念、文章などの著作（特に、他の人によって書かれた著作）の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章のように書いたとしても「剽窃」とみなされます。

インターネット上のテキストの一部をコピー&ペーストし、表現を変えるなどして自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

正しい「引用」をしましょう

レポートや論文の作成のために、他人の文章を用いる場合は必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。どこまでが「他者が記述した内容」の紹介で、どこからが「自分の考え」かをはっきりさせることが必要です。

故意ではなく、不注意で行った場合も「剽窃」に変わりはありません。

レポート・論文・授業内課題等で剽窃が発覚した場合、
専門教育科目の言語教育科目および専門教育科目の演習科目を除く
当該学期の全科目を0点とし、一定期間の指導を行う場合があります。

決して「剽窃」をおこなわないように十分に気を付けてください。



関西学院大学 研究倫理について

▶ 貴方も責任ある研究者です。

「研究者」とは教員に限らず、本学において研究活動に従事する者すべてを含みます。

学部学生も、研究活動（各種調査におけるアンケートの実施やゼミ研究、研究レポート作成、卒業論文執筆など）に関わる際は、「研究者」に準ずる者とみなされます。

「関西学院大学 研究倫理規準 第2条」より

関西学院大学はキリスト教主義によってたつ教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、社会の信頼に支えられた高い倫理性をもって教育研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元することに、その本旨がある。

●研究者は、研究成果の発表における捏造、改ざん、盗用、重複発表、その他の研究活動における不正行為を行ってはならない。特許出願において虚偽を行ってはならない。また、研究活動における利益相反の発生に十分な注意を払い、相反が発生する場合には情報を開示し、適切な管理を行わねばならない。

●研究者は、研究活動にあたって、関係する個人の尊厳および人権を尊重しなければならない。また、研究活動に伴う守秘義務を厳守し、活動の過程において知り得た個人情報の保護に努めなければならない。

●研究者は、研究活動において装置、機器、薬品、材料などを用いるときは、関係する法令、本学の諸規則、学会等の指針を遵守し、環境、安全へ配慮しなければならない。

●研究者は、研究活動において、学生や共同で研究を行う者に対して正当な理由なくして不利益を与えてはならない。

「関西学院大学 研究活動に関する指針」より抜粋

▶ 研究活動上の不正行為

以下3つの行為は、文部科学省「研究活動における不正行為への対応に関するガイドライン」の中で、「特定不正行為」と位置付けられています。

- 試資料等の捏造
- 試資料等の改ざん
- 試資料等の盗用

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
- 不適切な著作者表示
- 不適切な重複発表
- 訂正の不作為

研究活動の倫理とは？

●研究者は、研究活動における責任を自覚し、研究成果の客観性を歪めることがないよう、良心と信念に従って研究を遂行しなければならない。

●研究者は、個人の尊厳及び人権の尊重、並びに個人情報の保護に留意し、科学的かつ社会的に妥当な方法、研究を遂行する義務を負います。

●研究者は、研究の遂行上、関連する法令等に従うとともに、本学諸規程、所属する学会・団体等の倫理規準等を遵守しなければならない。

「関西学院大学 研究倫理規準」より抜粋

【参考文献】 1.「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文科省 平成 26 年 2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成 18 年

研究活動上の不正行為とは？

文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」上の「特定不正行為」	捏造	<p>【事例】 デイオバン臨床研究不正事件 K医科大学の教授らが行った高血圧治療薬（降圧剤）の臨床研究において、その薬に有利になるようにデータが人為的に操作されていた。本件においては、薬の販売元であるN製薬会社の日本法人社員が、K医科大学を含む複数の大学で行われた臨床研究で、N製薬会社所属という身分を隠して参加し、論文作成にも関与していた。</p> <p>【処分】 退職、退職金の自主返納</p>
	改ざん	<p>【事例】 画像の流用等のデータ改ざん 学外の発表者からの指摘により、研究者の研究論文に捏造（方法論が同じ代表的な実験データの流用）、改ざん（見栄えを良くするための画像代用）、二重投稿（3つの論文において、画像及び大部分の文章が他の論文と同一（注））。また、一つのデータを二つの論文に掲載。）が発覚した。 (注) 研究者は、投稿した一方の学術誌を、研究会の抄録であると誤認して投稿したものであり、故意によるものではなかった。</p> <p>【処分】 当該教授は論旨退職、共著者等も処分対象</p> <p>【参考文献】「研究者の不正行為についてのお詫びとご報告」D医科大学HP 平成24年2月3日</p> <p>※「捏造」と「改ざん」は、定義上、区分されているが、実際には、上記の様な、これらが混在した複合的な事案等も存在するため、厳密な分類が難しい場合がある。</p>
	盗用	<p>【事例】 W大学論文不正問題 平成23年3月に学位取得した博士論文について、著作権侵害行為（インターネットからの文章のコピー・アンド・ペースト、バイオ関連企業サイトの画像との酷似）、意味不明な記載（画像に対応する記載の不備）、整合性がない箇所（根拠論文の記載内容との矛盾）等が指摘された。</p> <p>【処分】 概ね一年間程度の猶予期間において、博士論文指導と研究倫理の再教育を受け、論文を訂正した場合は、学位が維持できるものとされた。これが適切に履行できないときは、当然に学位は取り消される。</p> <p>【参考文献】 1.調査報告書 W大学 大学院先進理工学研究所における博士学位論文に関する調査委員会 平成26年7月17日 2.会見発表 W大学HP 平成26年10月7日</p>

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
計測・実験機器の操作や調査方法の決定等を恣意的に行うことによって、正当な方法では得られない試資料等を取得し、利用すること。
- 不適切な著作者表示
当該の研究活動に無関係の他者を著作者に加えたり、共同研究者を適正な形で著作者に含めなかったりすること。
- 不適切な重複発表
既発表の成果を新規なものであると偽って再び発表すること。
- 訂正の不作為
発表した研究成果に重要な間違いを発見しながら、当該成果の取り下げや訂正発表等の適切な処置を行わないこと。

【参考文献】 1.「わが国における研究不正～公開情報に基づくマクロ分析（1）」独立行政法人科学技術振興機構 2013 vol.56 no.3
2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて ～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成 18 年

本学の研究活動における不正行為防止等の体制、関係規則、及び事例を URL にて紹介しています。
URL: https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010053.html 「研究活動上の不正行為防止への取り組み」

研究活動上の不正行為に関する相談・告発等の窓口

研究推進社会連携機構事務部

E-mail: fuseisoudan@kwansei.ac.jp

(西宮上ヶ原キャンパス) TEL 0798-54-6104 / FAX 0798-54-6905

(神戸三田キャンパス) TEL 079-565-9052 / FAX 079-565-7910

※告発者は「関西学院大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」に基づき、不利益な取扱いを受けることがないよう保護されます。

VIII. 学科選択・進級・3年卒業

1. 学科選択

総合政策学部では各自の関心・総合政策学部全体の教育研究の特色・学科教育内容を十分理解した上で学科選択をさせるため、1年次では学科別の教育は行いません。まず、総合政策学部全体の教育研究の特色や各学科の教育研究の概要を中心に学びます。2年次から学科に配属されますから、1年次の間は、各学科でどんなことが学べるのか、理解に努め、自分の関心がどこにあるのか、自分が学びたいことは何なのかをじっくり考えておきましょう。1年次の秋学期に各自の関心と目的に応じて学科を選択します。ただし、希望者が学科の定員を超えた場合は成績によって所属を決定します。

総合政策学部では、学科に配属されてからも、学科を越えた科目の履修を勧めています。それは、4つの学科での教育研究が、それぞれ互いに深い関連を持っているからです。一部の科目を除いて、多くの科目がすべての学科の学生に開かれていますから、学科の枠を越えて自由に科目を履修することができます。

学科へ所属するためには所定の期間に以下の手続きを行う必要があります。

資格		2021年4月1日時点で入学後1年以上在籍する見込みのある者（休学期間を除く）
概要公示	日時・場所	P.5 参照
選択手続	期間・場所	
		方法
所属発表	日時・場所	P.5 参照
選考規準		<ul style="list-style-type: none"> ① 希望を優先して学科に配属する（第1希望>第2希望>第3希望>第4希望）。 ② 配属希望者が定員を超えた場合は、秋学期終了時点の通算 GPA が高い者から順に、定員に達するまで配属する（秋学期授業期間外に実施される集中講義科目の GP は含まれない）。 ③ 通算 GPA が等しい場合は、S 評価の科目数の多い者を優位とする。 ④ ③の結果、S 評価の科目数が等しい場合は、A+ 評価の科目数の多い者を優位とする。 ⑤ ④の結果、A+ 評価の科目数が等しい場合は、A 評価の科目数の多い者を優位とする。 ⑥ ⑤の結果、A 評価の科目数が等しい場合は、B+ 評価の科目数の多い者を優位とする。 ⑦ ⑥の結果、B+ 評価の科目数が等しい場合は、B 評価の科目数の多い者を優位とする。 ⑧ ⑦の結果、B 評価の科目数が等しい場合は、C+ 評価の科目数の多い者を優位とする。 ⑨ ⑧の結果、C+ 評価の科目数が等しい場合は、C 評価の科目数の多い者を優位とする。
注意		学科選択手続を行わないものは、卒業が1年延びます。

2. 3年生への進級とゼミ選択手続

総合政策学部では、3年次に進むことを“進級”と呼びます。進級するためには、2年次秋学期終了時点において進級条件を満たし、かつ2年次秋学期のゼミ選択手続を行っていることが必要です（進級条件はP.44「先修条件」の「研究演習Ⅰ」・「メディア工房Ⅰ」を参照すること）。進級が出来ないと卒業までに要する期間がその分延びますので、必ず各自で進級条件を確認しておくこと。

資格		第2年次秋学期終了時において研究演習Ⅰ・メディア工房Ⅰの先修条件を満たす者（P.44参照）
概要公示	日時・場所	P.5 参照
選択手続	期間・場所	
		方法
所属発表	日時・場所	P.5 参照

<3年次からのゼミ所属（「研究演習」・「メディア工房」）>

「研究演習」・「メディア工房」は、総合政策学部生が3・4年次に履修する必修の演習科目です。総合政策学科生・都市政策学科生・国際政策学科生は『研究演習』を、メディア情報学科生は『メディア工房』を履修し、演習担当者の指導の下、3年次終了時に「進級論文」を、4年次終了時に「卒業論文」を提出します。なお、ゼミは3年次・4年次を通して同じ演習担当者となります。

3. 3年卒業

本学大学院に早期に進学することを希望し、次の要件をすべて満たした者については、学則第7条第2項に規定する3年卒業を認める。

資格		※2021年4月時点	① 3ケ年以上の在学期間（休学期間は含まない）があること。
			② 卒業に必要な単位をすべて修得すること。なお、「研究演習Ⅱ」「メディア工房Ⅱ」の4単位は主専攻フィールドまたは所属学科科目のうちから2科目4単位の修得をもって代替することができる。
			③ 卒業に必要な単位を含むことのできる科目のGPAが第3学年度春学期終了時点で通算2.8以上であること。
			④ 本学当該研究科が入学を認めていること。
申請	期間・場所	P.4 参照	
	方法	申請書（総合政策学部事務室にて随時配付）を提出	
注意		3年卒業には卒業論文の提出が必須になりますので、申請については事前に演習担当者に相談してください。 また、申請期間中に申請書が受理されても、上記「資格」で定められている要件を満たさなかった場合は3年卒業が認められず、その場合の卒業論文の提出も無効となります。	

■大学院 総合政策研究科

総合政策研究科は、1999年に博士課程前期課程（修士）課程を開設し、さらに2001年に、博士課程後期課程を増設しました。そこでは、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念とし、高度な政策分析能力を持つ国際的研究者や清廉な強さと実行力を持つ高度専門職業人の養成を目指して、学際的・複合的アプローチによる教育・指導を行っています。地球規模で生起する諸問題に対して、本研究科で学んだみなさまが幅広い知識と視野、深い洞察力を持って果敢に挑戦し、問題解決に貢献できることを期待しています。本研究科は、ヒューマン・エコロジー（人間生態学）を基盤的学問分野と位置づけます。ヒューマン・エコロジーとは、人間社会を自然環境との相互関係のもとに理解し、両者を媒介する技術、社会経済組織、行動様式、価値体系、言語体系などを相互に関連づけて分析する、総合的かつ学際的な学問分野です。そこに、政治学、経済学、法学、経営学、社会学、理学、工学等の知識と技術を立体的に組み合わせることによって、国際社会が求める政策提言能力の獲得をめざします。複雑を極める現在の諸問題は、単一の学問領域だけでは解決策を見出しにくいと確信しているからです。

前期課程では、指導教員による演習科目「マスター・セミナー」を主軸に、『政策基礎科目』や『政策領域科目』といった授業科目を通じて政策分析と政策立案の能力を高め、より専門的かつ信頼性の高い研究を進めていきます。

後期課程では、前期課程における学問的な基礎の上に立ち、演習科目「ディサテーション・セミナー」の中で指導教員が研究指導や博士論文執筆指導を行います。

■学部表彰制度

総合政策学部には以下の様な表彰制度があります。

【小島賞】

1996年度に、本学部の設立に尽力された故 小島達雄名誉教授からのご寄附をもとに論文賞『小島賞』を創設しました。この賞は本学部の勉学の向上をはかるため、毎年1回論文を募集し、優秀な論文を執筆した学生に対し授与します。なお、この賞は一般公募方式と演習担当者推薦方式（進級論文）の2本立てで募集しています。受賞者については、特に優秀なものには最優秀賞、優秀なものには優秀賞、優れたものには奨励賞として、賞状と副賞を授与します。表彰式は翌年度4月第3水曜日に開催される学部創設記念チャペルにおいて行います。

【安保賞】

2003年度に、本学部の設立に尽力された故 安保則夫名誉教授のご遺族からのご寄附をもとに卒業研究賞『安保賞』を創設しました。この賞は本学部の勉学の向上をはかるため、4年次に提出された卒業論文の中から優秀なものを演習担当者が推薦し、その中から特に優秀な論文3編（本）（金賞、銀賞、銅賞）を選考して、それらの論文を執筆した学生に対して賞状と副賞を授与します。なお、表彰式は卒業式終了後の学部卒業証書授与式にて行います。

【SPS Award】

2005年度に、本学部の勉学の向上を図り、学内外での諸活動を奨励するため、『SPS Award』を創設しました。

『SPS Award』は以下の2種からなっています。

① SPS Award (Top10)

本学部学生の勉学の向上を図るため、各学年成績上位者10名に対して授与します。

1～2年生 当該年度のGPA上位10名（条件：当該年度に40単位以上を修得していること）

3年生 当該年度のGPA上位10名（条件：当該年度に30単位以上を修得していること）

4年生 在籍期間中のGPA上位10名（条件：卒業）

② SPS Award (Best Contribution)

本学部学生の学内外での諸活動を奨励するため、教職員からの推薦により、当該年度内において学内外で顕著な活動を行ってきた学生の中から10名以内を選考委員会にて選考して授与します。受賞者については、記念品を授与します。表彰式は、卒業生については卒業式終了後の学部卒業証書授与式にて、在学生については翌年度4月第3水曜日に開催される学部創設記念チャペルにおいて行います。

IX. 資格の取得

1. 建築士受験資格プログラム「建築士プログラム」

2021年度から「建築士プログラム」は、一部変更されます。

1. 建築士プログラムへの登録に必要な前提条件科目「設計製図演習」は2020年度をもって廃止します。2021年度以降、代替科目の開講を予定していますが、授業内容等に変更が生じるためプログラムへの登録を希望する学生は必ず2020年度秋学期の「設計製図演習」を履修してください。何らかの事情により、履修が困難な学生は総合政策学部事務室にご相談ください。
2. 2017-2020年度入学生用の一級・二級建築士受験資格に必要な指定科目については、2023年度をもって廃止します。余裕をもって履修できるよう、しっかり履修計画をお立てください。

①建築士とは

建築士とは、建築士法によって定められた国家資格で、建物の設計・工事監理等を行う技術者のことを言います。建築士には、一級建築士、二級建築士及び木造建築士の3種類があり、その資格によって設計監理できる建築物に違いがあります。

一級建築士は国土交通大臣の免許を受け、複雑・高度な技術を要する建築物を含む全ての施設の設計および工事監理を行うことができます。二級建築士は都道府県知事の免許を受けて、一定規模以下の木造の建築物、および鉄筋コンクリート造などの建築物の設計、工事監理を行うことができます。また、木造建築士は都道府県知事の免許を受け、木造建築物で延べ面積が300m²以内、かつ2階以下の建築物を設計・工事監理することができます。

いずれも、まちづくりなどに従事する、住宅や不動産関連企業で活躍したい人にはおすすめの資格であり、将来設計事務所を開業することも夢ではありません。本学部の「建築士プログラム」に登録の上、当該指定科目を修得して卒業した者は、*最短で、一級建築士の場合は卒業後2年の実務経験を経て、二級建築士及び木造建築士の場合は実務経験を要せずとも、受験資格を有する者として認定されます。

※卒業後に必要な実務経験数は、卒業までに修得した単位数によって異なります。詳細は次ページの表を参考にすること。

※認定されない場合、二級建築士及び木造建築士は卒業後7年以上の実務経験が、一級建築士は二級建築士資格取得後4年以上の実務経験が必要になります。

②プログラムへの登録

「建築士プログラム」への登録を考えている方は、まず1年次の秋学期に開講される「設計製図演習」を必ず履修してください。「設計製図演習」の修得が「建築士プログラム」への登録の必要条件になります。また、以下の要領で登録申込をし、建築士プログラム登録用試験を受験する必要があります。

	定員	60名
申請	期間・場所	P.5 参照
	方法	出願書類の提出 (いずれも12月上旬に教学 Web サービス「学部・研究科」に掲載) ①登録申請書 ②志望理由書
登録用試験	日時・場所	P.5 参照
登録者発表	日時・場所	P.5 参照

③選考について

登録申込者数が定員を超過した場合は選考となります。選考基準は以下のとおりとします。

＜建築士プログラム登録選考基準＞

以下の①、②、③の点を6：2：2の割合で加算し総合点を算出する。

- ①「設計製図演習」の成績（100点満点）
- ②建築士プログラム登録用試験（100点満点）
- ③通算 GPA（100点満点）※通算 GPA の値を25倍する。

＜総合点算出例＞

Xさん：①80点、②70点、③60点（GPA=2.4）の場合、総合点は74点となる

[内訳] $80 \times 0.6 + 70 \times 0.2 + 60 \times 0.2 = 74$

Yさん：①60点、②90点、③90点（GPA=3.6）の場合、総合点は72点となる

[内訳] $60 \times 0.6 + 90 \times 0.2 + 90 \times 0.2 = 72$

※上記のケースだと、Xさんの総合点の方が高く、選考となった際に優位である

④実習費の追加負担について

「建築士プログラム」へ登録が許可された場合は、次年度より実習費として年額15,000円を秋学期の学費請求と同時に追加徴収します（通常の場合は卒業までの3年間で計45,000円が追加が必要となります）。

一度、登録が許可されれば在学期間中有効ですが、年度途中の登録の取り消しはできません。また、一旦納入された実習費については、いかなる理由があっても返還しません。

⑤その他

「建築士プログラム」には、特に「建築士関連科目」の中に数多くの理系科目が含まれています。高校時代にそのような授業を受けなかったと不安を感じる方もいると思いますが、その方々を対象とした科目「建築数理の基礎」を1年次の春学期に開講します。「建築士プログラム」の登録を考えておられる方には、是非この科目を事前に履修することをお勧めします。

⑥受験資格取得に必要な科目

総合政策学部開講の指定科目は、次表の授業科目一覧に示すとおりです。なお、授業科目一覧で示す「必修」科目は卒業に必要な必修科目とは異なりますので注意してください。また、当該プログラムで修得した単位は、授業科目一覧で示す科目区分の卒業に必要な単位として算入することができます。

各自で修得した科目にチェックを入れ、建築士プログラムの単位修得状況の把握に役立ててください。建築士プログラム修了に必要な単位は本人の責任において慎重に確認してください。

【一級】(2016年度以前入学生用)

指定科目の分類	科目名・単位数	履修 基準年度	予備登録 科目 ^{※1}	申込制 科目 ^{※2}	2コマ 連続履修	先修条件 の有無 ^{※3}	修得方法
①建築設計製図	<input type="checkbox"/> 設計製図演習	1	1年		○		4科目計7単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅰ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅱ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅲ	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅳ	2	3年		○	○	選択
②建築計画	<input type="checkbox"/> 都市・農村計画	2	2年				4科目計8単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築計画A	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築計画B	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築計画C	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 現代建築デザイン論	2	1年				選択
	<input type="checkbox"/> 空間デザイン論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 西洋建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 日本建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 居住環境論	2	2年				
<input type="checkbox"/> 福祉住環境計画	2	3年					
③建築環境工学	<input type="checkbox"/> 建築環境工学	2	3年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築環境工学実験	1	3年		○		選択
④建築設備	<input type="checkbox"/> 建築設備	2	3年	○			1科目2単位必修
⑤構造力学	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅰ	2	2年	○			2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅱ	2	2年	○		○	
⑥建築一般構造	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅰ	2	2年	○			2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅱ	2	2年	○		○	
⑦建築材料	<input type="checkbox"/> 建築材料学	2	2年	○			2科目計3単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築材料学実験	1	2年	○			
⑧建築生産	<input type="checkbox"/> 建築施工	2	3年	○			1科目2単位必修
⑨建築法規	<input type="checkbox"/> 建築法規	2	3年				1科目2単位必修
⑩その他	<input type="checkbox"/> 測量実習	1	2年				2科目計2単位必修
	<input type="checkbox"/> CAD/CG演習	1	2年	○			
	<input type="checkbox"/> 比較都市論	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 居住政策論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築CAD演習	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 都市デザイン論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> ランドスケープ・デザイン	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 市民参加・NPO/NGO論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市再生論	2	3年				
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 2年)		60単位 (必修36単位、選択24単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 3年)		50単位 (必修36単位、選択14単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 4年)		40単位 (必修36単位、選択4単位)					

- ※1 予備登録科目とは、先修条件や履修基準年度に従い学部にて履修申請画面にあらかじめ登録をする科目です。
- ※2 申込制科目とは、各自で所定の期間内に教学 Web サービス、または総合政策学部事務室にて申込が必要な科目です。
- ※3 各科目の先修条件となる科目はP.44を参照すること。

各自で修得した科目にチェックを入れ、建築士プログラムの単位修得状況の把握に役立ててください。建築士プログラム修了に必要な単位は本人の責任において慎重に確認してください。

【一級】(2017年度以降入学生用)

指定科目の分類	科目名・単位数	履修 基準年度	予備登録 科目 ^{※1}	申込制 科目 ^{※2}	2コマ 連続履修	先修条件 の有無 ^{※3}	修得方法
①建築設計製図	<input type="checkbox"/> 設計製図演習	1	1年				4科目計7単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅰ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅱ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅲ	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅳ	2	3年		○	○	選択
②建築計画	<input type="checkbox"/> 建築計画A	2	2年				4科目計8単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築計画B	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築計画C	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 西洋建築史	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 現代建築デザイン論	2	1年				
	<input type="checkbox"/> 空間デザイン論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 日本建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 居住環境論	2	2年				
③建築環境工学	<input type="checkbox"/> 建築環境工学	2	3年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築環境工学実験	1	3年		○		選択
④建築設備	<input type="checkbox"/> 建築設備	2	3年	○			1科目2単位必修
⑤構造力学	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅰ	2	2年	○			2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅱ	2	2年	○		○	
⑥建築一般構造	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅰ	2	2年	○			2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅱ	2	2年	○		○	
⑦建築材料	<input type="checkbox"/> 建築材料学	2	2年	○			2科目計3単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築材料学実験	1	2年	○			
⑧建築生産	<input type="checkbox"/> 建築施工	2	3年	○			1科目2単位必修
⑨建築法規	<input type="checkbox"/> 建築法規	2	3年				1科目2単位必修
⑩その他	<input type="checkbox"/> 都市・農村計画	2	2年				3科目計5単位必修
	<input type="checkbox"/> CAD/CG演習	1	2年	○			
	<input type="checkbox"/> 建築CAD演習	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 比較都市論	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 居住政策論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 福祉住環境計画	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市デザイン論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> ランドスケープ・デザイン	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 市民参加・NPO/NGO論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市再生論	2	3年				
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 2年)		60単位(必修39単位、選択21単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 3年)		50単位(必修39単位、選択11単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 4年)		40単位(必修39単位、選択1単位)					

- ※1 予備登録科目とは、先修条件や履修基準年度に従い学部にて履修申請画面にあらかじめ登録をする科目です。
 ※2 申込制科目とは、各自で所定の期間内に教学 Web サービス、または総合政策学部事務室にて申込が必要な科目です。
 ※3 各科目の先修条件となる科目はP.44を参照すること。

各自で修得した科目にチェックを入れ、建築士プログラムの単位修得状況の把握に役立ててください。建築士プログラム修了に必要な単位は本人の責任において慎重に確認してください。

【二級・木造】(2016年度以前入学生用)

指定科目の分類	科目名・単位数	履修 基準年度	予備登録 科目 ^{※1}	申込制 科目 ^{※2}	2コマ 連続履修	先修条件 の有無 ^{※3}	修得方法
①建築設計製図	<input type="checkbox"/> 設計製図演習	1	1年		○		3科目計5単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅰ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅱ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅲ	2	3年	○		○	選択
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅳ	2	3年		○	○	
②建築計画	<input type="checkbox"/> 都市・農村計画	2	2年				2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築計画A	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築計画B	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 建築計画C	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 現代建築デザイン論	2	1年				
	<input type="checkbox"/> 空間デザイン論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 西洋建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 日本建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 居住環境論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 福祉住環境計画	2	3年				
③建築環境工学	<input type="checkbox"/> 建築環境工学	2	3年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築環境工学実験	1	3年		○		選択
④建築設備	<input type="checkbox"/> 建築設備	2	3年	○			1科目2単位必修
⑤構造力学	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅰ	2	2年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅱ	2	2年	○		○	選択
⑥建築一般構造	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅰ	2	2年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅱ	2	2年	○		○	選択
⑦建築材料	<input type="checkbox"/> 建築材料学	2	2年	○			2科目計3単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築材料学実験	1	2年	○			
⑧建築生産	<input type="checkbox"/> 建築施工	2	3年	○			1科目2単位必修
⑨建築法規	<input type="checkbox"/> 建築法規	2	3年				1科目2単位必修
⑩その他	<input type="checkbox"/> 測量実習	1	2年				2科目計2単位必修
	<input type="checkbox"/> CAD/CG演習	1	2年	○			
	<input type="checkbox"/> 比較都市論	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 居住政策論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築CAD演習	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 都市デザイン論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> ランドスケープ・デザイン	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 市民参加・NPO/NGO論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市再生論	2	3年				
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 0年)		40単位(必修26単位、選択14単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 1年)		30単位(必修26単位、選択4単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 2年)		23単位(必修23単位 ^{※4} 、選択0単位)					

※1 予備登録科目とは、先修条件や履修基準年度に従い学部にて履修申請画面にあらかじめ登録をする科目です。ただし、春学期「建築設計演習Ⅲ」・「建築CAD演習」/秋学期「建築構造力学Ⅱ」・「建築一般構造Ⅱ」は二級建築士・木造建築士受験資格取得においては選択科目となっているため、受講を希望しない場合は各学期申込制科目(Web受付分)申込期間内に総合政策学部までお申し出ください。期間外の申し出は受付できません。

※2 申込制科目とは、各自で所定の期間内に教学Webサービス、または総合政策学部事務室にて申込が必要な科目です。

※3 各科目の先修条件となる科目はP.44を参照すること。

※4 必要な実務経験が2年の場合に限り、必修科目のうち、『建築材料学実験』、『測量実習』、『CAD/CG演習』の単位は修得していなくてもプログラム修了が可能です。

各自で修得した科目にチェックを入れ、建築士プログラムの単位修得状況の把握に役立ててください。建築士プログラム修了に必要な単位は本人の責任において慎重に確認してください。

【二級・木造】(2017年度以降入学生用)

指定科目の分類	科目名・単位数	履修 基準年度	予備登録 科目 ^{※1}	申込制 科目 ^{※2}	2コマ 連続履修	先修条件 の有無 ^{※3}	修得方法
①建築設計製図	<input type="checkbox"/> 設計製図演習	1	1年				3科目計5単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅰ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅱ	2	2年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅲ	2	3年	○		○	選択
	<input type="checkbox"/> 建築設計演習Ⅳ	2	3年		○	○	
②建築計画	<input type="checkbox"/> 建築計画A	2	2年				2科目計4単位必修
	<input type="checkbox"/> 西洋建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 建築計画B	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 建築計画C	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 現代建築デザイン論	2	1年				
	<input type="checkbox"/> 空間デザイン論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 日本建築史	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 居住環境論	2	2年				
③建築環境工学	<input type="checkbox"/> 建築環境工学	2	3年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築環境工学実験	1	3年		○		選択
④建築設備	<input type="checkbox"/> 建築設備	2	3年	○			1科目2単位必修
⑤構造力学	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅰ	2	2年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築構造力学Ⅱ	2	2年	○		○	選択
⑥建築一般構造	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅰ	2	2年	○			1科目2単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築一般構造Ⅱ	2	2年	○		○	選択
⑦建築材料	<input type="checkbox"/> 建築材料学	2	2年	○			2科目計3単位必修
	<input type="checkbox"/> 建築材料学実験	1	2年	○			
⑧建築生産	<input type="checkbox"/> 建築施工	2	3年	○			1科目2単位必修
⑨建築法規	<input type="checkbox"/> 建築法規	2	3年				1科目2単位必修
⑩その他	<input type="checkbox"/> 都市・農村計画	2	2年				3科目計5単位必修
	<input type="checkbox"/> CAD/CG演習	1	2年	○			
	<input type="checkbox"/> 建築CAD演習	2	3年	○		○	
	<input type="checkbox"/> 比較都市論	2	2年				選択
	<input type="checkbox"/> 居住政策論	2	2年				
	<input type="checkbox"/> 福祉住環境計画	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市デザイン論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> ランドスケープ・デザイン	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 市民参加・NPO/NGO論	2	3年				
	<input type="checkbox"/> 都市再生論	2	3年				
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 0年)		40単位 (必修29単位、選択11単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 1年)		30単位 (必修29単位、選択1単位)					
修得すべき単位数合計 (必要な実務経験年数 2年)		23単位 (必修23単位 ^{※4} 、選択0単位)					

- ※1 予備登録科目とは、先修条件や履修基準年度に従い学部にて履修申請画面にあらかじめ登録をする科目です。ただし、春学期「建築設計演習Ⅲ」/秋学期「建築構造力学Ⅱ」・「建築一般構造Ⅱ」は二級建築士・木造建築士 受験資格取得においては選択科目となっているため、受講を希望しない場合は各学期申込制科目 (Web 受付分) 申込期間内に総合政策学部までお申し出ください。期間外の申し出は受付できません。
- ※2 申込制科目とは、各自で所定の期間内に教学 Web サービス、または総合政策学部事務室にて申込が必要な科目です。
- ※3 各科目の先修条件となる科目はP.44を参照すること。
- ※4 必要な実務経験が2年の場合に限り、必修科目のうち、『建築材料学実験』、『都市・農村計画』、『CAD/CG演習』、『建築CAD演習』の単位は修得していなくてもプログラム修了が可能です。

2. 施工管理技士

①施工管理技士とは

下記②の建設業の業種について、施工管理に関する技術を認定した国家資格です。建設業法第27条に基づく国家試験「施工管理技術検定」の合格者が施工管理技士を称することができます。建設業法の目的は、建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに建設業の健全な発展を促進し、もって公共の福祉の増進に寄与することであり、その目的達成の一環として、国土交通大臣は、建設工事に従事する者を対象にして技術検定を行い、施工技術の向上を図ることとされています。また、一定水準以上の施工技術を有することを公的に認定された方となりますから、建設業法の中で、検定の種目及び級に応じて建設業法に規定する許可の要件としての営業所に置かれる専任技術者及び工事現場に置かれる主任技術者又は監理技術者の資格を満たす者として取り扱われます。ゼネコンや建設業関連の企業で施工管理業務に就く人に取得が推奨される資格となります。

②施工管理技術検定の種目について

施工管理技術検定には以下の種目があります。

- (1) 建設機械施工（1級および2級）
- (2) 土木施工管理（1級および2級）
- (3) 建築施工管理（1級および2級）
- (4) 電気工事施工管理（1級および2級）
- (5) 管工事施工管理（1級および2級）
- (6) 造園施工管理（1級および2級）

③受験資格取得に必要な要件および実務経験

技術検定を受検するためには、建築士プログラムを修了していることが必要です。また、いずれの種目においても所定の実務経験が必要です（原則、1級は3年以上、2級は1年以上となります）。

3. 総合政策学部「グローバルキャリアプログラム (GCaP)」

1. 教育目的～どのような人材を育てるのか

グローバル化に対応し国際競争力のある人材を育成する。また、総合性だけでなく、国際協力など、総合政策学部の特色を活かした特定領域のスペシャリストを養成する。グローバルキャリアプログラム（以下、GCaP）の対象となる学生は、将来、国際機関、国際 NGO などの開発援助、国際ビジネス、さらに社会貢献の分野で活躍することを念頭に、公共政策、経済学、経営管理、プロジェクトマネジメントに関する知識を習得するとともに、海外留学や途上国フィールドワークを通して実践力や政策応用力を培い、さらに高度な実践英語能力、高度なコミュニケーション・スキルを身につけることを目指す。

2. プログラムの特徴と概要

履修授業表を参考に、二年時から卒業までのスタディ・プランをたて、さらに明確な将来目標に沿って、段階的に知識やスキル、実践力を習得し、国際社会で活躍する将来のキャリアの基盤を築く。プログラム担当教員は、元国際公務員、外交官や、国際ビジネスの現場で、長く海外実務経験を積んだ専門家ばかり。本プログラムの授業はすべて三田キャンパスで受講できる。将来、国際社会で活躍する人材を育成するための、総合政策学部独自のユニークなプログラムである。

具体的には、

①公共政策、経営管理、国際関係、経済学、プロジェクトマネジメントなど、総合政策学部の総合性を活かした実践的な授業。

②海外留学または途上国フィールドワークに参加し、問題解決能力、政策応用力、高度なコミュニケーション能力、実践英語能力を養う。

③少人数ゼミでは、実際の国際問題のケースを用いて、課題の設定や、政策立案の方法を学び、問題解決能力を養うトレーニングを行う。英語によるディスカッションやレポートライティングスキル、プレゼンテーション能力の向上を目指し、より高度な対人関係スキルや多角的な問題思考力、文章表現力を集中的に鍛えることができる。

3. 本プログラム修了後に想定される就職先・職種

グローバルに展開している国内外の企業、ソーシャル・ビジネス、国連をはじめとする国際機関、JICA、国際 NGO などの国際開発専門職、海外大学院への進学等

4. プログラムの登録・修了要件

	[春学期申請]	[秋学期申請]
定員	10名	
出願期間	P. 4 参照	
出願資格	①2013年度以降入学の総合政策学部生 ②先修科目：グローバル・キャリアデザイン（秋学期開講）を修得済であること	
	③通算 GPA 2.7以上 かつ TOEFL ITP 475以上／iBT 52以上	③通算 GPA 2.8以上 かつ TOEFL ITP 480以上／iBT 54以上
出願書類	(①～④は3月上旬に教学 Web サービス「学部・研究科」に掲載) ①グローバルキャリアプログラム登録申請書 ②グローバルキャリアプログラム修了要件セルフチェックシート ③グローバルキャリアプログラム志望理由書【日本語】 ④ Global Career Program Statement of Purpose 【English】 ⑤成績通知書 ⑥ TOEFL スコアシートのコピー ※原本持参。受付時に確認し、原本はその場で返却します。	
選考	グローバルキャリアプログラム志望理由書【日本語】、Global Career Program Statement of Purpose【English】、および出願期間終了後に実施する面接によって本プログラム登録者を決定する。	
修了要件	プログラム修了には、次頁の表の単位修得に加え、以下の5つの条件を満たしていることが必要。 ①本プログラム指定の43科目から次頁の表に従って計30単位（交換留学（1年）参加した学生のみ26単位）を修得すること ②プログラム修了のための30単位（交換留学（1年）参加した学生のみ26単位）の平均 GPA2.8以上であること ③英語外部試験の認定（TOEIC 800、TOEFL ITP 550、TOEFL iBT 79、IELTS 6.0）のスコアを取得すること ④本プログラム指定の海外留学プログラム等（以下参照）へ参加し、修了後の報告書（英語、所定用紙）の提出と報告会での成果発表を行うこと A. 国連セミナー B. 中期留学 C. 海外インターンシッププログラム D. 交換留学・認定留学 E. 国際社会貢献活動 F. 国連ユースボランティア G. 総合政策学部独自プログラム（ソノマ州立大学英語研修&フィールドワーク） H. その他（特に学部が認めたもの） ⑤リサーチ・フェアに GCaP 登録者として参加し、英語で発表をすること ※交換留学（1年）参加した学生に限り、スペシャリスト：12単位（選択必修5より8単位、選択必修6より4単位）とする。	

5. 海外留学プログラムについて

関西学院大学主催の海外留学プログラム（上記A.～F.）を修了した場合は、それぞれ定められた単位数の修得ができる。また、G. 総合政策学部独自プログラムを修了した場合は、「オフキャンパス実習」（1または2単位）として単位認定する。

6. 合同演習について

合同演習は本プログラム登録者のみが履修できる科目で、以下のような概要での実施を予定している。

①目的：

国際問題など実際のケースを用い、課題の設定、政策立案の方法などを学び、問題解決能力や政策提言力を養うことを主な目的とする。特に集中的に少人数の演習方式で実施することにより、大教室の講義では習得が難しい、より実践的なトレーニングを行うことが可能となる。さらに、課題に向けてのディスカッションや成果発表でのプレゼンテーションを通し、グローバルなキャリアを築く上で重要となる、より高度な対人関係スキルや多角的な問題思考力を集中的に鍛えることが期待できる。また、合同演習において、リサーチの方法や研究の進め方の知識を深め、将来的に海外の大学院進学が可能なレベルに達することを目標とする。合同演習では英語の教材や資料を多く使用し、さらにディスカッションや発表等でも英語を使用する機会を多く設けているため、より高度な英語力が習得できるようサポートする。

②実施内容：

春学期・秋学期ともに集中開講。スケジュールはシラバスを確認すること。GCaP 担当教員による講義および、演習形式で実施。毎年、課題・テーマは変更する。

<グローバルキャリアプログラム必要単位数>

区分名	科目名 (単位数)	履修基準年度	必要単位	
コア科目	必修	<input type="checkbox"/> グローバル・キャリアデザイン(2) <input type="checkbox"/> 合同演習C(1)	1年 3年 2科目3単位	
	選択必修1	<input type="checkbox"/> 国際政策入門(2) <input type="checkbox"/> 経済学概論(2)	1年	左記のうち、 3科目計6単位
		<input type="checkbox"/> ミクロ経済学(2) <input type="checkbox"/> マクロ経済学(2) <input type="checkbox"/> 国際関係論(2) <input type="checkbox"/> 国際政治学(2)	2年	
		<input type="checkbox"/> 国際協力論(2)	3年	
	選択必修2	<input type="checkbox"/> 英語プロフェッショナル・ライティングA(1) <input type="checkbox"/> 英語プロフェッショナル・ライティングB(1) <input type="checkbox"/> 英語パブリック・スピーキングA(1) <input type="checkbox"/> 英語パブリック・スピーキングB(1) <input type="checkbox"/> ビジネス実践英語(1)	3年	左記のうち、 1科目計1単位
	選択必修3	<input type="checkbox"/> ジェンダー論(2) <input type="checkbox"/> 国際発展政策課題研究A(2) <input type="checkbox"/> 国際発展政策課題研究B(2) <input type="checkbox"/> 国際発展政策課題研究C(2) <input type="checkbox"/> 国際発展政策課題研究D(2)	3年	左記のうち、 1科目2単位
選択必修4	<input type="checkbox"/> 合同演習A(1) <input type="checkbox"/> 合同演習B(1)	2年	左記のうち、 計2単位	
スペシャリスト養成科目	選択必修5 (専門科目群)	<input type="checkbox"/> コミュニケーション総論(2) <input type="checkbox"/> 会計学(2) <input type="checkbox"/> 政策過程論(2) <input type="checkbox"/> 異文化間コミュニケーション論(2) <input type="checkbox"/> 国際発展政策(2) <input type="checkbox"/> 国際貿易論(2) <input type="checkbox"/> 財政学(2)	1年 2年	左記のうち、 5科目計10単位 ※交換留学(1年)参加した学生に限り、左記のうち、4科目計8単位
		<input type="checkbox"/> プロジェクト評価論(2) <input type="checkbox"/> プロジェクト管理論(2) <input type="checkbox"/> 経営組織論(2) <input type="checkbox"/> 国際機構論(2) <input type="checkbox"/> 国際金融論(2) <input type="checkbox"/> 国際公務員(2) <input type="checkbox"/> 国際法(2)	3年	
	選択必修6 (統計・IT 関連科目群)	<input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅰ(1) <input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅱ(1) <input type="checkbox"/> コンピュータ演習Ⅲ(1) <input type="checkbox"/> 統計学Ⅰ(2) <input type="checkbox"/> 統計学Ⅱ(2)	1年	左記のうち、 計6単位 ※交換留学(1年)参加した学生に限り、左記のうち、計4単位
		<input type="checkbox"/> 社会調査基礎論(2) <input type="checkbox"/> 経営情報論(2) <input type="checkbox"/> データ解析Ⅰ(2)	2年	

修得すべき単位数合計 30単位 (コア：14単位、スペシャリスト：16単位)
ただし、交換留学(1年)参加した学生に限り、26単位
(コア：14単位、スペシャリスト：12単位※)

4. 教職課程

(1) 取得できる教員免許の種類

総合政策学部では、以下の教員免許を取得することができます。

英語科	中学1種および高校1種
社会科	中学1種
公民科	高校1種
情報科	高校1種

(2) 「教職に関する科目」について

教職免許状取得に必要な授業科目の内、「教職に関する科目」（※該当科目は『教職課程等履修要項』で確認すること）は卒業に必要な単位に算入されません。また「教職に関する科目」はいずれも履修単位数制限の対象外となります。

(3) 教職課程における「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録すること。

(4) 2020年度免許状取得のための他学部履修について

① 免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

② 2020年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

		通年・春学期科目	秋学期科目
申し込み	資格	卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。	
	日時 ※1年生については秋学期科目からの申し込みとする。	3月21日(土)～3月27日(金) 8:50～11:30、12:30～16:50 但し、土曜日は8:50～12:20	8月28日(金)～9月3日(木) 9:00～11:30、12:30～16:00 但し、8月29日(土)は閉室
	手続き	手順① 「履修申込書」(Excel ファイル) のダウンロード 教学 Web サービスのお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。 手順② 「履修申込書」(Excel ファイル) の印刷 ダウンロードした「履修申込書」(Excel ファイル) に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものを A4 用紙に印刷すること。(電子データの提出は不要) 手順③ 「履修申込書」の提示(確認)(上記申込期間内) 必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」(A4 用紙) を教職教育研究センター(西宮上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス)に提示し受付印を押印してもらう。 手順④ 「履修申込書」の提出(上記申込期間内) 手順③で押印を受けた「履修申込書」(A4 用紙) を各自の所属学部事務室へ提出する。	
履修許可科目の確認	日時	4月7日(火)	9月23日(水)
	場所	総合政策学部事務室	

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

③ 「理科」、「数学」、「情報」、「福祉」、「保健体育」の取り扱いについて

- (A) 理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。
- (B) 理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。
- (C) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
- (D) 人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。
- (E) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

5. 博物館実習

2020年度「博物館実習」履修について

I 先修条件・履修者数制限

- 1 2020年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。
【2012年度以降入学生及び編入学生】
「博物館概論」2単位、「博物館経営論」2単位、「博物館資料論」2単位、「博物館教育論」2単位、の計4科目8単位を修得すること。
【2011年度以前入学生】
「生涯学習概論」2単位、「博物館概論」2単位、「博物館学各論A」2単位、「博物館学各論B」2単位の計4科目8単位を修得すること。
- 2 上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。
- 3 先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を越える場合は、履修者数制限を行う。その方法は以下のとおりとする。
 - (1) 4年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて3年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。
 - (2) 選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

II 2020年度「博物館実習」履修希望者の手続き

- 1 オリエンテーション出席
日 時：4月1日(水) 13:30~14:30
場 所：第4別館 202号教室 (西宮上ヶ原キャンパス)
- 2 履修者発表の確認
(オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。)
日 時：4月3日(金) 8:50
場 所：(西宮上ヶ原キャンパス) 教職教育研究センター掲示板
(神戸三田キャンパス) 教職教育研究センター掲示板

(以下は履修が認められた者の手続きである。)

- 3 実習費納入・履修申し込み
日 時：4月3日(金)~6日(月) 8:50~11:30、12:30~16:50
ただし、4月4日(土)は8:50~12:20、4月5日(日)は閉室
場 所：(西宮上ヶ原キャンパス) 教職教育研究センター
(神戸三田キャンパス) 教職教育研究センター
※提出は西宮上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方 法：実習費金額(8,000円)の申請書を証明書自動発行機(学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパスI・VI号館、(西宮聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス))で購入し、実習生カード(要写真 3.5×4.0 cm)とともに提出すること。
- 4 許可されたクラスの第1回授業に必ず出席すること。

6. 社会調査士（2018年度以前の入学生に限る）

総合政策学部では、一般社団法人社会調査協会による「社会調査士」資格を取得することができます。

①資格取得に必要な科目

社会調査士資格は社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけることが要求される学部卒業レベルの資格です。資格取得のためには協会の定めた社会調査士標準カリキュラムに対応した科目を履修し、単位認定を受けることが必要になります。本学部の認定科目は以下の7科目で、これらすべての単位を修得し、協会の認定を受けることで社会調査士資格を取得できます。

A：社会調査基礎論（社会調査の基本的事項に関する科目）	2単位
B：社会調査法（調査設計と実施方法に関する科目）	2単位
C：データ解析Ⅰ（基本的な資料とデータの分析に関する科目）	2単位
D：統計学Ⅰ・Ⅱ（社会調査に必要な統計学に関する科目）	4単位
E：データ解析Ⅱ（量的データ解析の方法に関する科目）	2単位
G：社会調査実習（社会調査の実習を中心とする科目）	2単位

社会調査協会の標準科目にはF（質的データの分析方法に関する科目）が置かれていますが、本学部では開講していません。なお、この科目はE（量的データ解析の方法に関する科目）との選択科目で、EもしくはFのいずれかの単位を習得すればよいことになっています。

②資格取得のための標準的な履修方法

社会調査の方法をしっかりと身につけるためには、基礎的な科目から段階を踏んで学習していくことが大切です。以下の履修プランは、そのためのひとつのモデルです。他の科目の履修状況に合わせて無理のない履修に心がけてください。

1年次春学期 統計学Ⅰ	1年次秋学期 統計学Ⅱ
2年次春学期 社会調査基礎論、データ解析Ⅰ	2年次秋学期 社会調査法、データ解析Ⅱ
3年次（通年） 社会調査実習	

③資格取得のための手続き・費用など

資格取得のためには、認定審査手数料を協会に納付するとともに、申請書類一式に必要な事項を記入し、総合政策学部事務室に提出する必要があります。申請書類は協会のホームページ（<http://jasr.or.jp/>）からプリントアウトできます。

社会調査士の正規の資格を得るためには、卒業が要件となります。在学中は3年次春学期履修登録後に社会調査士（キャンディデイト）証明書の交付が可能となります。社会調査士（キャンディデイト）から正規資格に変更する際には、別途、資格変更手数料を協会に納付する必要がありますので注意してください。なお、各申請期間は以下の通りです。詳細は社会調査協会のホームページを参照してください。その他詳しい手続内容については、後日掲示および教学 Web サービスでお知らせします。

【認定見込申請】（任意）

春学期 6月上旬 秋学期 10月上旬（詳細は教学 Web サービス「学部・研究科」でお知らせ）

※「認定見込申請」をしなくても「本申請」をすれば社会調査士の正規の資格を得ることができます。

【本申請】

2021年3月上旬（詳細は教学 Web サービス「学部・研究科」でお知らせ）

7. ネットワーク専門国際資格 CCENT・CCNA Routing and Switching

総合政策学部では、ネットワーク技術分野において世界で最も有名なプロ用の国際資格に対応できる以下の授業科目群を開講しています。

- 2年次春学期：ネットワーク初級
- 2年次秋学期：ネットワーク中級演習（週2コマ）
- 3年次春学期：ネットワーク上級演習、ネットワークシステム論

CCENT（Cisco Certified Entry Networking Technician）および CCNA（Cisco Certified Network Associate）Routing and Switching は、シスコシステムズ社（世界最大のネットワーク機器メーカー）が提供する全世界共通のネットワークプロフェッショナル認定資格です。CCENT を取得すれば、小規模ネットワークの設計・構築・管理等が可能と認定され、CCNA R&S を取得すれば、中規模ネットワークの設計・構築・管理等が可能と認定されます。

上記の科目群の単位を修得しても資格が得られるわけではありませんが、世界水準のシスコネットワークングアカデミープログラムを活用し、教える資格を有する教員がプロ用のネットワーク機器を用いる実践的な演習を指導しますので、資格取得に有利になります。また、所定の成績を収めると資格試験の受験料が1回だけ割引になる特典もあります。ただし、CCNA R&Sのためのシスコ標準カリキュラムは、約2千ページのテキストと約3百時間の授業・演習で構成されていますので、資格取得には十分な自習が必要になります。ちなみに、民間業者による CCNA R&S 講座の受講料は、数十万円程度です。

X. 規程・内規の抜粋

1. 成績評価・試験規程（抜粋）

- 第1条 この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。
- 第3条 試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。
- 第4条 定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。
- 第5条 中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。
- 第6条 追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。
- 第7条 定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。
- 第8条 定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。
- 第9条 定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机上に置いて受験しなければならない。
- 第10条 追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。
- 2 追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の者については受験料を免除する。
- 1 学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者
 - 2 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者及び裁判員・補充裁判員として職務に従事する者
 - 3 公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者
- 第11条 定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合には、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。
- 2 代替試験は教務機構長の判断により行う。
 - 3 代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
 - 4 本規程第7条及び第9条はこれを代替試験に準用する。
 - 5 追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
- 第12条 代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。
- 2 代替試験については受験料を徴収しない。
- 第13条 定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。
- 第14条 成績評価及び成績評価に対して与えるグレードポイントは次のとおりとする。
- <2018年度以前入学生>
- 1 成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。
 - 2 グレードポイントは、秀又はS（90点以上）は4、優又はA（80点以上）は3、良又はB（70点以上）は2、可又はC（60点以上）は1、及び、不可又はF（60点未満）は0とする。
- <2019年度以降入学生>
- 1 成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。
 - 2 グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A+（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B+（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C+（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は0とする。
- 第15条 追試験の成績は原則として減点する。
- 第16条 代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。
- 第17条 成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。
- 第18条 次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。
- 1 履修の届出をしていない者
 - 2 学費未納者
 - 3 教授会において受験することを不相当と認めた者
- 第19条 この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。

備考

- 1 第10条第2項の受験料は、1科目について1,000円とする。
- 2 第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Pと表記する。

2. 総合政策学部内規【2013年度以降入学生適用】

I. 授業履修内規

1. 履修登録について

- イ 本学部学生は、履修登録を春学期及び秋学期の所定の期日までに手続きしなければならない。
- ロ 所定の期日までに履修登録を行わない者は、単位を修得することができない。
- ハ 履修登録の変更は所定の期間内に限り認める。
- ニ クラス指定のある授業科目は、定められたクラスで受講しなければならない。

2. 履修基準年度について

各学年度で履修できる授業科目は、総合政策学部教育課程表でこれを定める。

3. 履修単位数制限について

- ① 各セメスターにおいて履修できる単位数は、24単位とする。
- ② 「授業科目履修心得」で定める卒業単位数に算入されない科目については、①の制限の対象外とする。
- ③ 卒業単位数に算入するが、①の制限の対象外とする科目については、「授業科目履修心得」で定める。
- ④ 前学期のGPAが2.80以上の学業成績を修めた者は、①の制限を緩和し、当該学期に4単位多く履修することができる。
- ⑤ 建築士プログラムに登録している者（都市政策学科を除く）および複数分野専攻制（MS）を履修している者は、①の制限を緩和し、各学期6単位多く履修することができる。
- ⑥ 交換留学、長期留学、認定留学、国連ボランティアの参加者は、①の制限を緩和し、帰学後、当該学期に限り4単位多く履修することができる。
- ⑦ ④⑤⑥のうち、二つ以上に該当する場合でも、履修できる単位数は、34単位以内とする。

4. 重複履修について

すでに単位を修得した授業科目は原則、再び履修することはできない。ただし、「授業科目履修心得」に定める科目については、この限りではない。

5. 他学部開講科目の履修について

本学部生は本学部で開講する授業科目を履修しなければならない。ただし、本学部で開講していない授業科目については他学部で開講する授業科目を履修することができる。

6. 先修条件について

3年進級に必要な科目の先修条件は以下のとおりとする。なお、それ以外の科目の先修条件については別途「授業科目履修心得」に定める。

研究演習Ⅰ及びメディア工房Ⅰを履修するための先修条件は以下のとおりとする。

イ 一般学生

- ① 2ヶ年以上の在学期間（休学期間は含まない）
- ② 学科配属後1年間以上経過していること
- ③ 英語コミュニケーションⅠ～Ⅳのうちいずれか8単位
- ④ コンピュータ演習Ⅱ1単位
- ⑤ 基礎演習4単位
- ⑥ 卒業必要単位の修得合計が50単位以上であること。（③から⑤で修得した単位を含む）

ロ 留学生

- ① 2ヶ年以上の在学期間（休学期間は含まない）
- ② 学科配属後1年間以上経過していること
- ③ 日本語Ⅱ2単位
- ④ コンピュータ演習Ⅱ1単位
- ⑤ 基礎演習4単位
- ⑥ 卒業必要単位の修得合計が50単位以上であること。（③から⑤で修得した単位を含む）

7. 言語教育科目の英語に関わる科目の単位認定について

入学直後に本学部で実施するTOEFLのスコアをもって、言語教育科目の英語コミュニケーションⅢ4単位および英語コミュニケーションⅣ4単位の計8単位を認定することができる。

8. 国際教育プログラムで修得した科目の単位認定について

国際教育プログラムで修得した科目の単位をもって、言語教育科目の英語コミュニケーションとして認定することができる。詳細については、別途「授業履修心得」に定める。

II. 試験内規

1. 試験について

- イ 試験は定期試験、追試験及び代替試験に分かれる。
- ロ 定期試験は春学期末および秋学期末に行う。

- ハ 追試験は、次の事由により定期試験を受けられなかった場合に、その事由を説明するにたる書類を所定期日内に提出し、かつ教授会の承認を得た者に限って実施する。
- 二親等以内の死亡
 - 本人の病気
 - 試験当日の事故
 - 学校感染症による登校停止
 - 裁判員制度により、候補者として裁判員等専任手続に参加及び裁判員・補充裁判員として職務に従事
 - 公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者
 - 以上に相当する事由のある場合
- 追試験の成績は採点の80%とする。ただし、a、d、e、fについては採点の100%とする。
- ニ 代替試験は、定期試験又は追試験にさいして自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により受験できなかった者に対し、教務部長の判断により実施を決定し、その事由を説明するにたる書類を所定期日内に提出し、かつ教授会の承認を得た者に限って実施する。なお、代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。また、追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
- ホ 試験において不正行為を行った場合、専門教育科目の言語教育科目および専門教育科目の演習科目を除く当該学期の全科目を0点とし、一定期間の指導を行う。

2. 成績評価について

成績評価の結果に疑義のある場合には、成績発表後一定期間内に調査を願い出ることができる。

III. 卒業論文内規

卒業論文を提出できるのは、「研究演習Ⅱ」または「メディア工房Ⅱ」を履修中の者あるいは単位を修得した者に限られる。なお、3年卒業を出願した者については研究演習Ⅰまたはメディア工房Ⅰを履修中にも卒業論文を提出できるが、3年卒業が実現しなかった場合はその提出は無効となる。

IV. 外国人留学生に関する内規

必修科目、あるいは選択必修科目のうち、英語で行われる授業科目については、代替科目で置きかえることができる。

V. 転科内規

本学部の他の学科の第3学年度に転科を希望する者がある場合、該当学科の在籍者数を勘案のうえ転科試験を行い、教授会の議を経てこれを認めることがある。

VI. 学科分属に関する内規

第2学年度以降にいずれかの学科に所属するためには、期日内に所定の手続きを行う必要がある。詳細については、別途「授業科目履修心得」に定める。

VII. 3年卒業に関する内規

本学大学院に早期に進学することを希望し、次の要件をすべて満たした者については、学則第7条第2項に規定する3年卒業を認める。

- ① 3ヶ年以上の在学期間（休学期間は含まない）があること。
- ② 卒業に必要な単位をすべて修得すること。なお、「研究演習Ⅱ」「メディア工房Ⅱ」の4単位は主専攻フィールドまたは所属学科科目のうちから2科目4単位の修得をもって代替することができる。
- ③ 卒業に必要な単位に含むことのできる科目のGPAが第3学年度春学期終了時点と第3学年度秋学期終了時点でそれぞれ2.80以上であること。
- ④ 本学当該研究科が入学を認めていること。

VIII. その他

1. 総合政策学部教育課程に関する学則の改正について

- イ 学則の適用は、学則改正にかかわらず原則として入学年度の学則が適用される。ただし、学則改正が全学年度に適用される場合は、この限りではない。
- ロ 学則改正に伴う移行措置は「授業科目履修心得」による。

2. 総合政策学部教育課程に関する内規の改正について

- イ 内規の適用は、内規改正にかかわらず原則として入学年度の内規が適用される。ただし、内規改正が全学年度に適用される場合は、この限りではない。
- ロ 内規改正に伴う移行措置は「授業科目履修心得」による。

神戸三田キャンパス MAP

神戸三田キャンパス KOBE SANDA

校舎は西宮上ヶ原と同様にスバンジュー・ミッション・スタイルを採用。
文理融合が実現され、時代の先端をいく学術拠点にふさわしい
最新の施設と自然が調和しています。



神戸三田
キャンパス
Googleマップ
ストリートビュー

総合政策学部・総合政策研究所
理工学部・理工学研究所

神戸三田キャンパスへはバス便が整備されています。



- シャトルバス 西宮上ヶ原キャンパス ↔ 神戸三田キャンパス 約 60分
- 関学エクスプレス JRノ宮駅 ↔ 神戸三田キャンパス 最速 48分
- JR新大塚駅 ↔ 神戸三田キャンパス 最速 59分
- KG Link JR新三田駅 ↔ 神戸三田キャンパス 約 15分

シャトルバス乗降場 Shuttle Bus Stop **バス乗降場** Bus Stop **第1 (総合政策学部) 来客駐車場** Visitor Parking 1 **第2 (理工学部) 来客駐車場** Visitor Parking 2

食堂 Dining Hall **大学生協** University Cooperative **災害時避難所** Shelter **△** 学内非常通報装置 Emergency **☒** AED設置 AED

1 神戸三田キャンパス、ランバース記念礼拝堂
2 1号館 (総合政策学部担当事務室)
3 2号館 (総合政策学部)
4 3号館 (総合政策学部)
5 第一厚生棟 (Lunch Box (食型)、Toy Box (物販))
6 Central Garden
7 体育館
8 第三厚生棟 (Colorful Box (コンビニ)、Sun Cafe、Free Box (学生ホール))
9 Sky Garden
10 第二厚生棟 (Fresh Box (食堂)、学生ホール、ラウンジ)
11 Academic Commons (神戸三田キャンパス事務室、保健館分室、キャンパス自立支援室、学生支援相談室、キャリアセンター、国際連携機構 (国際教育 協力センター)、教務機構 (教職教育研究センター、事務部、クレセントカフェ、安全管理室)
12 VII号館 (理工学部)
13 バスローグリー (神姫バス「関西学院大学院」、シャトルバス)
14 第1学生駐輪場
15 VI号館 (理工学部担当事務室、図書メディアアリア、研究推進社会連携機構)
16 IV号館 (理工学部本館別館)
17 V号館 (理工学部)
18 エコファーム
19 ゴルフ練習場
20 テニスコート
21 ゴルフアプローチ兼アーチェリー練習場
22 クラブハウス、KSCトレーニングルーム
23 建築実験棟 (総合政策学部)
24 航空部格納庫
25 陸上競技場
26 グラウンド
27 学生駐車場 (西側)
28 学生駐車場 (東側)
29 バス停 (神姫バス「関西学院前」)
30 バス停 (神姫バス「学園3丁目」)
31 第2学生駐輪場 (自転車専用)

1 Kobe-Sanda Campus Lambuth Memorial Chapel
2 Building I (School of Policy Studies Administrative Office)
3 Building II (School of Policy Studies)
4 Building III (School of Policy Studies)
5 Student Hall II (Cafeteria, Bookstore)
6 Central Garden
7 Gymnasium
8 Student Hall III (Food Shop, Student Hall)
9 Sky Garden
10 Student Hall II (Cafeteria, Student Hall, Lounge)
11 Academic Commons (Kobe-Sanda Campus Administrative Office, Health Care Center, Disabled Student Independence Support Section, Student Support Section, Center for Career Planning and Placement, Organization for Worldwide Collaboration (Center for International Education and Cooperation), Organization for Academic Affairs, CRESCENT Cafe, Safety Management Office)
12 Building VII (School of Science and Technology)
13 Bus Rotary (Shinkai Bus (Kwansei Gakuin University), Shuttle Bus)
14 Student Bicycle and Motorcycle Parking 1
15 Building VI (School of Science and Technology Administrative Office, Library and Media Center, Organization for Research Development and Outreach)
16 Building IV (School of Science and Technology)
17 School of Science and Technology Annex
18 Building V (School of Science and Technology)
19 Eco Farm
20 Golf Practice Range
21 Tennis Courts
22 Golf Practice Green and Archery Range
23 Club House, KSC Training Room
24 Architectural Experiment Building
25 Slider Hanger
26 Track and Field
27 Athletic Field
28 Student Parking West
29 Student Parking East
30 Bus Stop (Shinkai Bus (Kwansei Gakuin Mae))
31 Bus Stop (Shinkai Bus (Gakuen 3 Chome))
31 Student Bicycle Parking 2

アカデミックcommons
Academic Commons

北門 North Gate
西門 West Gate

VI号館 Building VI
正面からのアーチ Arch

正門 Main Gate

ランバース記念礼拝堂 Lambuth Memorial Chapel

MEMO

学生番号		学科		学科	氏名	
------	--	----	--	----	----	--